

スキャンアプリケーション

# KIP Scan Client

## 取り扱い説明書

(Ver. B.06 2003.10.23)

株式会社 ケイアイピー

## このマニュアルについて

このマニュアルは、ScanClient のインストール方法、及び使用法についての説明をするものです。ScanClient はマイクロソフト株式会社のオペレーションシステムである Windows 95/98 及び、Windows NT4.0/2000/XP に対応しています。

また、本マニュアルは、スタートボタンやタスクバーの使い方、マウスやキーボードの使用方法など、Windows 95/98 あるいは Windows NT4.0/2000/XP の基本的な操作について、ユーザがすでにご存じであることを前提に書かれています。

もし、このような操作がわからない場合は、Windows 95/98 または Windows NT4.0/2000/XP に付属している操作マニュアル等を参照してください。

※ Windows XP において、『簡易ユーザー切り替え』や『リモートデスクトップ接続』等の機能を使用し、複数のユーザで複数の ScanClient を同時起動/使用することはできません。

## 使用許諾契約

[製品名 : KIP Scan Client]

---

本製品をご使用になる前に必ずこの契約の記載内容をお読みください。

この使用許諾契約（以下「本契約」といいます。）は、下記の桂川電機のデジタル複写機関連製品（以下「本製品」といいます。）に関して、お客様（個人または法人）と桂川電機株式会社（以下「弊社」といいます。）との間に締結される法的な契約です。

本製品の構成は以下の通りです。

- インストールディスク（CD-ROM） 1
- ユーザーズマニュアル（上記 CD-ROM 内に記載）

上記「ソフトウェア」（以下「本ソフトウェア」といいます。）のディスクパッケージを開封することをもってお客様が本契約の条項に同意されたものとし、本契約が成立したものとします。お客様が本契約に同意されない場合には、本パッケージを開封することなく未開封のまま上記構成品のすべてを直ちに購入先へ返却し、領収証と引き替えにお支払済の代金をお受け取りください。本パッケージの開封後、または本製品のご購入日から30日を経過した後は、ご返却できません。

---

### 1. ライセンスの許諾

弊社は、お客様に対し本契約に定める条件を遵守することを条件に、日本国内において本ソフトウェアを使用するための譲渡不能の非独占的権利を許諾します。お客様は、本ソフトウェアを一台のコンピュータにおいてのみ使用することができます。

本ソフトウェアは、そのコンピュータの一時的なメモリ、すなわち RAM にロードされる場合、または永久的なメモリ、例えばハードディスクや CD ROM その他記憶装置にインストールされる場合にコンピュータで「使用」されているものとします。

### 2. 著作権

本ソフトウェアおよびその複製物、並びに本製品に含まれるマニュアル等の文書類およびそれらの複製物についての著作権、その他一切の権利は、桂川電機株式会社またはその供給者に帰属し、それらは、著作権法並びにその他の無体財産権に関する法律および国際条約の規定によって保護されています。従って、お客様は本製品を書籍や音楽レコードなどの他の著作物と同様に扱わなければなりません。ただし、お客様は、(a)バックアップまたは記録保存用として本ソフトウェアを1コピーだけ複製することができ、または(b)原版をバックアップまたは記録保存用として保持するという条件で本ソフトウェアを一つのハードディスクに移すことができます。

### 3. 禁止事項

お客様は、以下の行為を行わないものとします。

- (1) 本製品に含まれるハードウェアの一部もしくは全ての複製、改造または改造品の使用
- (2) 本契約に反する本ソフトウェアの複製および使用。
- (3) 本ソフトウェアの一部もしくは全ての修正、改変、結合、翻案。
- (4) 本ソフトウェアの逆コンパイル、逆アッセンブル、またはリバースエンジニアリング。
- (5) 本ソフトウェアもしくはその複製物またはその他本製品の一部または全部の再使用許諾、譲渡、頒布、貸与、リース、その他第三者の使用のための措置。
- (6) 本製品に含まれるマニュアル等の文書類の複製、内容の転用。
- (7) 本ソフトウェアまたはその複製物からの Copyright 等の著作権表示、注釈、商標の除去や修正。

### 4. 保証範囲

本製品の保証範囲は、後記の「品質保証規定」によるものとします。

### 5. 有効期間

本契約の有効期間は、本契約の成立の時（お客様が本ソフトウェアのパッケージを開封した時）から、お客様が本製品の使用を停止するまでとします。

- (1) 前項にもかかわらず、お客様が本契約のいずれかの条項に違反した場合、または弊社の著作権を侵害した場合には、弊社は、他の権利を害することなく本契約を解除することができます。  
そのような場合、お客様は速やかにお客様のご負担で本製品および（あるならば）その複製物を弊社に返却し、または破棄していただくものとします。

### 6. 一般条項

お客様および弊社は、本契約に関連して発生した紛争については、東京地方裁判所を第一審の管轄裁判所とすることに合意します。

---

お客様が、本製品を日本国内で入手された場合の品質保証及びその他の特別条項については、以下の『品質保証規定』の通りとします。

---

## 品質保証規定

お客様が日本国内で入手された本製品に関しては以下の保証のみが適用されます。なお、本製品の保証に関する事項は弊社を通じてのみ対処されるものとします。

### 1. 品質保証

- (a) 弊社は、本製品が付属の製品マニュアルに従って実質的に動作しない場合、または本製品に含まれるソフトウェアの媒体、またはマニュアルに弊社の責による物理的な欠陥があった場合には、本製品をご購入された日から90日間に限り、また、本製品に含まれるハードウェアに物理的または製造上の欠陥があった場合には、ご購入日から6ヶ月間に限り、弊社の判断に基づき、交換、補修または代金返還のいずれかにより対応するものとします。
- (b) 上記(a)項のいずれの対応も、お客様が本製品の購入書とともに損傷等のある本製品を弊社に返却された場合にのみ提供されます。
- (c) 上記(a)項の事態が風水害、火災、地震、その他の災害、または第三者による行為その他の事故、お客様の故意もしくは過失、誤用その他異常な条件下での使用において生じる等、弊社の責に帰さない理由により生じた場合、弊社は、保証の責任を負わないものとします。なお、以下に定める場合も保証の対象とはなりません。
  - ・お客様によるお買い上げ後の輸送、移動、落下、その他の衝撃による故障。
  - ・改造、不当な修理、その他の取り扱いが適当でなかったことによる故障。
  - ・ハードウェアに関わる部品の紛失。
  - ・ハードウェアが接続されている他社製品の故障、不具合に起因する故障。
- (d) ハードウェアの保証期間満了後の障害、故障につきましては、弊社の判断により、有償にて修理を致します。
- (e) 交換または修理後の製品の保証期間は、元の保証期間の残存期間の満了日または交換、修補された製品の引渡後30日間の満了日のいずれか遅く到来する日までとします。
- (f) 弊社は、本ソフトウェア、その媒体または本製品に含まれるハードウェア、マニュアル、印刷物及び本製品に関して、お客様の特定の使用目的に適合することを保証するものではなく、また本保証規定に明示的に記載された以外、明示または黙示を問わず、一切本製品についての瑕疵担保責任および保証責任を負いません。
- (g) 法律上の請求の原因の種類を問わず、いかなる場合においても、弊社およびその供給者は、本製品の使用、または使用不能から生ずる本保証規定に規定されていないいかなる他の損害（利益の損失、業務の中断、情報の損失、精神的損害、第三者からの損害賠償請求、またはその他の金銭的損害を含み、かつこれらに限定されません。）に関して、一切責任を負わないものとします。例え弊社がかかる損害の可能性について警告され、予見し、または予見することが可能であった場合においても、同様とします。いかなる場合においても、本保証規定に基づく弊社の責任は、本製品についてお客様が実際に支払った金額を上限とします。

桂川電機株式会社  
146-8585  
東京都大田区下丸子 4-21-3

---

# 目次

---

この取り扱い説明書をコンピュータ画面上で参照されるお客様は、下記の目次の中から参照したい項目をクリックしてください。

その項目の参照ページが画面上に表示されます。

	ページ
1 必要な動作環境	8
2 KIP Scan Client のインストール	9
2.1 使用する SCSI ボードに関する注意点	9
2.2 Twain Driver のインストール	11
2.3 KIP Scan Client のインストール	13
3 KIP Scan Client の起動と終了	17
4 表示するファイルの種類設定	19
5 保存用フォルダの作成・削除	20
5.1 フォルダの作成	20
5.2 フォルダの削除	22
6 表示を最新情報に更新する	23
7 スキャンに関する操作説明	24
7.1 原稿をスキャンしてファイルを作成する	24
7.2 スキャンの中断方法	29
7.2.1 原稿をセットする前	29
7.2.2 原稿をセットし、スキャン開始前に取り除いた場合	29
7.2.3 スキャン中	30
7.3 各種スキャン設定を変更してスキャンする	31
7.3.1 選択	32
7.3.2 読取り開始モード	34
A. スタートキー入力	34
B. オートスタート	34
7.3.3 倍率設定	35
7.3.4 画像タイプ	37
7.3.5 解像度	37
7.3.6 原稿	39
A. モード	39
B. サイズ	40
C. 方向	41
7.3.7 画質	42

A.	原稿種類	42
B.	地肌除去	43
C.	ゴミ取り	44
D.	スレッシュホールド	45
E.	シャープネス	49
7.3.8	機能	50
A.	ミラー	50
B.	ネガ	50
7.3.9	原稿待ち	51
7.4	各種スキャン設定をスキャナ側から指定する	52
7.4.1	スキャナ本体側にスキャンモード(パネル設定)画面を表示させる	53
7.4.2	スキャンモード(パネル設定)画面の基本画面について	56
7.4.3	スキャナ本体側での各設定方法	57
A.	原稿設定	57
B.	解像度設定および倍率設定	59
(1)	「解像度設定画面」と「倍率設定画面」の表示切替	59
(2)	解像度設定	61
(3)	倍率設定	63
C.	画質設定	68
D.	機能設定	74
7.4.4	一般の汎用スキャンアプリケーションの場合	77
7.5	エッジ除去機能	80
7.6	スキャンした画像をビューアで見る	82
7.6.1	スキャン時に画像をビューアに自動表示させる	82
7.6.2	スキャン後の保存ファイルをビューアに表示させる	84
7.7	スキャンした画像を編集する	85
7.7.1	編集方法	85
7.7.2	各編集項目の説明	88
A.	ゴミ取り	88
B.	選択範囲のクリア	90
C.	斜め補正	92
(1)	角度指定	92
(2)	2点間指定	94
D.	回転	96
7.8	再スキャン	97
7.9	連続スキャン	98
7.10	バッチネーミング機能を使用して連続スキャンをする	99
7.10.1	CSV ファイルを作成する	100
7.10.2	バッチネーミングを行う	103
7.10.3	CSV ファイルを他のアプリケーションで作成する	108
7.11	作成したファイルを削除する	111
7.12	メモリ設定	112
<b>8</b>	<b>プリントに関する操作説明</b>	<b>117</b>
8.1	プリント機能を有効にする	117
8.2	出力するプリンタを選択する	118
8.3	ファイルを選択してプリントする	119
8.4	スキャンファイル作成時に同時にプリントする	120

8.5	ヘッダの設定	121
8.6	各種プリント設定を変更してプリントする	123
8.6.1	出力サイズ	124
A.	オリジナル	124
B.	倍率	125
C.	定型サイズ (A0~A4, 36" x48" , 36" x24" , B1~B4)	125
D.	カスタム	126
8.6.2	紙種	128
8.6.3	給紙	129
8.6.4	回転	130
8.6.5	折り機	131
8.6.6	枚数	131
8.6.7	用紙のカット方法	132
8.6.8	スタンプ	133
A.	スタンプするテキストの作成	134
B.	テキストの印字方法	137
C.	各種スタンプ設定の説明	139
(1)	「セット名」の保存と削除	140
(2)	重ね合わせ	142
(3)	グレー	142
(4)	回転	143
(5)	ミラー	143
(6)	スケーリング	144
(7)	スタンプ位置	145
(8)	オフセット	146
(9)	枠	147
(10)	文字	148
(11)	マクロ	150
(12)	画像 (現在使用できません)	152
8.6.9	ミラー	153
8.6.10	白黒反転	153
8.6.11	画像位置	154
<b>9</b>	<b>ビューア・エディタの登録</b>	<b>156</b>
9.1	ビューアの登録	156
9.2	エディタの登録	158

# 1 必要な動作環境

KIP Scan Client をインストールする PC のハードウェアは以下の条件を満たさなければなりません。

- ・ OS (オペレーションシステム)  
IBM PC-AT 互換機 (DOS/V 機) で、Microsoft Windows 95、Microsoft Windows 98 および、Microsoft Windows NT 4.0/2000/XP の動作保証がされている機種
- ・ Internet Explorer のバージョン  
**KIP Scan Client のヘルプを参照するには Internet Explorer 4.01 SP2 以上が必要です。**  
Internet Explorer のバージョンが古い場合はアップデートしてから KIP Scan Client をインストールしてください。
- ・ CPU  
Pentium II 300 MHz 相当以上を推奨
- ・ システムメモリ  
128 MB 以上を推奨  
スキャン原稿のサイズによりメモリの増設が必要となります。  
例) A0 サイズの原稿をスキャンする場合、32 MB のメモリがスキャン時に必要となります。  
また画像編集を行う場合には、さらにその倍のメモリが必要となります。
- ・ ハードディスク  
2 GB 以上を推奨

## 2 KIP Scan Client のインストール

KIP Scan Client をインストールする前に、まずご使用のコンピュータに SCSI ボードを装着し、SCSI ドライバ、TWAIN Driver をインストールする必要があります。

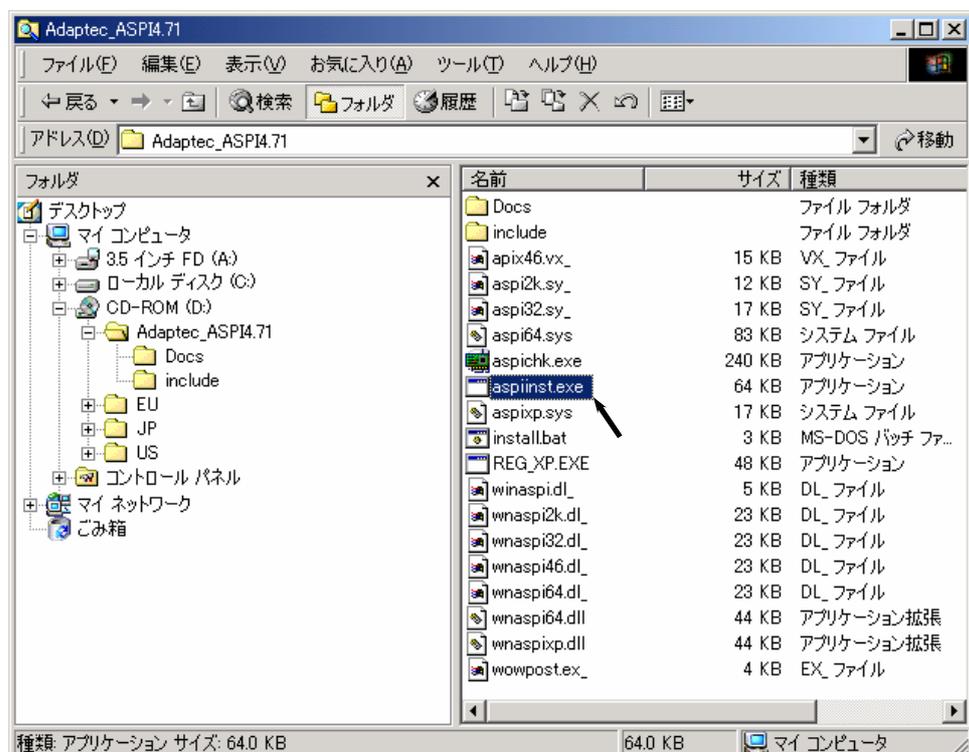
### 2.1 使用する SCSI ボードに関するの注意点

KIP Scan Client を KIP2000 シリーズスキャナと共に使用する場合、PC に装着する SCSI ボードとして **ADAPTEC 社の 2930U, 2940AU, 19160, 29160N** での正常な動作が確認されているので、いずれかを使用して頂くようお願いいたします。

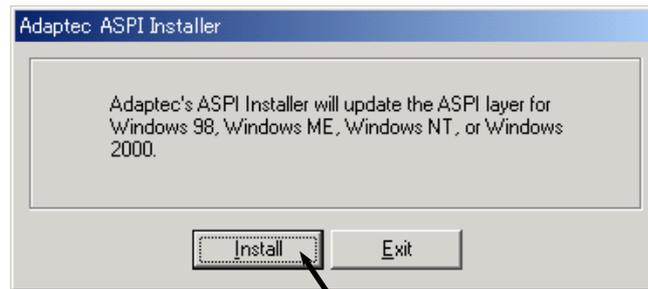
ご使用の PC の OS が **Windows NT 4.0 / 2000 / XP** の場合は、KIP Scan Client のインストール CD にある **Aspi レイヤー** というソフトをインストールしてください。

このソフトをインストールしないと、次手順でインストールする Twain Driver が正常に起動しないので、必ずインストールされることをお願いいたします。

- 1) KIP Scan Client のインストールディスクを CD-ROM ドライブにセットし、フォルダ [Adaptec\_ASPi4.71] 内の [aspiinst.exe] をダブルクリックしてください。



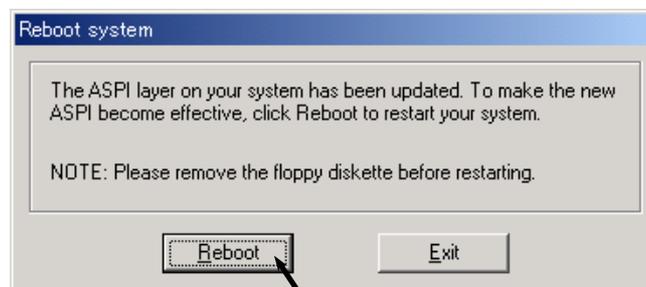
- 2) 下記のダイアログが表示されます。  
[Install] をクリックして Aspi レイヤーをインストールしてください。



- 3) インストールが終了すると下記のメッセージが表示されます。  
[OK] をクリックしてください。



- 4) Aspi レイヤーを有効にするためには PC を再起動する必要があります。  
[Reboot] をクリックして PC を再起動してください。



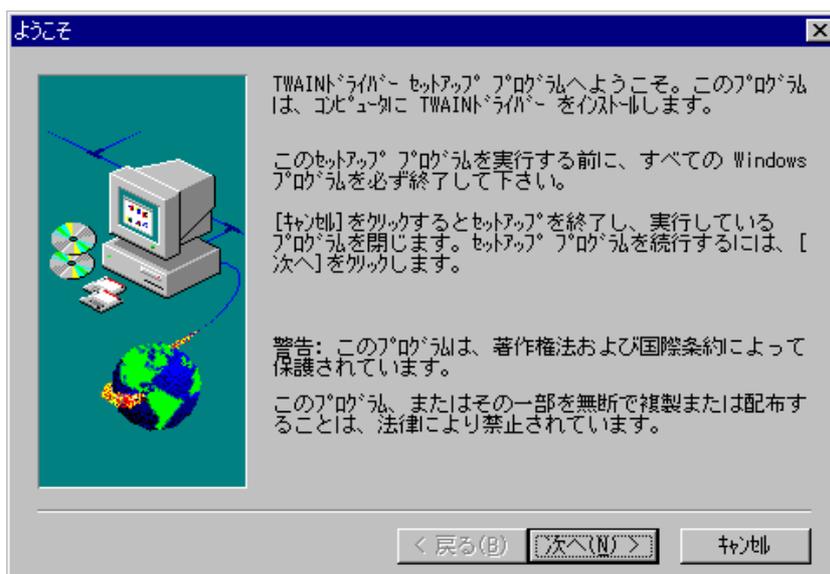
- 5) PC を再起動したら、次のページに進んで Twain Driver をインストールしてください。

## 2.2 Twain Driver のインストール

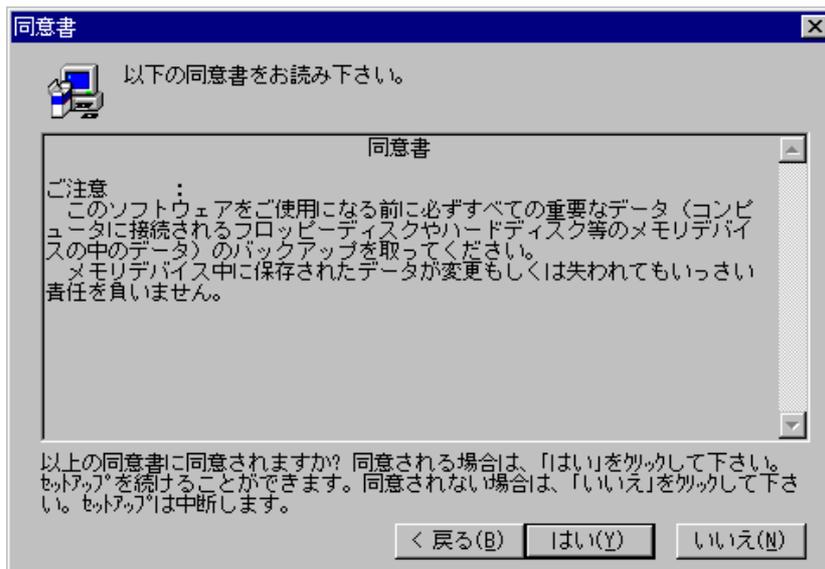
- 1) PC の CD-ROM ドライブにインストールディスクを挿入します。
- 2) インストールディスクの下記ディレクトリの “Setup.exe” をダブルクリックすると、Twain Drive のインストールプログラムが起動してインストールが開始されます。

¥KipScan¥Japanese¥TwainDriverx. x. x (x. x. x は Twain Driver のバージョンとなります。)

- 3) 「次へ」をクリックします。



- 4) 同意書が表示されるので、内容をよく読んでから「はい」をクリックします。



- 5) プログラムファイルがコピーされます。  
コピーが終了すると「セットアップ完了しました。」とメッセージが表示されるので、「OK」をクリックしてインストールを終了します。

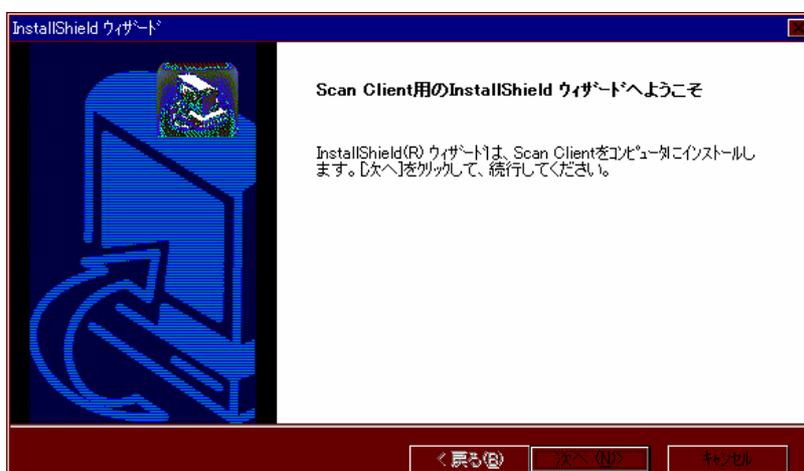


## 2.3 KIP Scan Client のインストール

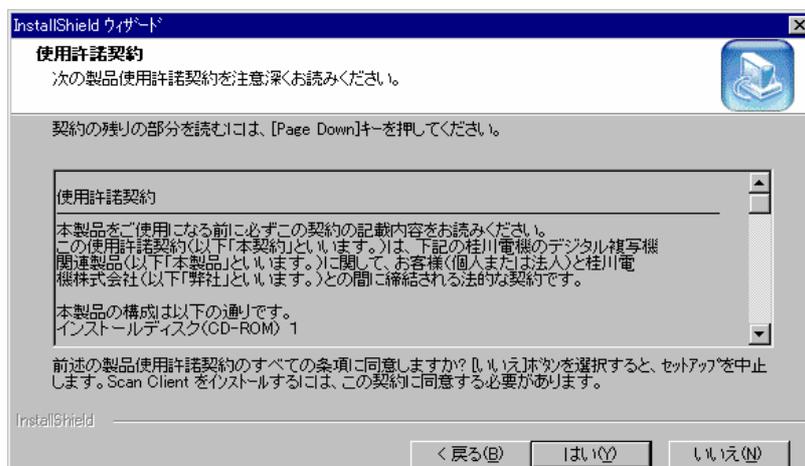
- 1) PC の CD-ROM ドライブにインストールディスクを挿入します。
- 2) エクスプローラなどでインストールディスクの下記ディレクトリの“ScanClient.exe”をダブルクリックすると、KIP Scan Client の InstallShield ウィザードが起動してインストールが開始されます。

¥KipScan¥Japanese¥ScanClientx.x.x.x (x.x.x.x は KIP Scan Client のバージョンです。)

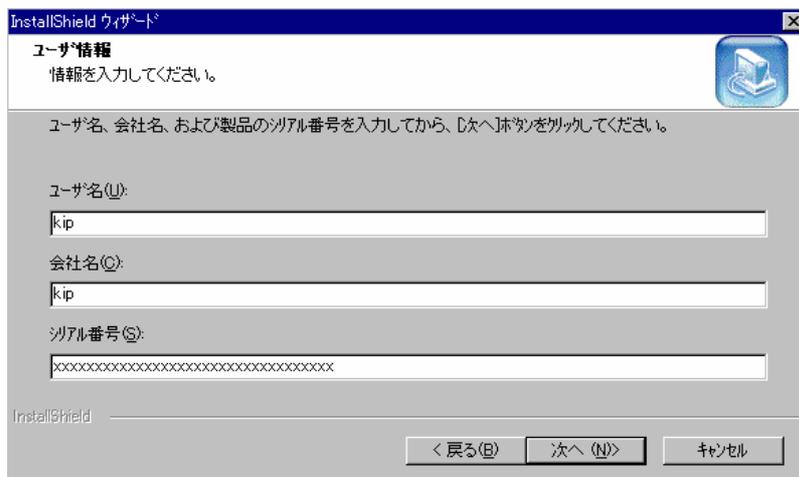
- 3) 最初に下記の画面が表示されます。  
「次へ」をクリックしてください。



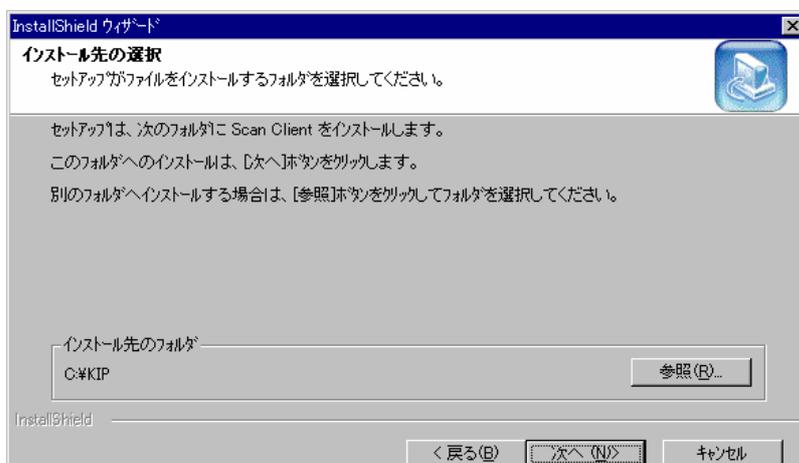
- 4) 使用許諾契約を確認後、「はい」をクリックします。



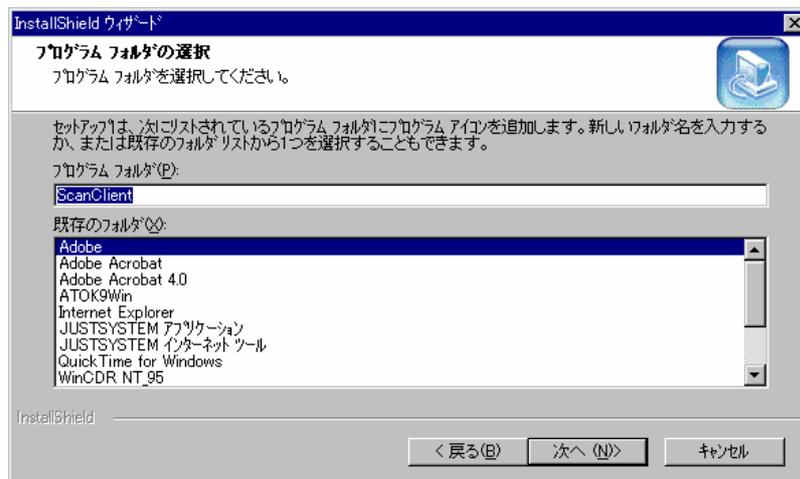
- 5) ユーザー情報の入力画面が表示されるので、ユーザー名、会社名、シリアル番号を入力し、「次へ」をクリックしてください。  
シリアル番号はインストールディスクのケースに表示されています。



- 6) インストール先のフォルダを指定します。  
表示されたフォルダにインストールするときは「次へ」をクリックします。  
別のフォルダにインストールしたい場合は「参照」をクリックし、インストール先のフォルダを指定してから「次へ」をクリックします。



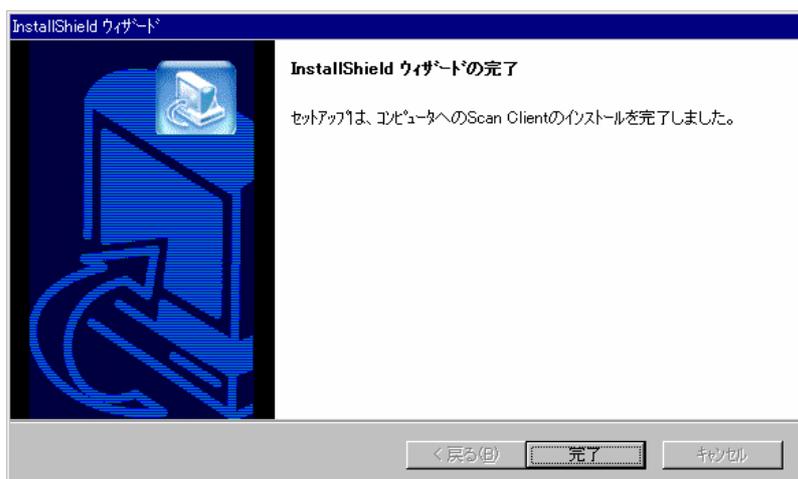
- 7) プログラムアイコンを追加するフォルダの選択をします。  
何も設定しない場合は ScanClient というフォルダが作成されます。  
特に理由がなければこのまま「次へ」をクリックしてください。



- 8) プログラムファイルのコピーが開始されます。  
しばらくお待ちください。



- 9) 下記の画面が表示されたら「完了」をクリックしてください。  
これで KIP Scan Client のインストールに関する全ての作業が終了しました。



### 3 KIP Scan Client の起動と終了

KIP Scan Client をインストールすると、デスクトップ上にアイコンが作成されます。

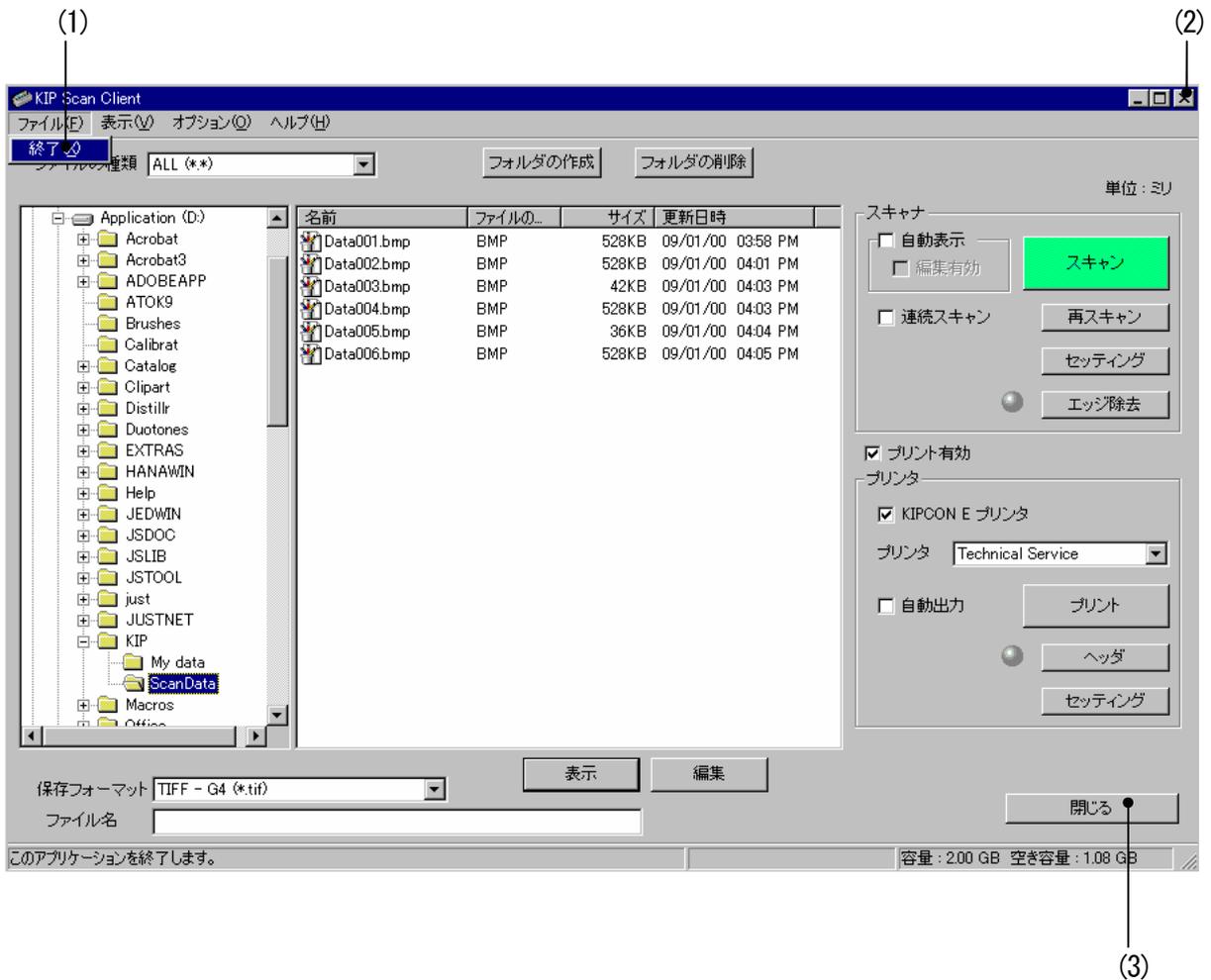


このアイコンをダブルクリックすると KIP Scan Client が起動されます。



KIP Scan Client を終了するには次の3つの方法があります。

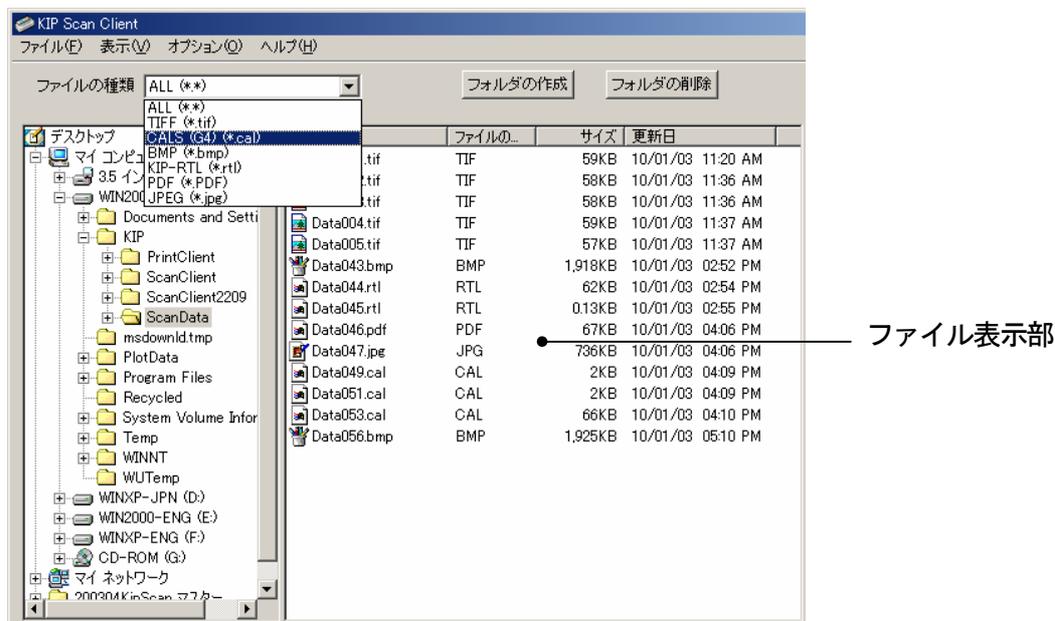
- (1) メニューバーの「ファイル」から「終了」をクリックする。
- (2) KIP Scan Client 右上の「X」をクリックする。
- (3) KIP Scan Client 右下の「閉じる」をクリックする。



## 4 表示するファイルの種類設定

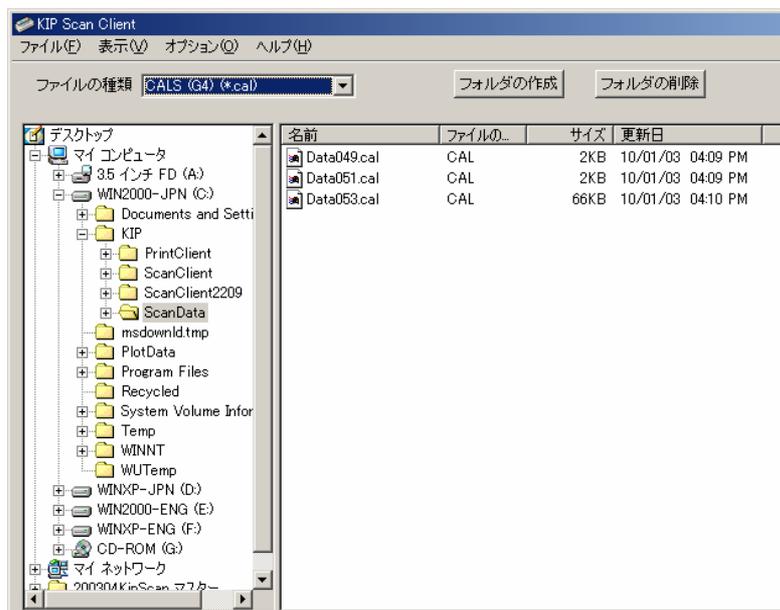
KIP Scan Client 上のファイル表示部には、選択されているフォルダ内にあるファイルが表示されます。ここではファイル表示部にどの種類のファイルを表示するかの設定を行います。

- 1) フォルダ選択部からフォルダを選択し、「ファイルの種類」のプルダウンメニューから表示したいファイルの種類を選択します。



- 2) 選択された種類のファイルのみがファイル表示部に表示されます。「ALL」を選択すると選択されたフォルダ内にある全ての種類のファイルが表示されます。

(例: “CALS” を選択)



## 5 保存用フォルダの作成・削除

KIP Scan Client 上でファイルの保存に使用するフォルダを作成することができます。  
また既存のフォルダを削除することも可能です。

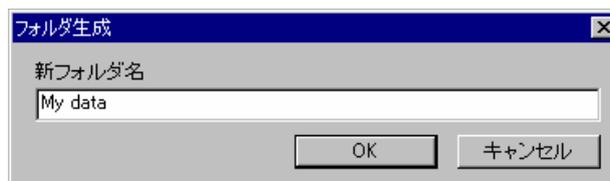
### 5.1 フォルダの作成

- 1) フォルダ選択部からフォルダを1つ選択します。  
この選択されたフォルダの下層に新規のフォルダが作成されます。  
その後、「フォルダの作成」ボタンをクリックします。

(例：フォルダ “KIP” を選択)



- 2) 下記のダイアログが表示されるので、新規に作成するフォルダの名前を入力します。  
その後「OK」をクリックします。



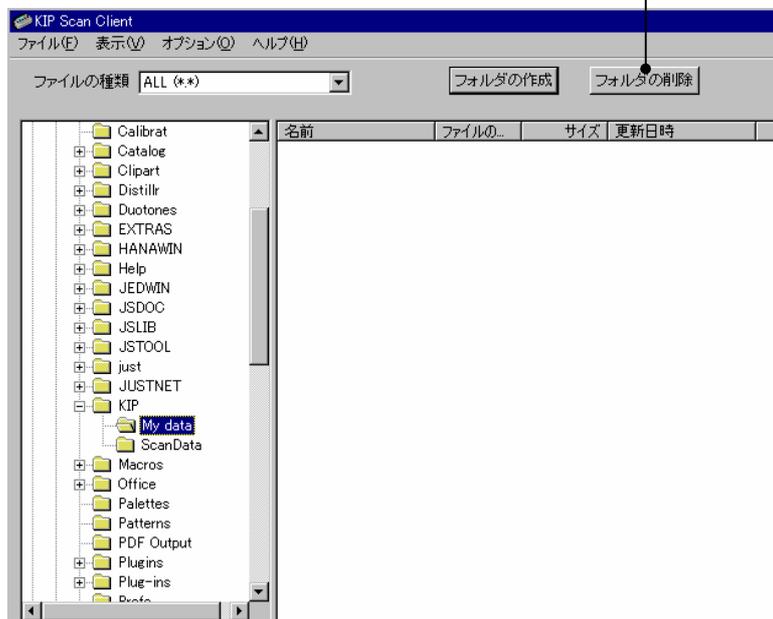
3) 選択されたフォルダの下層に新規のフォルダが作成されます。



## 5.2 フォルダの削除

- 1) フォルダ選択部から削除するフォルダを選択し、それから「フォルダの削除」ボタンをクリックします。

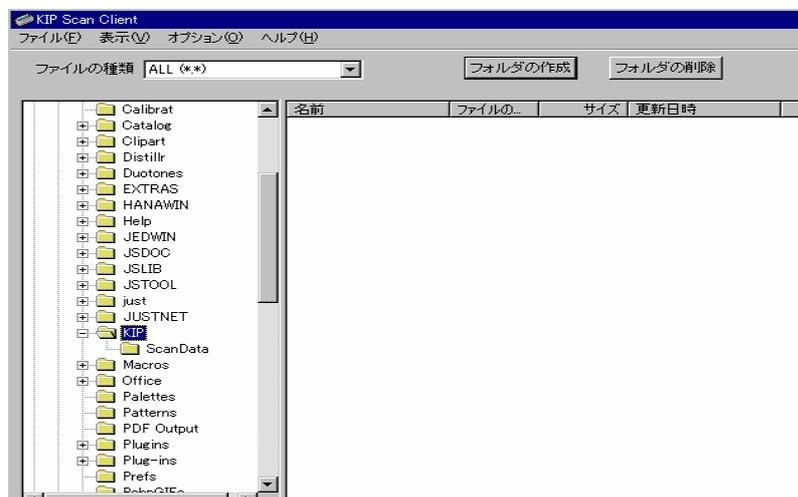
(「フォルダの削除」ボタン)



- 2) 下記のダイアログが表示されるので、「はい」をクリックすると選択されたフォルダが削除されます。

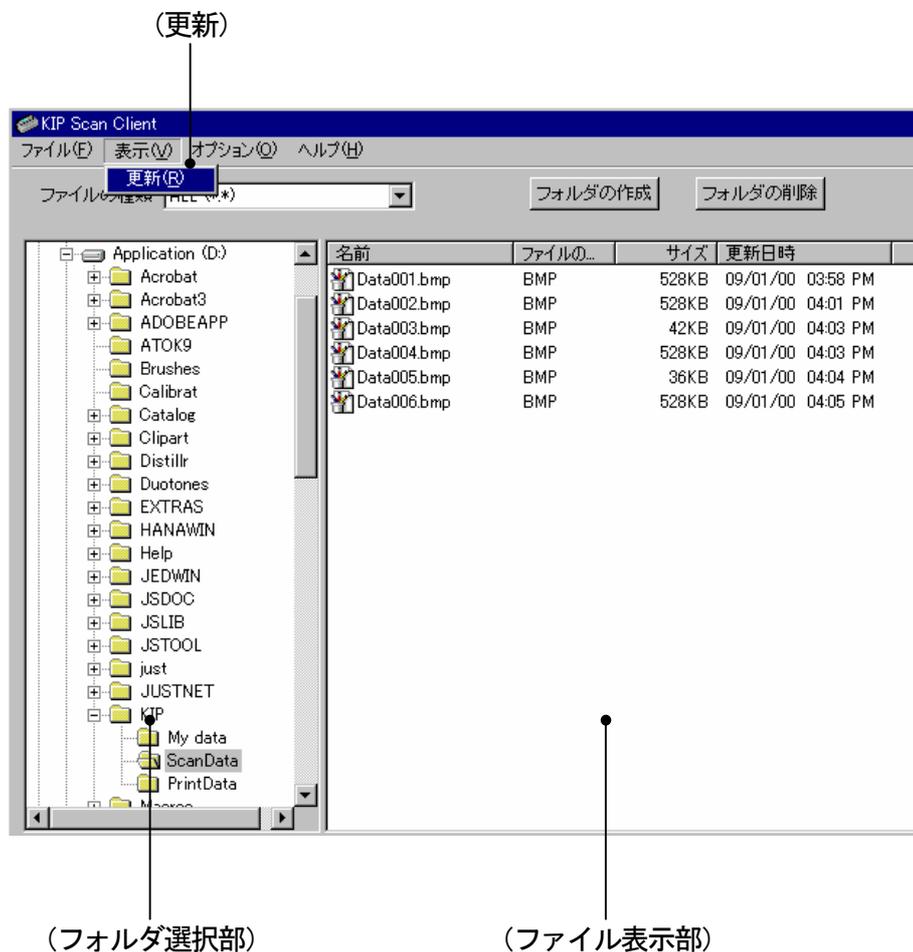
[注意]

削除されたフォルダ内のファイルは必ず「ごみ箱」に保管されます。



## 6 表示を最新情報に更新する

メニューバーの「表示」から「更新」をクリックすると、KIP Scan Client 上のフォルダ選択部とファイル表示部に表示される情報が最新の情報に更新されます。



# 7 スキャンに関する操作説明

## 7.1 原稿をスキャンしてファイルを作成する

以下の操作は原稿をスキャンしてファイルを作成するための最も基本的な操作です。各種スキャン設定を変更せずに最も単純な方法でファイルを作成する方法なので、まずはこの操作をマスターするようにしてください。

- 1) フォルダ選択部内のフォルダをクリックして、これから作成するファイルを保存するフォルダを選択します。  
選択したフォルダ内にファイルがすでにある場合、ファイルの情報がファイル表示部に表示されます。



### [参考]

KIP Scan Client をインストールすると、フォルダ「KIP」のサブディレクトリとして「ScanData」が自動的に作成されます。この「ScanData」は空のフォルダなので、スキャンデータの保存用としてこれを選択することをお勧めします。

- 2) スキャン画像をセーブする際のファイル形式を左下のプルダウンメニューから選択します。  
KIP Scan Client は以下のファイル形式をサポートしています。

TIFF-G4 (*.tif)	BMP (*.bmp)
TIFF-G3 (*.tif)	KIP-RTL (*.rtl)
TIFF Uncompressed (*.tif)	PDF (*.pdf)
CALS (*.cal)	JPEG (*.jpg)

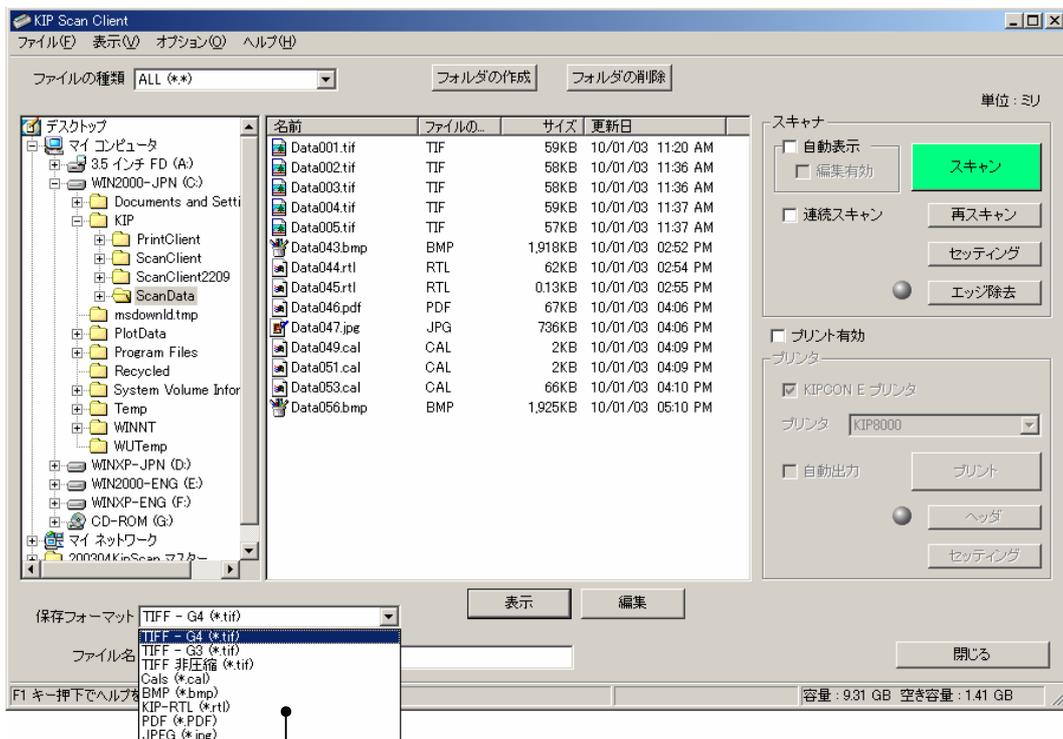
**注意**

**JPEG 保存の制限事項**

- 1) スキャンイメージの長さが 65500 ライン以上になった場合
  - ・ 保存する画像フォーマットは自動的に TIFF G4 になります。
  - ・ ファイル名は、JPEG のファイル名から拡張子を .tif に変えたものになります。  
ただし変更後、同一のファイル名が存在した場合、“Data???.tif” というファイル名となります。
- 2) ビューアでイメージの長さが 65500 ライン以上のイメージを開いて、編集後、JPEG を選択して保存はできません。(エラーメッセージが出ます)

上記記載の 65500 ラインとは目安としては 400 DPI の場合は約 4100 mm、600 DPI の場合は約 2700 mm となります。

注) JPEG フォーマットは、8 ビットグレイスケールの為、他の保存フォーマットに比べて時間が掛かります。



(ファイル形式選択)

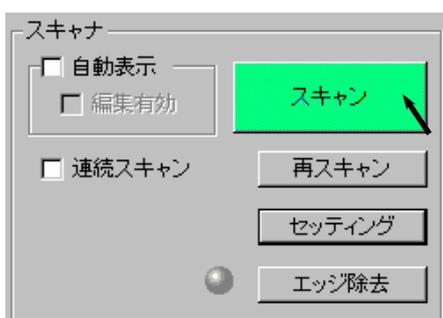
- 3) ファイル名を入力します。  
 ファイル名を何も入力しないでスキャンした場合、”Data001.\*” というファイル名が自動的に付けられます。



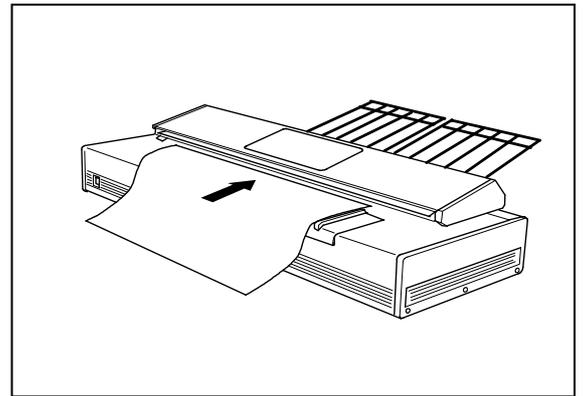
(ファイル名入力)

- 4) 右上にある「スキャン」ボタンをクリックします。  
 「原稿待ち中」ウィンドウが表示されてスキャナがスキャン可能な状態であることを示します。

[キャンセル]をクリックすると「原稿待ち中」が解除されます。



- 5) スキャナに原稿をセットします。  
原稿は自動的に搬送されてスキャンされます。  
読み取り中にキャンセルしたい場合は、スキャナの  
「ストップ/排出」キーを押してください。



[参考]

インストール後の初期状態では原稿をセットするだけで自動的にスキャンが開始されますが、原稿をセットした後にスキャナ側の「スタート」キーを押してスキャンを開始するように設定を変更することができます。詳しくは34ページの“7.3.2 読み取り開始モード”を参照してください。

- 6) 選択したフォルダ内にスキャンした画像のファイルが作成されます。

(作成されたファイル)



7) 同様の方法に必要な原稿を順次スキャンしてファイルを作成してください。

[参考]

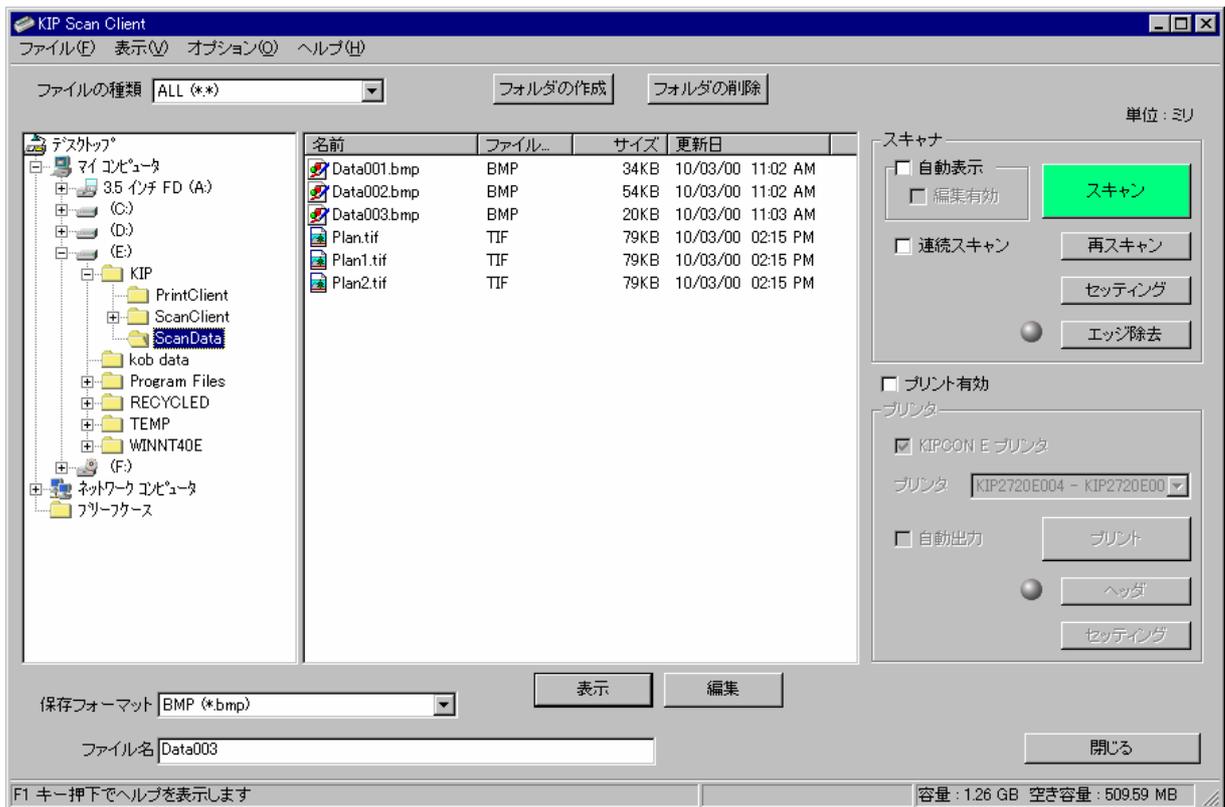
ファイル形式、ファイル名を変えずに何枚かの原稿をスキャンすると、入力したファイル名の後にスキャン順所に従って連番が付けられます。

入力したファイル名が [Plan] の場合、下記のように [Plan] の後に連番の番号を付けたファイル名となります。

- 1 枚目 : Plan.\*
- 2 枚目 : Plan1.\*
- 3 枚目 : Plan2.\*

またファイル名を入力しない場合、ファイル名は下記のように [Data] の後に [00X] のような連番の番号が付けられます。

- 1 枚目 : Data001.\*
- 2 枚目 : Data002.\*
- 3 枚目 : Data003.\*



## 7.2 スキャンの中断方法

スキャンボタンをクリックして原稿待機状態にした後で取り消したい場合は、下記の3種類の方法で取り消してください。

状況によってそれぞれ解除の方法が異なりますのでご注意ください。

### 7.2.1 原稿をセットする前

原稿をスキャナにセットしていないときは、画面上の「原稿待ち中」ダイアログの「キャンセル」ボタンが有効なので、これをクリックして原稿待機状態を解除してください。



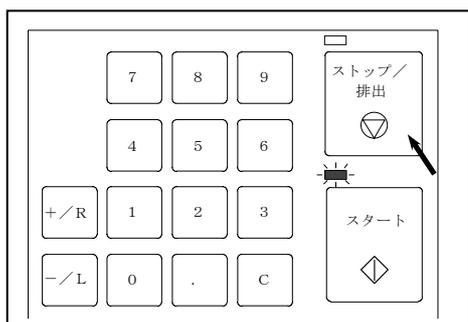
### 7.2.2 原稿をセットし、スキャン開始前に取り除いた場合

原稿待機中に原稿をスキャナにセットすると、「原稿待ち中」ダイアログの「キャンセル」ボタンが無効になります。



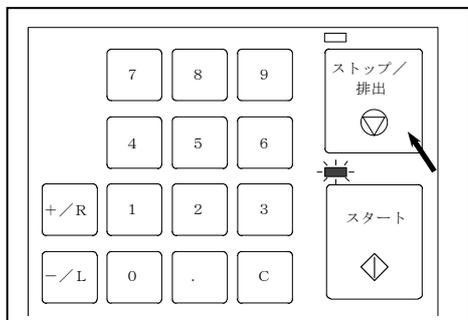
この状態でスキャンを開始せずに「ストップ／排出」ボタンを押して原稿を取り除くと、ScanClient上の操作では待機状態を解除できません。

この場合は、もう一度スキャナの操作パネルにある「ストップ／排出」キーを押してください。PCの画面上に「スキャンが中止されました。」と表示されるので「OK」をクリックしてください。これで待機状態が解除されます。



## 7.2.3 スキャン中

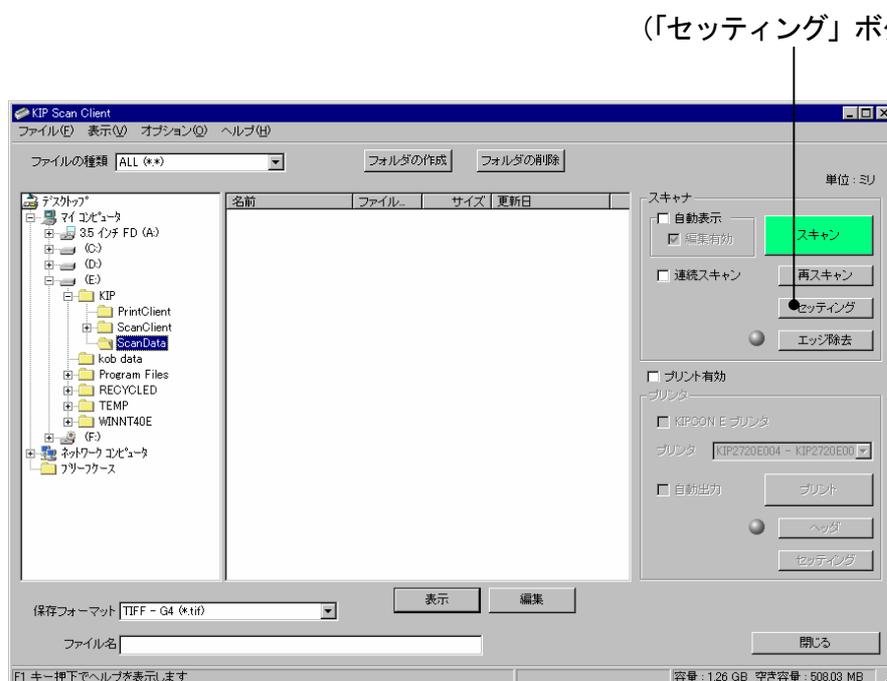
読み取り中にスキャナの操作パネルにある「ストップ／排出」キーを押してください。原稿搬送が中断され、PCの画面上に「スキャンが中止されました。」と表示されるので「OK」をクリックしてください。これで待機状態が解除されます。もう一度「ストップ／排出」キーを押すと、原稿が排紙されます。



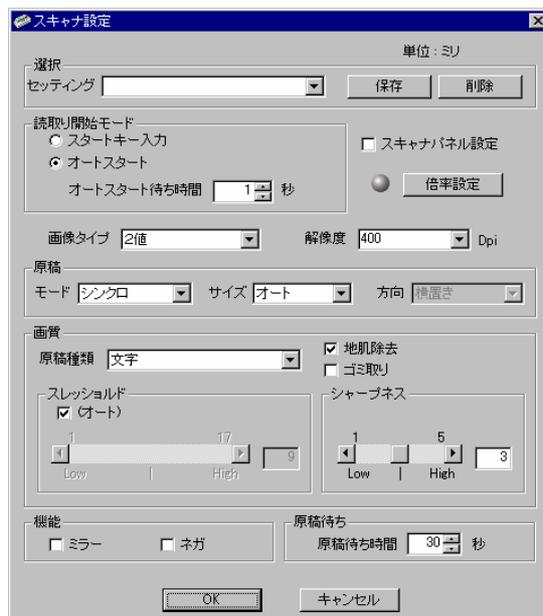
## 7.3 各種スキャン設定を変更してスキャンする

スキャナ設定部にある「セッティング」ボタンをクリックすると、「スキャナ設定」ダイアログが表示されます。

スキャンを行う前に解像度やスレッシュホールドといった各種スキャン設定を必要に応じて変更し、スキャン時にスキャン画像に反映させることができます。



(「スキャナ設定」ダイアログ)



次ページ以降で上記ダイアログの個々の設定項目について説明します。

ただし「スキャナパネル設定」については、52 ページの[7.4 各種スキャン設定をスキャナ側から指定する]で説明しますので、そちらを参照してください。

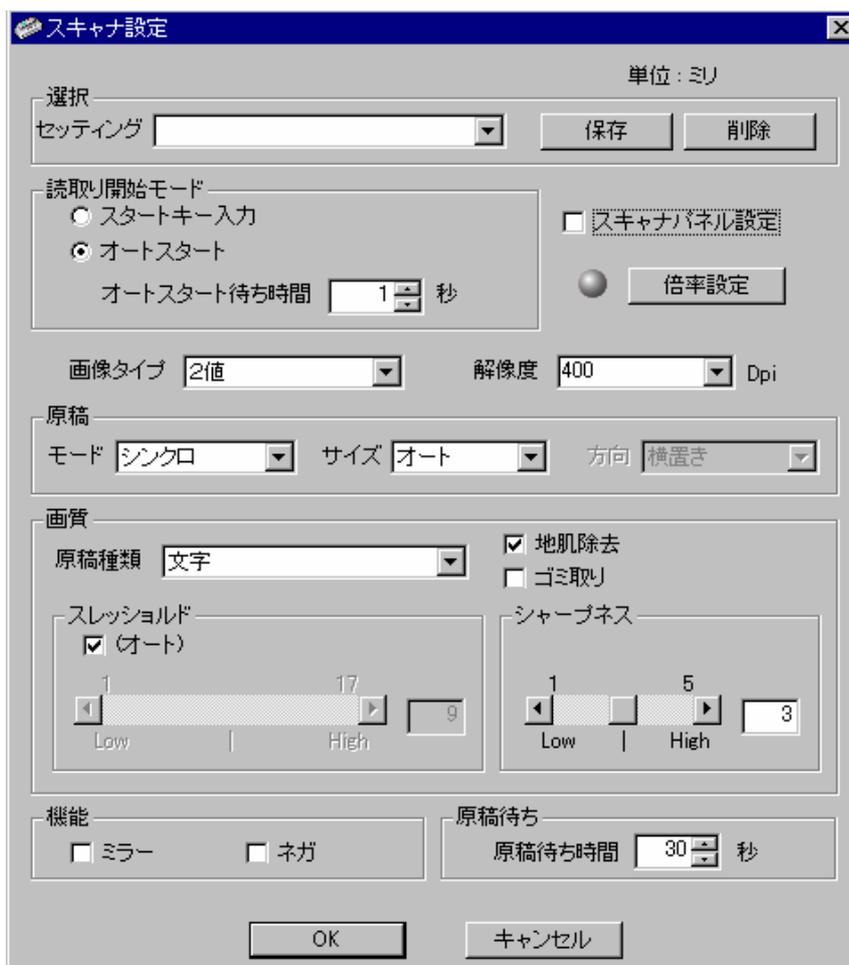
### 7.3.1 選択



「スキャナ設定」ダイアログに含まれる設定項目を必要に応じて変更し、いつでも簡単に呼び出すことのできる設定状態として名前を付けて保存することができます。  
ある特定の設定状態でスキャンを行うことの多い作業環境では、その状態を保存しておけば毎回の作業時に同一の設定を簡単に呼び出すことができるので、この機能を使用することをお勧めします。設定状態はいくつでも保存できます。  
また保存されている設定状態が不要になった場合は、削除することも可能です。

設定状態の保存・呼び出し・削除は下記のように行ってください。

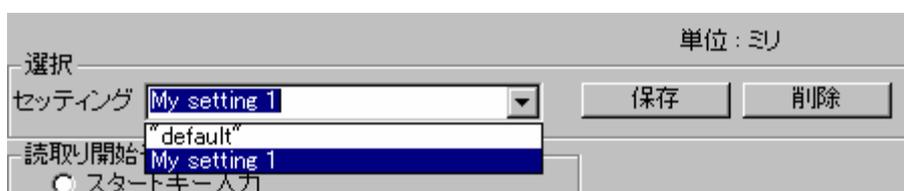
- 1) 「スキャナ設定」ダイアログに含まれる各設定を必要に応じて変更します。



- 2) 「セッティング」の欄にこの設定状態の保存名を入力し、「保存」をクリックします。  
これで保存は完了です。



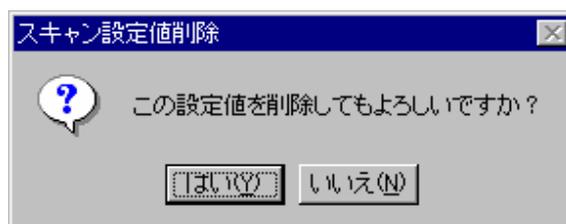
- 3) 保存した設定状態を呼び出す場合は、「セッティング」のプルダウンメニューからその名前をクリックしてください。  
「スキャナ設定」ダイアログの各設定は呼び出された設定状態に従って変化します。  
また初期設定状態に戻したい場合は、「default」を選択してください。



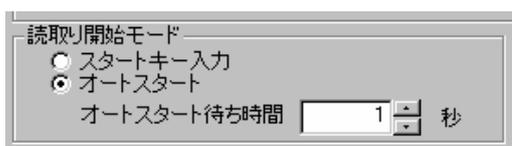
- 4) 保存した設定状態を削除する場合は、「セッティング」のプルダウンメニューからその名前をクリックして呼び出し、その後「削除」をクリックしてください。  
下記のメッセージが表示されたら「はい」をクリックすると削除が完了します。

[注意]

初期設定状態の“default”は削除できません。



## 7.3.2 読取り開始モード

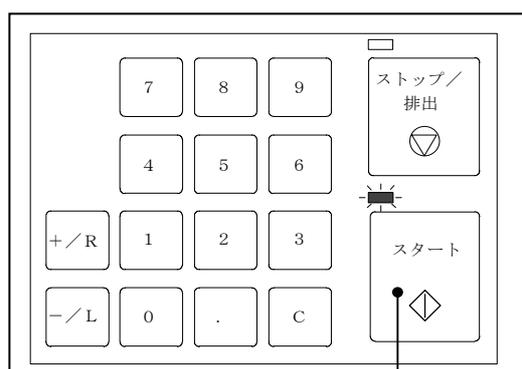
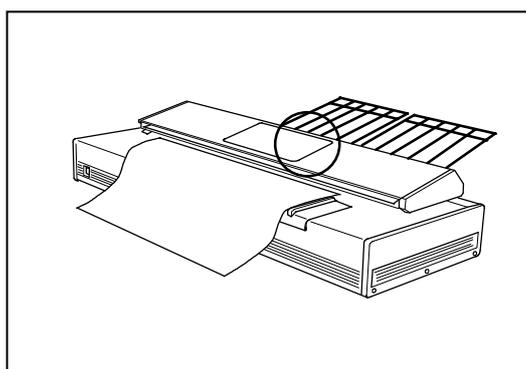


「スキャン」ボタンをクリックして原稿をスキャナにセットした後、スキャンを自動で開始するか手動で開始するかの設定を行います。

### A. スタートキー入力

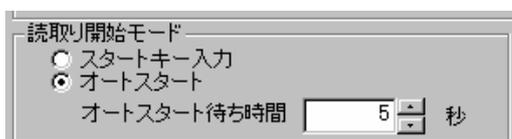


「スタートキー入力」をクリックして選択します。  
この場合は原稿をスキャナにセットした後、スキャナ側のスタートキーを押してスキャンを開始します。



(スタートキー)

### B. オートスタート



スキャナに原稿をセットするだけで、設定されたオートスタート待ち時間が経過後に自動的にスキャンが開始されます。

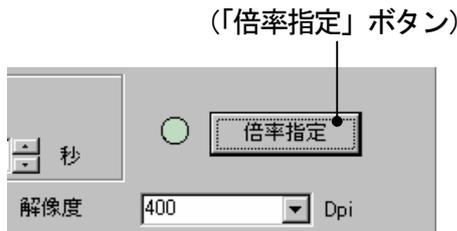
「オートスタート」をクリックして選択し、オートスタート待ち時間を1~10秒の間で設定してください。

### 7.3.3 倍率設定

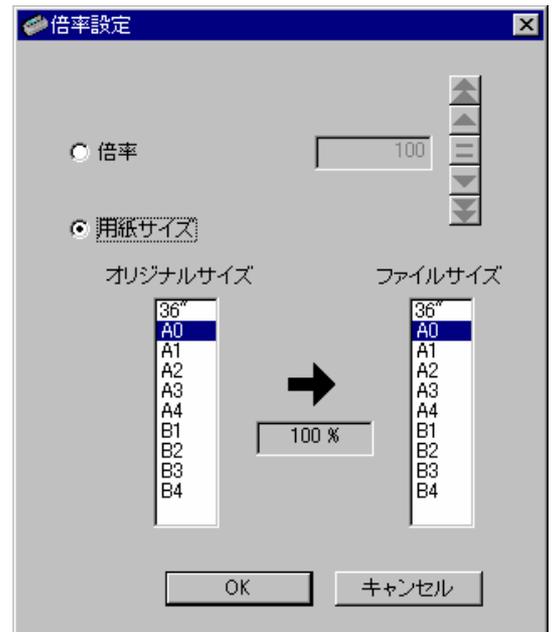
原稿をスキャンしてファイルに保存する際に、例えば A0 の大きさの原稿を A3 の大きさの画像に縮小してファイルに保存するといったように、原稿の大きさに対して異なるファイルサイズを指定することができます。

倍率を設定した場合、解像度はスキャナの解像度に従って自動的に 400dpi または 600dpi となります。 (KIP2050, 2080, 2120, 2160 の場合は 400dpi、KIP2600 の場合は 600dpi となります。) ご注意ください。

- 1) 「スキャナ設定」ダイアログ内の「倍率指定」ボタンをクリックすると「倍率設定」ダイアログが表示されます。



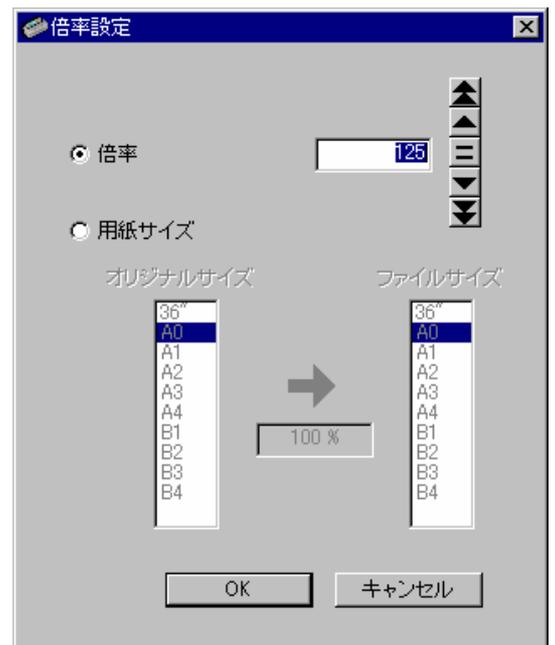
(「倍率設定」ダイアログ)



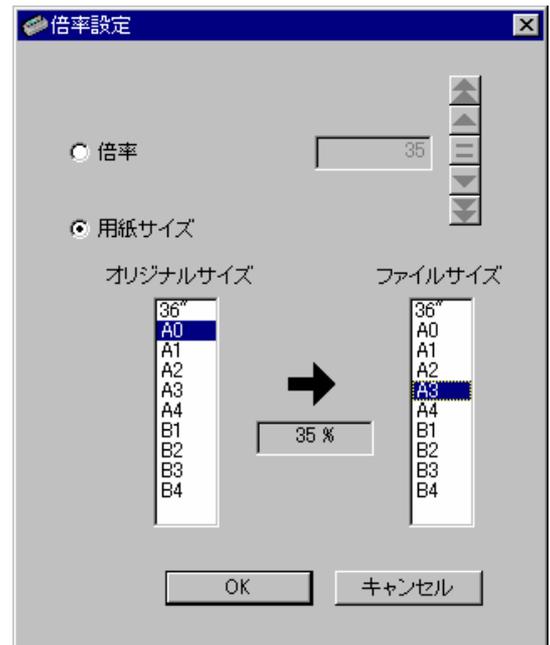
- 2) 「倍率」を選択するとキーボード入力または倍率表示部右側のアイコンを使用して倍率(%)を直接設定することができます。

倍率を設定したら、「OK」をクリックしてください。  
各アイコンの機能は下記のようにになっています。  
設定範囲は 400dpi 機の場合は 25~400%、600dpi 機の場合は 25~250%です。(600dpi 機でも 250~400%まで入力できますが、この範囲は全て 250%になります。)

-  : クリックすると 141%, 200%, 282%, 400%を順番に選択できます。
-  : クリックすると 70%, 50%, 35%, 25%を順番に選択できます。
-  : 倍率を 1%単位で増加します。
-  : 倍率を 1%単位で減少します。
-  : 倍率を 100%にします。



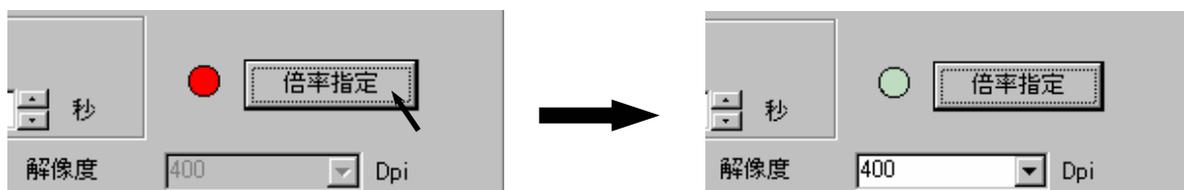
- 3) 「用紙サイズ」をクリックすると「オリジナルサイズ」と「ファイルサイズ」が選択可能な状態になります。スキャンする原稿のサイズを「オリジナルサイズ」から選択し、ファイルに保存する際の画像サイズを「ファイルサイズ」から選択してください。必要な倍率が表示されるので、「OK」をクリックします。



- 4) 前記 2) または 3) で倍率を設定して「OK」をクリックすると、「スキャナ設定」ダイアログ内の「倍率指定」ボタンの左側にある丸ボタンが赤色表示されて現在倍率が設定されていることを表します。またこの時「解像度」は 400dpi または 600dpi で固定となり、変更できない状態になります。(KIP2050, 2080, 2120, 2160 の場合は 400dpi、KIP2600 の場合は 600dpi となります。)



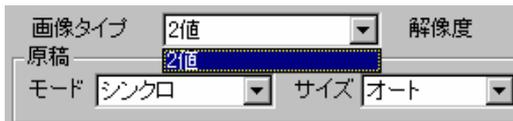
もう一度「倍率指定」ボタンをクリックすると倍率の設定は解除され、丸ボタンは通常の緑色表示に戻り、「解像度」も変更可能となります。



**注意** KIP2600 (600dpi 機) をご使用のお客様へ

KIP2600 (600dpi 機) をご使用の場合、コンピューター画面上で倍率を 100%以外の値に変更すると変倍が適切に行われず場合があります。スキャナ上の液晶表示部にスキャンモード画面を表示させ、スキャナ側で倍率を変更した場合は変倍が正確に行われますので、必ずスキャンモード画面で倍率を変更して下さい。スキャンモード画面については 52 ページの [7.4 各種スキャン設定をスキャナ側から指定する] を参照して下さい。

### 7.3.4 画像タイプ



画像タイプの選択項目は” 2 値 ” の一種類しかないので設定を変更するケースはありません。

### 7.3.5 解像度



100dpi から 1600dpi までの範囲で解像度の設定ができます。

プルダウンメニューからあらかじめ用意された解像度を選択するか、または直接キーボードで必要な解像度を入力することで設定を行います。

(プルダウンメニューから選択)



(キーボードで直接入力)



#### [注意]

ハードウェアの KIP2000 (K-75) シリーズスキャナの解像度は 400dpi です。

KIP Scan Client 側で 400dpi までの解像度を選択した場合はスキャナ側の最大スキャン幅である A0 (841mm) または 36 インチまでの原稿のスキャンが可能ですが、それよりも大きい高解像度を選択した場合、選択した解像度に従ってスキャン可能な最大幅に下記のような制限が生じます。

この制限幅より大きい原稿をスキャンした場合、原稿の一部の画像が読み取れずに欠けてしまいます。

- 600dpi : 594mm (A1) 幅まで
- 800dpi : 420mm (A2) 幅まで
- 1000dpi : 297mm (A3) 幅まで
- 1200dpi : 297mm (A3) 幅まで
- 1400dpi : 210mm (A4) 幅まで
- 1600dpi : 210mm (A4) 幅まで

[設定例]

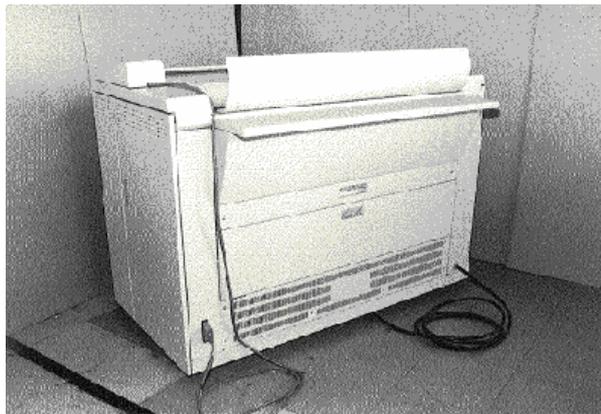
1600dpi



600dpi



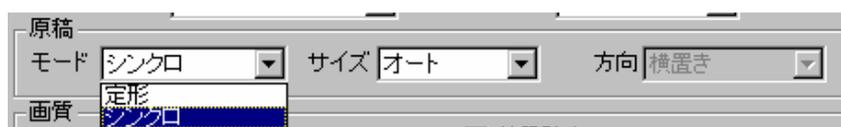
200dpi



## 7.3.6 原稿

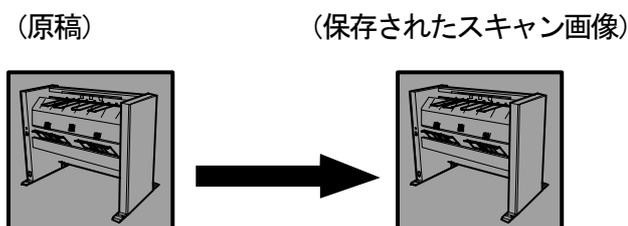


### A. モード



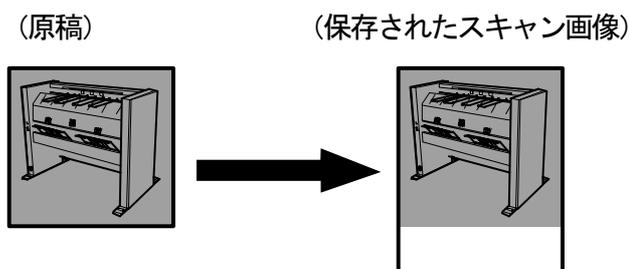
「モード」には「シンクロ」と「定型」があり、スキャン画像をファイルに保存する際の縦方向の画像長をどのように処理するかを指定します。

「シンクロ」を選択した場合、スキャン原稿の最後端の画像を読み終わるとそのままの画像長でファイルに保存します。  
従って下図のように原稿長が定型サイズではない原稿をスキャンした場合でも余分な余白がついたり画像を失ったりすることなく、そのままの長さでファイルに保存することができます。

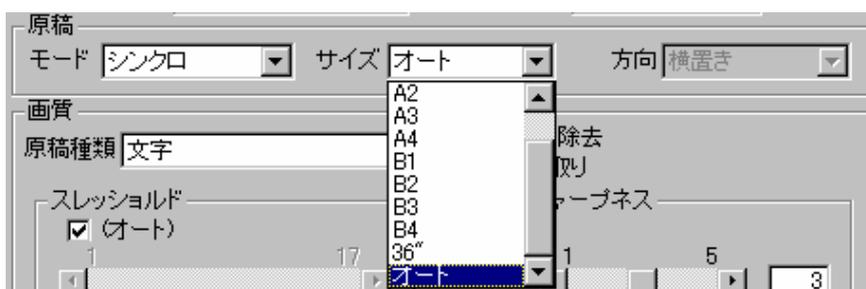


「定型」を選択した場合、A0 や A1 などの定型サイズでファイルに保存します。  
原稿長が定型サイズではない原稿をスキャンした場合は、選択された定型サイズよりもスキャン画像が短い場合は余白を追加し、長い場合は入りきらない部分を削除して定型サイズにします。

定型サイズと方向（縦置きまたは横置き）は次項以降で説明する「サイズ」、「方向」で設定を行います。



## B. サイズ



「モード」で「シンクロ」を選択した場合は、「サイズ」のプルダウンメニューから一つを選択することにより、スキャン画像をファイルに保存する際の横方向の画像幅を指定します。

「モード」で「定型」を選択した場合は、「サイズ」のプルダウンメニューから一つを選択することにより、スキャン画像をファイルに保存する際の定型サイズを指定します。  
またこの場合、定型サイズのA1～A4かB2～B4を選択すると、次項で説明する「方向」によって縦置きか横置きを選択することができます。

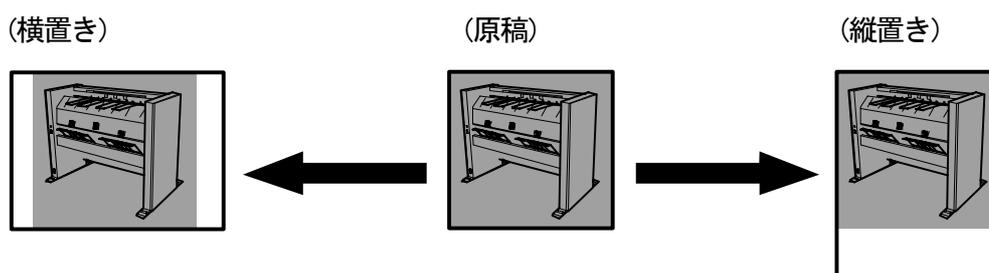
[参考：「サイズ」で「オート」を選択した場合]

1. 「シンクロ」の場合はスキャン画像が収まるような最適な画像幅がスキャン時に自動的に選択されます。  
例えば幅 400mm で長さ 500mm の原稿を「オート」でスキャンすると、A2 (420mm) 幅が自動的に選択されます。
2. 「定型」の場合はスキャン画像が完全に収まるような最適な定型サイズと方向がスキャン時に自動的に選択されます。  
例えば幅 400mm で長さ 500mm の原稿を「オート」でスキャンすると、定型サイズの A2 と「縦置き」が自動的に選択されます。(A2 の縦置きは幅 420mm で長さ 594mm です。)

## C. 方向



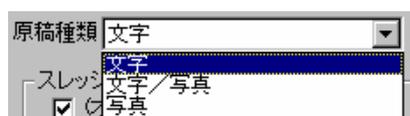
「モード」で「定型」を選択し、「サイズ」のプルダウンメニューから定型サイズのA1～A4かB2～B4を選択すると、「方向」によって縦置きか横置きを選択することができます。



## 7.3.7 画質

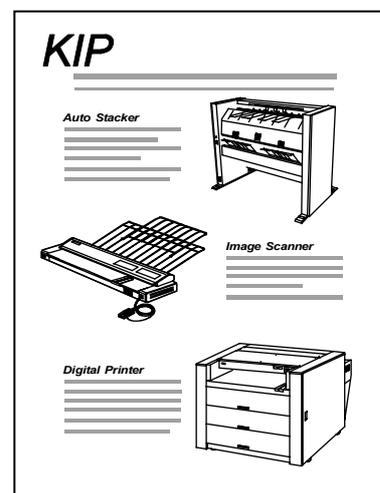


### A. 原稿種類



原稿をスキャンする際に最適な画像処理を行うために、原稿の画像タイプに従って下記のいずれかを「原稿種類」のプルダウンメニューから選択してください。

文字 —— 右図のように画像が文字と線で構成されている原稿に対して最適な画像処理を行います。



文字/写真 —— 右図のように文字、線、ハーフトーン、写真が混在した原稿に対して最適な画像処理を行います。

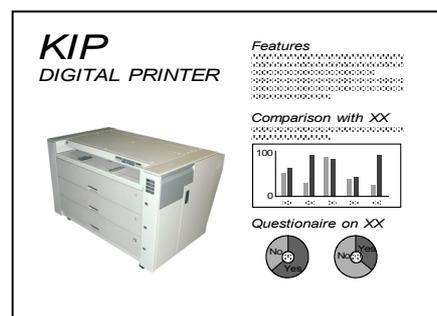
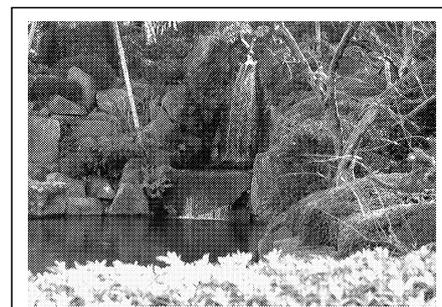
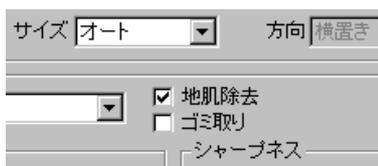


写真 —— 右図のように写真の原稿に対して最適な画像処理を行います。



## B. 地肌除去

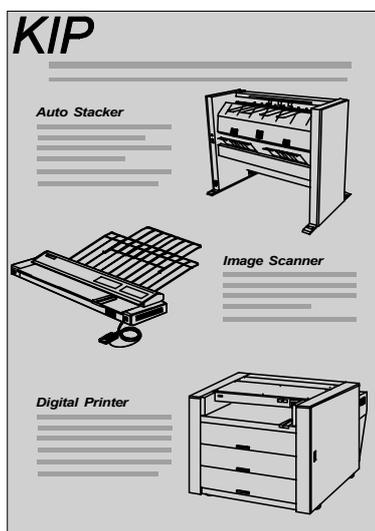


「地肌除去」をチェックして地肌除去機能を使用すると、原稿の不要な地肌画像を除去することができます。

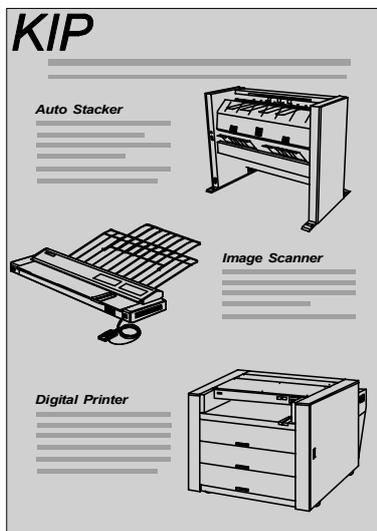
チェックを外すと地肌除去機能は働かず、原稿の地肌部分も読み取られます。

注意：「地肌除去」のチェックを外すと「スレッシュホールド」の「オート」をチェックすることができなくなるので、必要に応じてスレッシュホールドを任意に指定する必要があります。  
また「原稿種類」で「写真」を選択すると地肌除去機能は使用できなくなります。

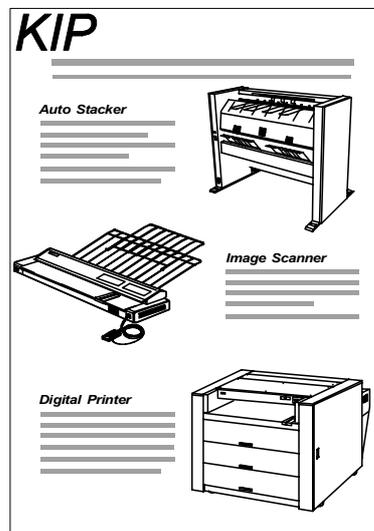
(原稿)



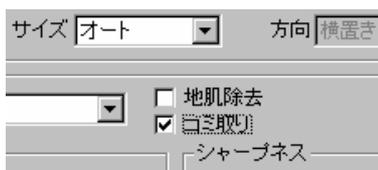
(地肌除去機能を使用しない場合)



(地肌除去機能を使用した場合)



## C. ゴミ取り



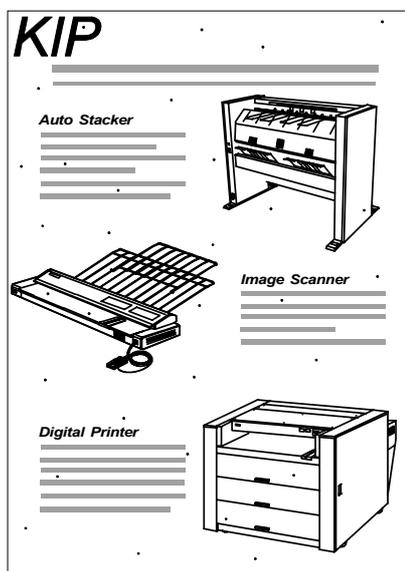
「ゴミ取り」をチェックしてゴミ取り機能を使用すると、原稿上の不要な点画像を除去することができます。

チェックを外すとゴミ取り機能は働かず、原稿上の点画像も読み取られます。

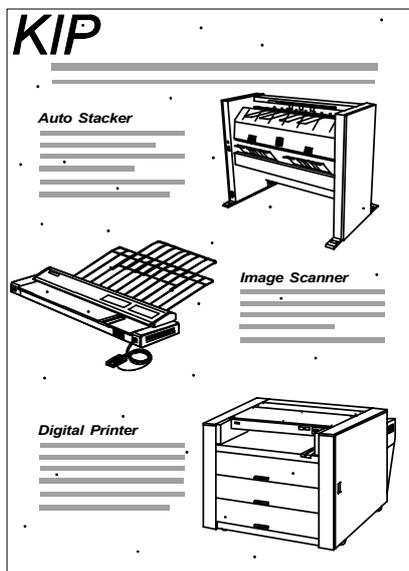
### [注意]

「原稿種類」で「写真」を選択するとゴミ取り機能は使用できなくなります。

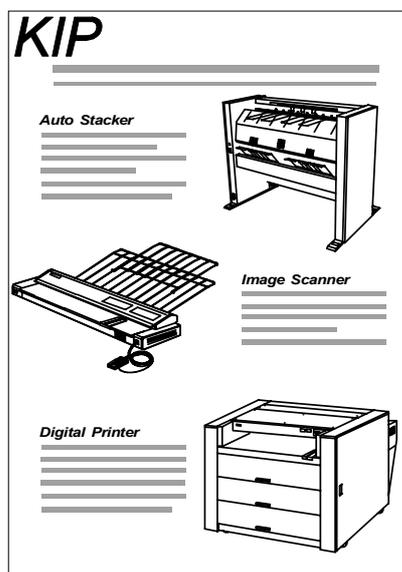
(原稿)



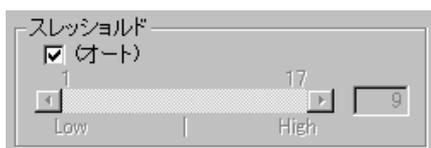
(ゴミ取り機能を使用しない場合)



(ゴミ取り機能を使用した場合)



## D. スレッシュヨルド



スレッシュヨルドの設定には「オート」をチェックして KIP Scan Client に最適なスレッシュヨルドを選択させる自動選択と、「オート」のチェックを外してユーザーが好みのスレッシュヨルドを任意に指定する手動選択があります。

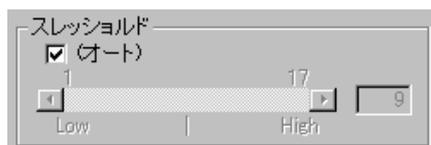
### [注意]

「原稿種類」で「写真」を選択した場合、スレッシュヨルドの自動選択はできません。選択は手動で行ってください。

また[地肌除去]のチェックを解除すると、スレッシュヨルドの自動選択はできません。

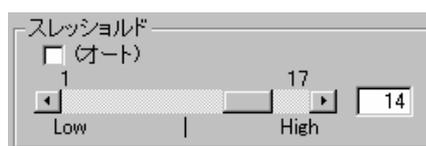
自動選択の場合は「オート」をチェックしてください。

このままスキャンを行うと、最適なスレッシュヨルドレベルが自動的に選択されます。



手動設定の場合、両側にあるアイコンをクリックしてスレッシュヨルドレベルを変更します。選択されているレベルの値が右側に表示されます。

(例：スレッシュヨルドレベルを 14 に設定)

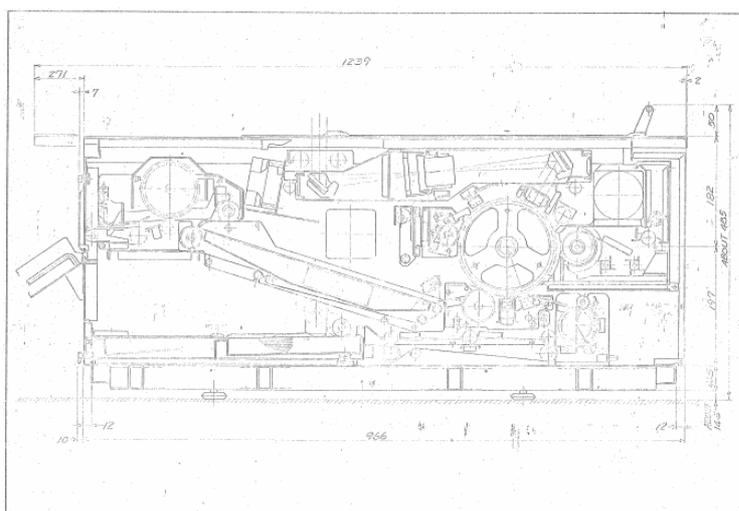
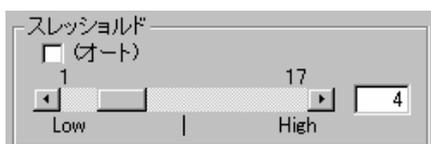
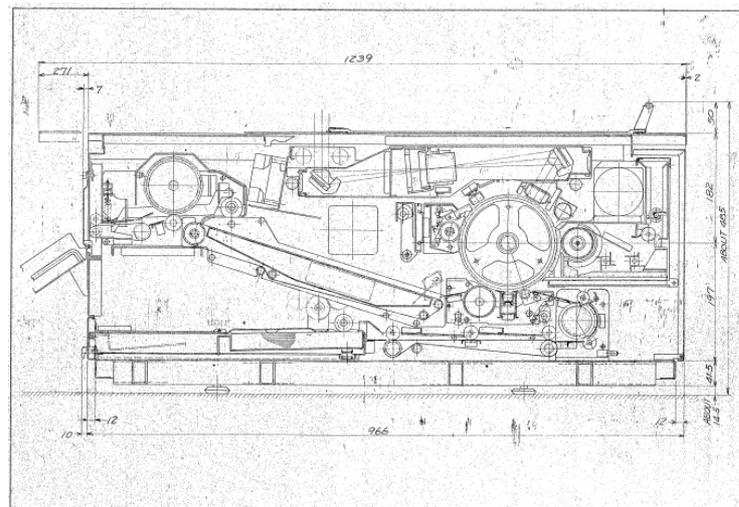
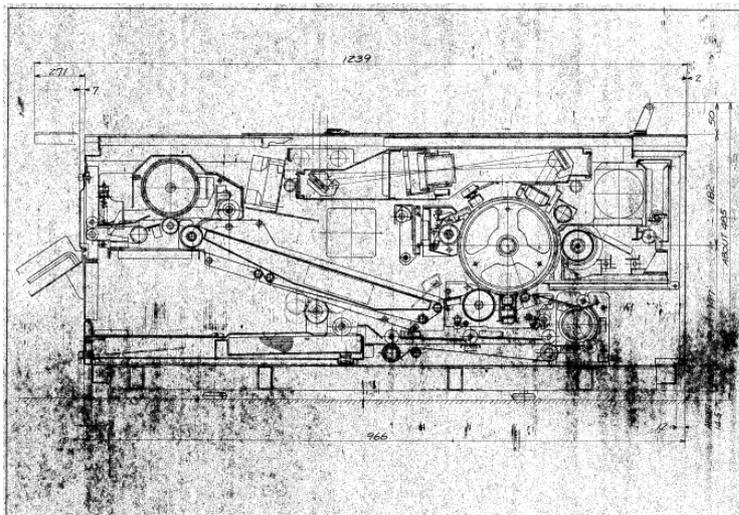


次ページ以降にスレッシュヨルドレベルを変更するとどのようにスキャン画像が変化するかのを、ビューア画像で示しましたので、手動設定を行う際の参考にしてください。

「原稿種類」で「文字」を選択している場合、スレッシュホルドレベルの値を小さくするほど原稿の地肌部分を除去することができます。

ただしあまり値が小さいと細線や小さな文字がかすれて判別しにくくなることがあります。

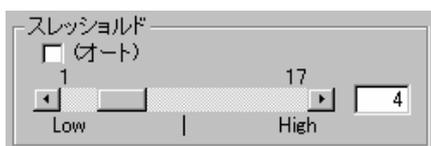
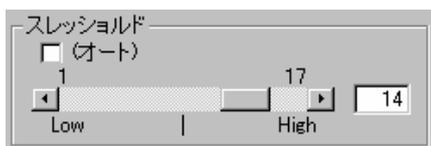
↑ (大きい値)



↓ (小さい値)

「原稿種類」で「文字／写真」を選択している場合、スレッシュホルドレベルの値を小さくするほど原稿の地肌部分を除去することができます。ただしあまり値が小さいと細線や小さな文字がかすれて判別しにくくなったり、写真部が薄くなりすぎたりすることがあります。

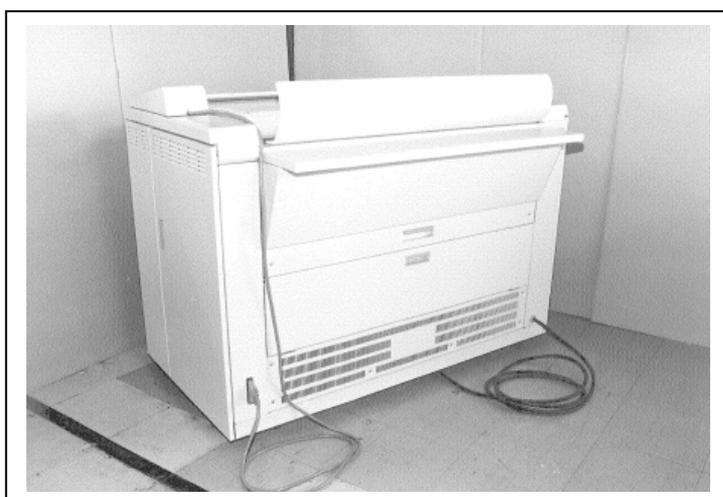
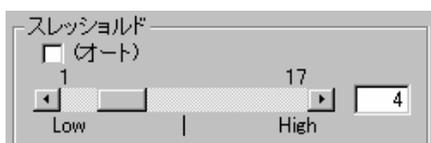
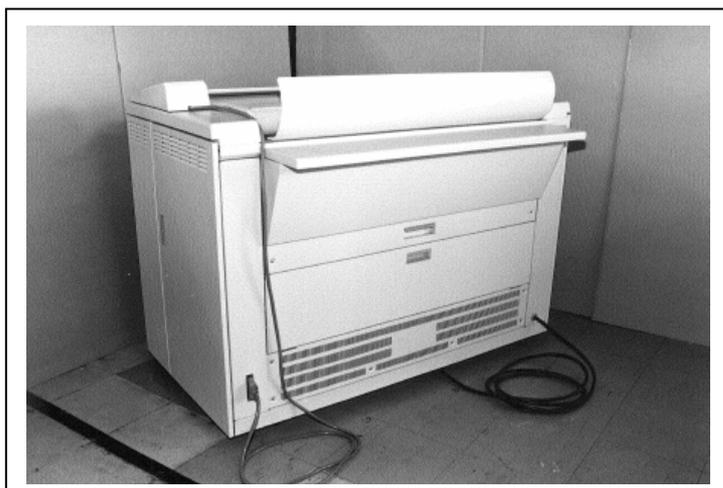
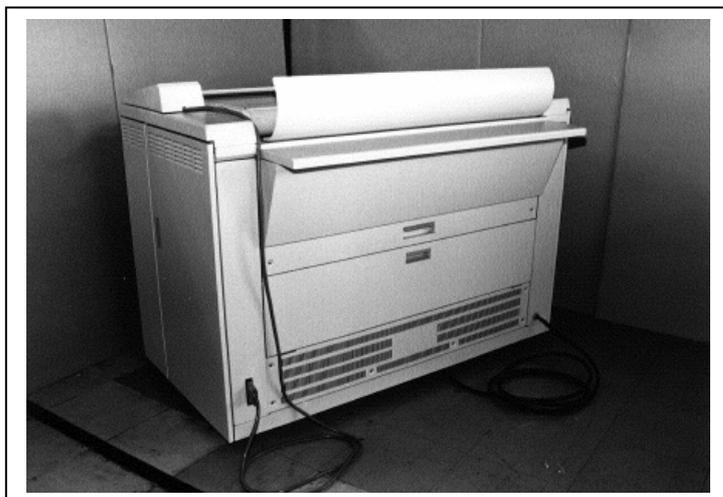
↑ (大きい値)



↓ (小さい値)

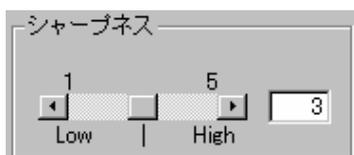
「原稿種類」で「写真」を選択している場合、スレッシュヨルドレベルの値を小さくするほどスキャン画像全体が薄くなり、大きくするほどスキャン画像全体が濃くなります。

↑ (大きい値)



↓ (小さい値)

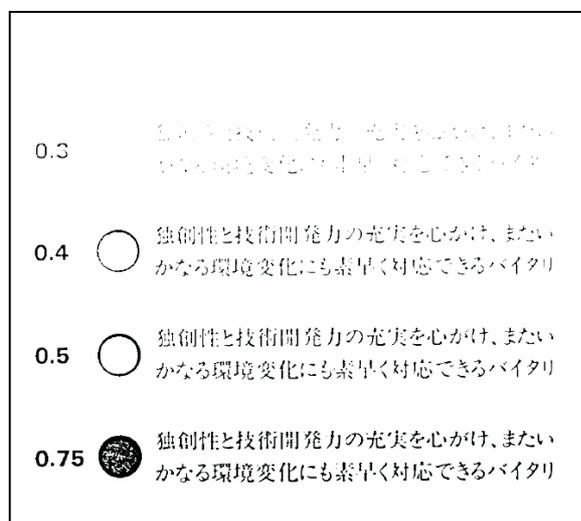
## E. シャープネス



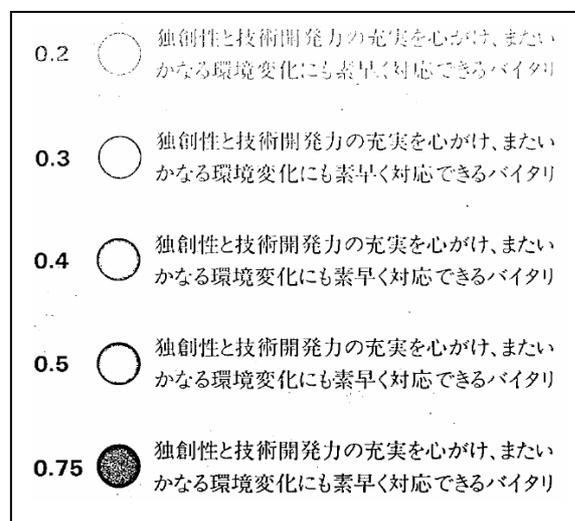
シャープネスレベルを変えることにより、スキャン画像の鮮鋭さを調節できます。  
5段階のシャープネスレベルがあり、値の大きいレベルを選択すると細線などがより鮮鋭になります。

下の例は、他の設定を変えずにシャープネスレベルだけを変えてスキャンした場合のビューア画像です。

(シャープネスレベル1)



(シャープネスレベル5)





### 7.3.9 原稿待ち



KIP Scan Client 上の「スキャン」ボタンをクリックすると「原稿待ち中」ダイアログが表示されて原稿待機状態になりますが、ここで指定された設定時間以内にスキャナに原稿がセットされない場合は「原稿待ち中」ダイアログの表示が消え、原稿待機状態がキャンセルされます。キーボードで直接入力するか画面上のアイコンを使用して待機時間を設定してください。設定範囲は0～300秒です。

#### [参考]

原稿待ち時間を0分に設定した場合、「原稿待ち中」ダイアログの「キャンセル」をクリックしない限り、原稿待機の状態が続きます。例えばスキャナ側で各スキャン設定を変更しながら連続スキャンする時など、コンピュータから離れる必要がある場合に原稿待ち時間を0分に設定してください。



(「原稿待ち中」ダイアログ)



(例：待機時間を10秒に設定)



## 7.4 各種スキャン設定をスキャナ側から指定する

コンピュータ画面上の「スキャナ設定」ダイアログで行っていたスキャン設定のうち、「原稿」、「解像度」、「倍率」、「画質」、「機能」の各設定項目は、スキャナ側の操作パネルにあるタッチパネルから設定を行うことができます。

設定をコンピュータ側から行ってもスキャナ側から行っても全く同一のスキャン結果が得られます。

**従ってこのセクションでは、スキャナ側のタッチパネル上での操作方法についてのみ説明します。**  
**各スキャン設定を変更する目的や効果などの詳細につきましては 31 ページ以降の [7.3 各種スキャン設定を変更してスキャンする] を参照してください。**

例えばコンピュータがスキャナから離れたところに設置されている場合などにこの機能を使用すると便利です。

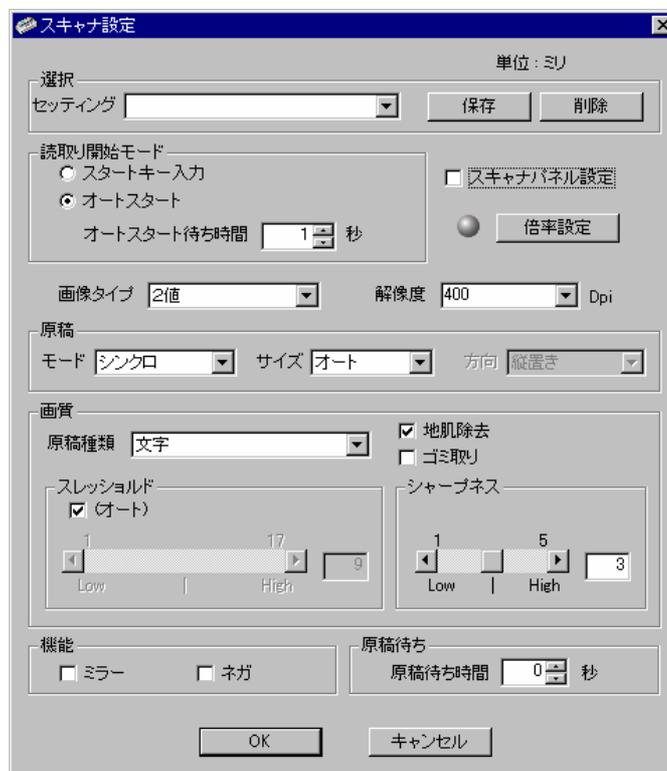
また、連続スキャン中はコンピュータ側ではスキャン設定の変更ができないため、複数の原稿に対して同一のスキャン設定でスキャンすることを余儀なくされますが、この機能を使用した場合は原稿毎にスキャン設定を変更して連続スキャンが行えるといったメリットもあります。

### [参考]

また一般の汎用スキャンアプリケーションを使用する場合でもスキャン設定をスキャナ側から指定することが可能です。

ただしこの場合、KIP Scan Client を使用する場合に比べて変更できる機能に制限があることをご了承ください。

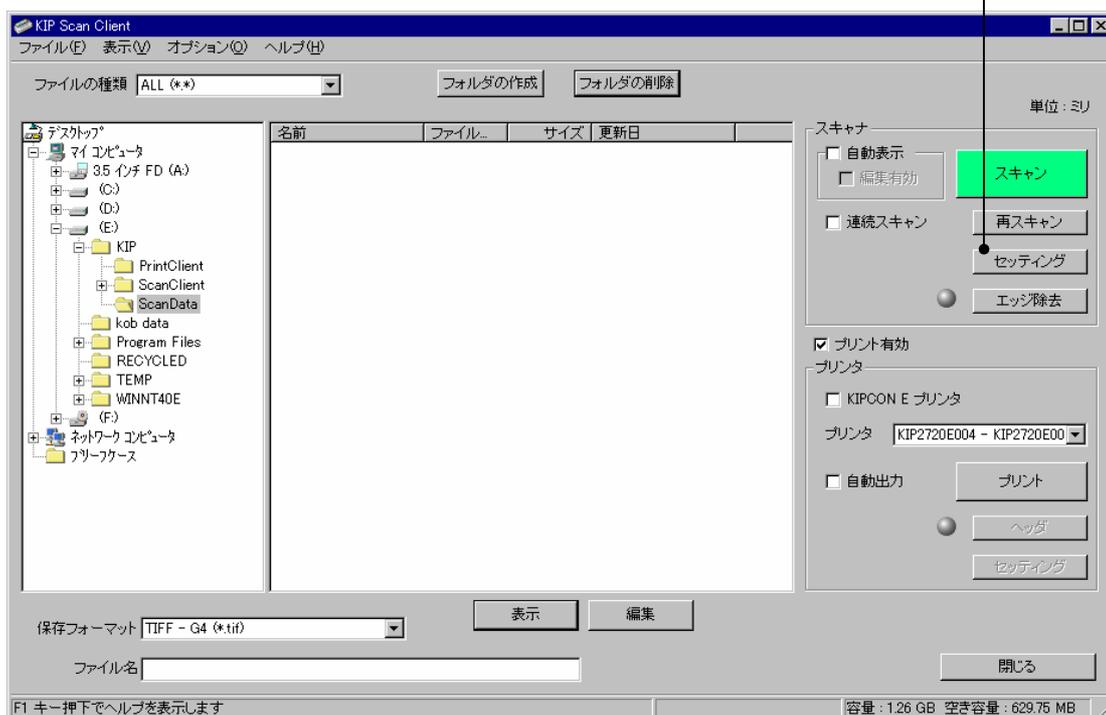
一般の汎用スキャンアプリケーションを使用する場合の操作方法については 77 ページの [7.4.4 一般の汎用スキャンアプリケーションの場合] を参照してください。



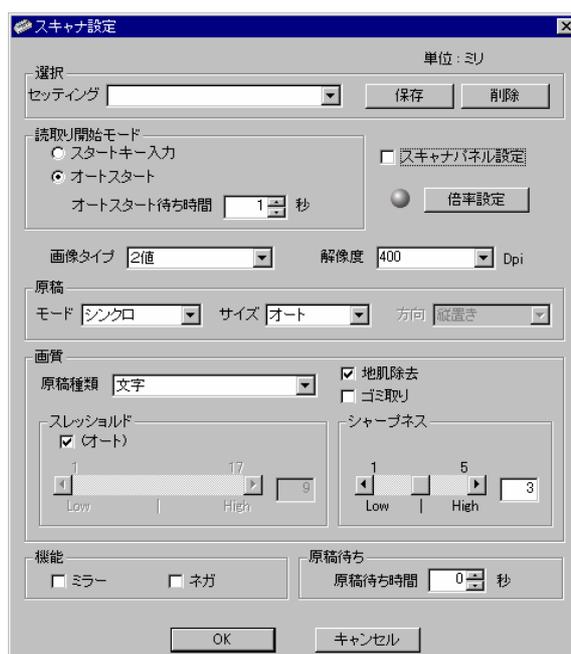
## 7.4.1 スキャナ本体側にスキャンモード(パネル設定)画面を表示させる

- 1) KIP Scan Client 上の「セッティング」ボタンをクリックして「スキャナ設定」ダイアログを表示させます。

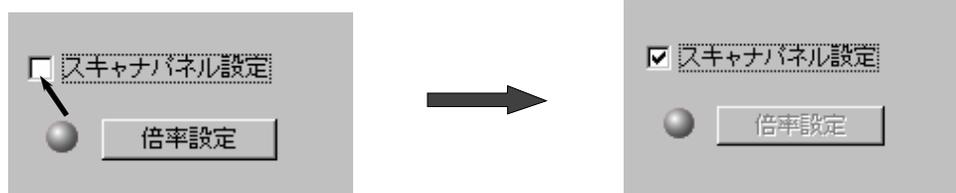
(「セッティング」ボタン)



(「スキャナ設定」ダイアログ)



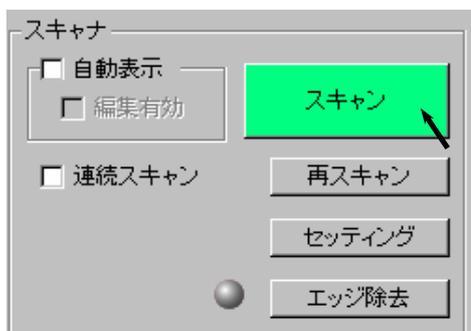
2) 「スキャナパネル設定」をクリックしてチェックします。



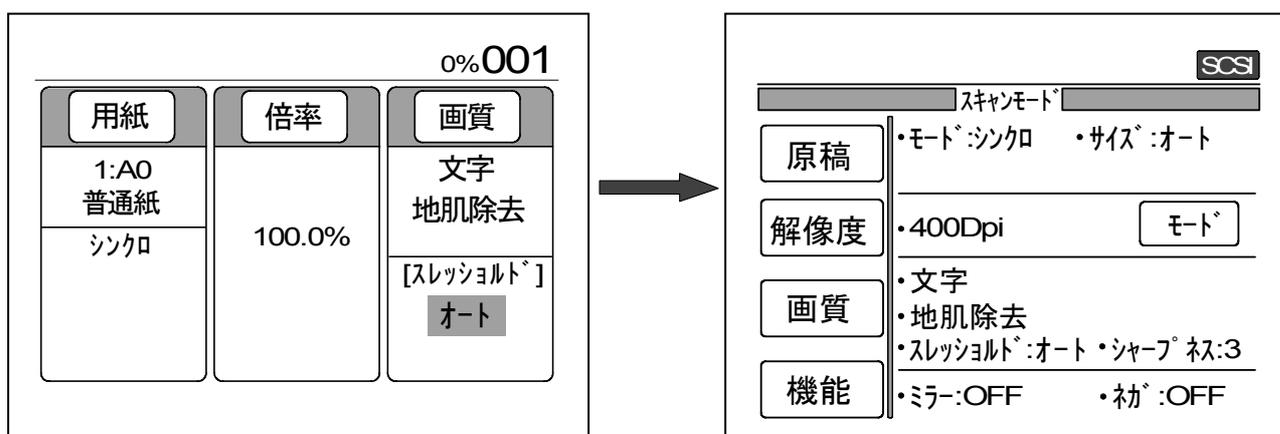
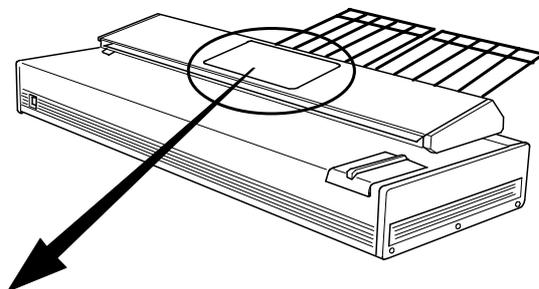
「スキャナパネル設定」をチェックすると「原稿」、「解像度」、「倍率設定」、「画質」、「機能」の各設定項目が灰色表示されて変更できない状態になります。そのことを確認してから「OK」をクリックします。



3) 「スキャン」ボタンをクリックすると「原稿待ち中」ダイアログが表示されてスキャナがスキャン可能な状態であることを示します。



- 4) 「原稿待ち中」ダイアログがコンピュータのディスプレイに表示されている間、スキャナの液晶表示部は下図右側のようにスキャンモード(パネル設定)画面を表示します。これでスキャナ側から各スキャン設定を変更することが可能になります。



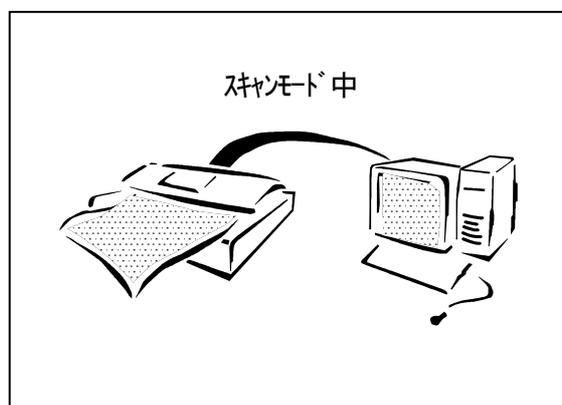
(「スキャン」ボタンをクリックする前)

(「スキャン」ボタンをクリックした後)

**[注意]**

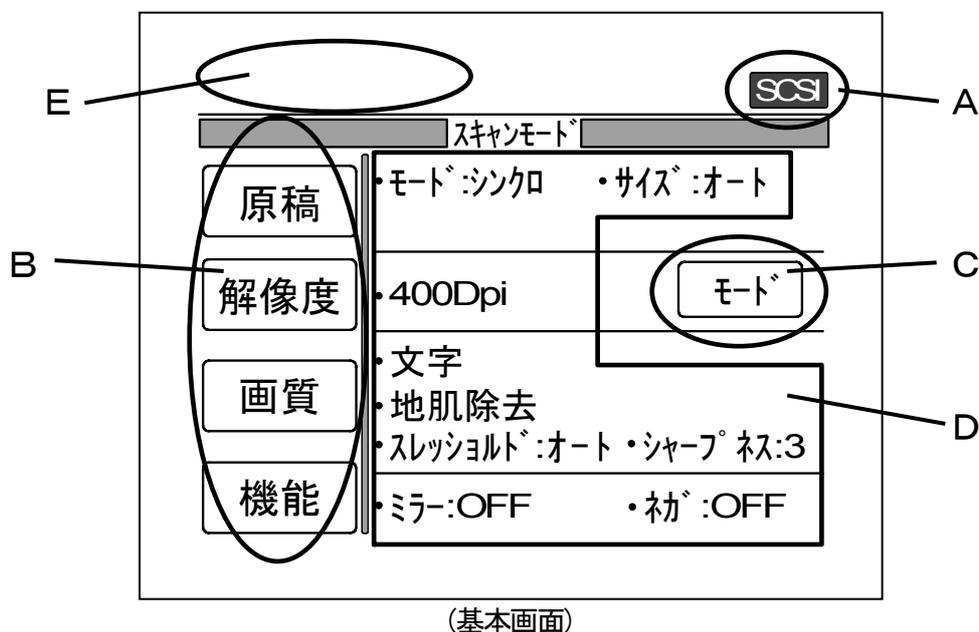
「スキャナパネル設定」をチェックしないで「スキャン」ボタンをクリックすると、液晶表示部は下図のように表示します。

このままではスキャナ側からスキャン設定を変更することができないので、前記手順 2) に戻って「スキャナパネル設定」をチェックしてください。



## 7.4.2 スキャンモード(パネル設定)画面の基本画面について

下記の画面は基本画面といいます。  
各部のはたらきは次のようになっています。



A部…………… A部は“SCSI”と表示して現在スキャナがスキャンモードに入っていることを表します。  
この時コピーを行うことはできません。

B部…………… [原稿] [解像度] ([倍率]) [画質] [機能] ボタン  
各ボタンを押すことによって各設定画面に切り替えます。

C部…………… [モード] ボタン  
B部 [解像度] ボタンと [倍率] ボタンとを切り替えます。

D部…………… 各設定内容表示  
このスキャンモード(パネル設定)で設定されている内容が表示されています。

注意：ここで表示されている内容はスキャンモード(パネル設定)に入る前のスキャナの設定ではありません。  
スキャンモード(パネル設定)に入ってから上記表示部の [原稿] [解像度] [倍率] [画質] [機能] ボタンによって設定されている内容です。

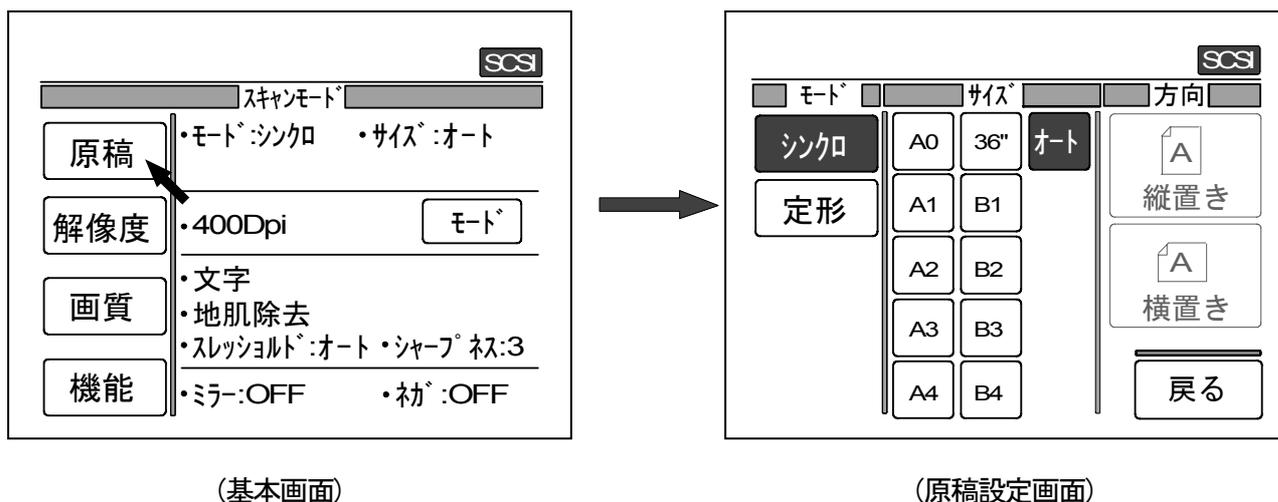
E部…………… 読み取り幅の表示  
原稿メニューでオートが選択されている時に原稿の読み取り幅を表示します。  
エラー表示  
スキャナ側でエラーが発生した時、そのエラー内容を表示します。

## 7.4.3 スキャナ本体側での各設定方法

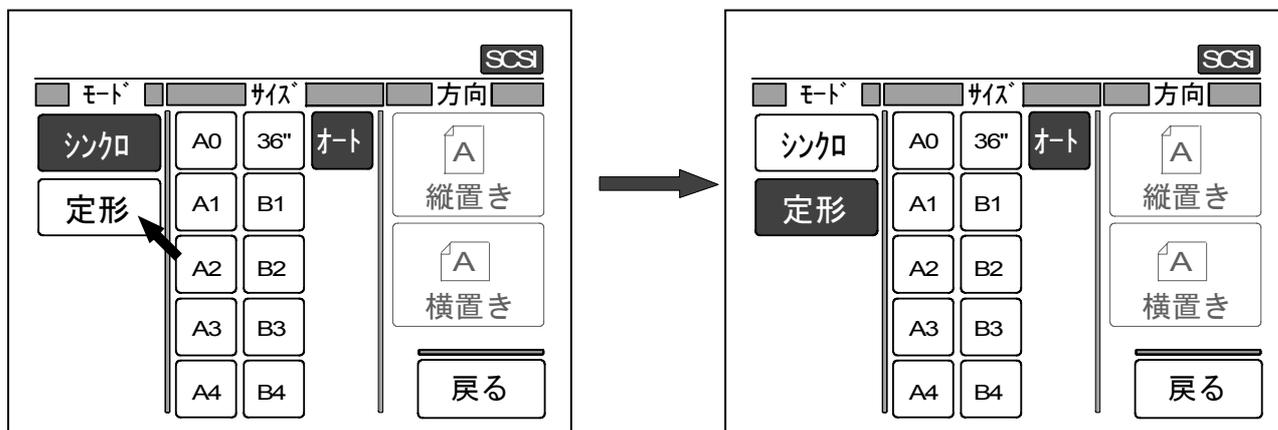
### A. 原稿設定

ここでは「原稿設定画面」での操作方法についてのみ説明します。  
原稿の設定の詳細を知りたい場合は 39 ページの 7.3.6 原稿 を参照してください。

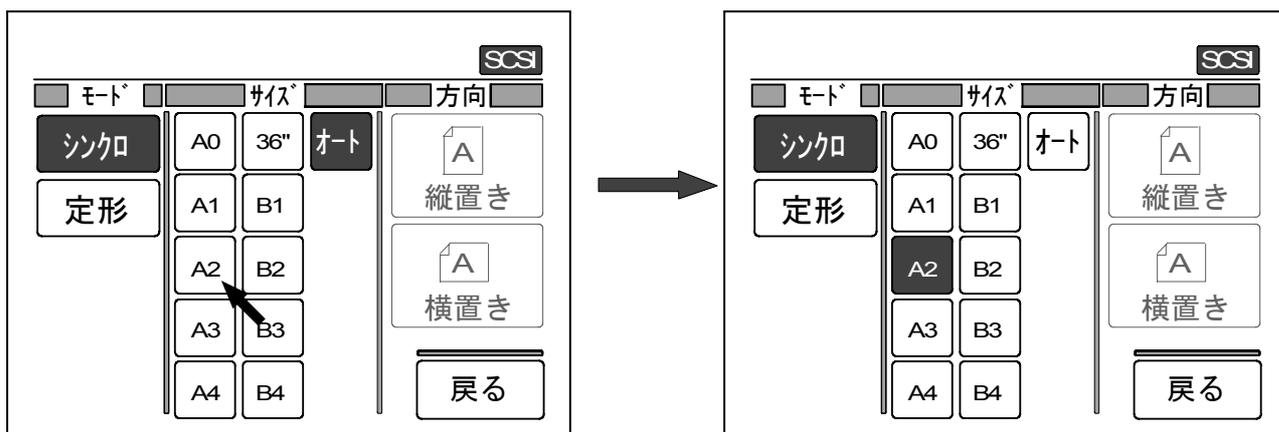
- 1) 「基本画面」上の「原稿」ボタンを押して「原稿設定画面」を表示させます。



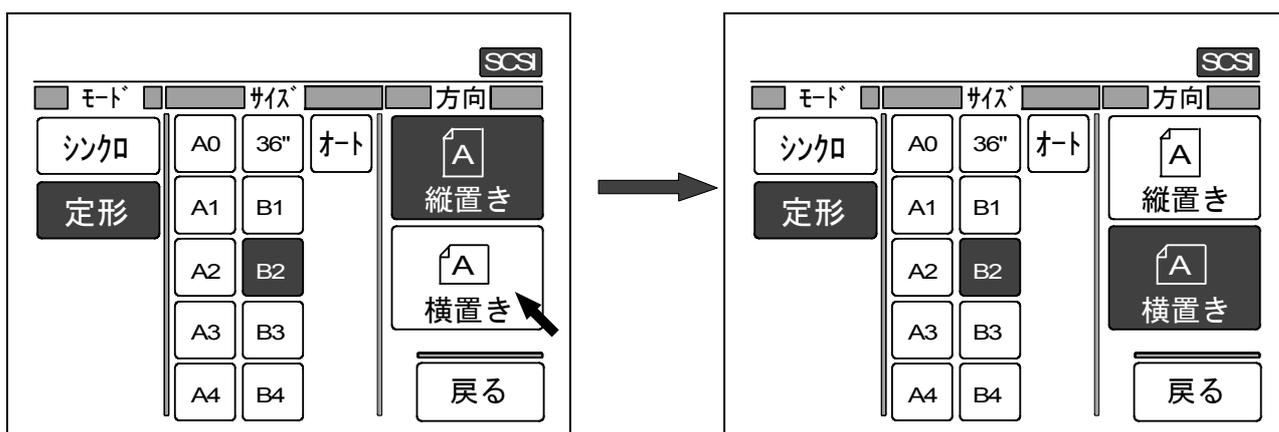
- 2) モード部の「シンクロ」ボタン又は「定形」ボタンを押して、いずれかを選択します。  
選択されたボタンが反転表示されます。



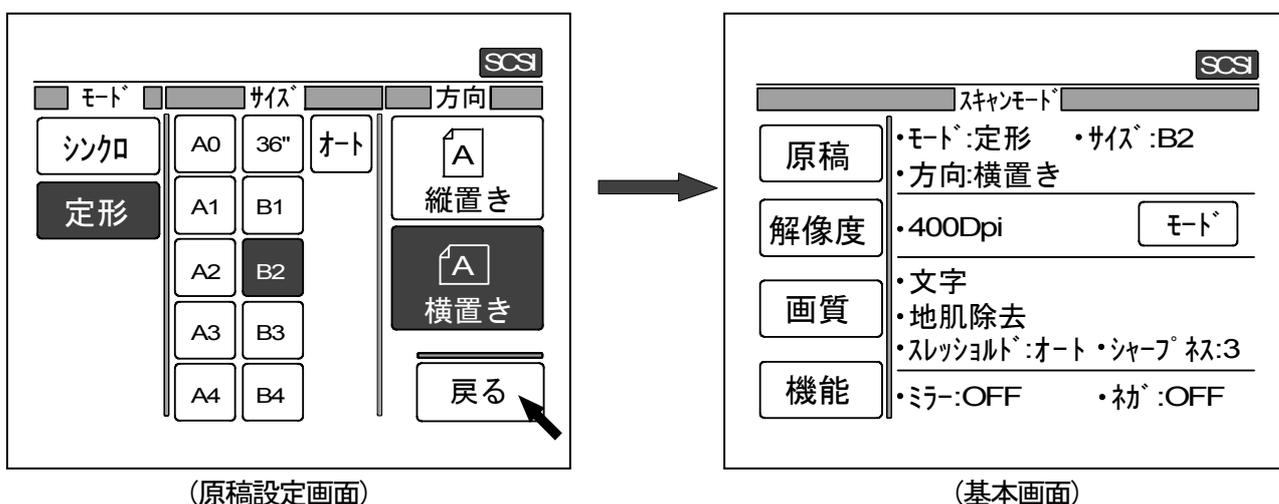
- 3) 「サイズ」部に表示されたボタンの中から1つを押してサイズを選択します。  
 選択されたサイズのボタンが反転表示されます。



- 4) 「モード」で「定形」を選択し、「サイズ」で 36\", A1, A2, A3, A4, B2, B3, B4 を選択した場合、「方向」部が変更可能となります。  
 「縦置き」ボタンか「横置き」ボタンのいずれかを押して選択します。  
 選択された方向が反転表示されます。



- 5) 「戻る」ボタンを押すと「基本画面」に戻ります。  
 「基本画面」には「原稿設定画面」で行った設定の内容が表示されます。

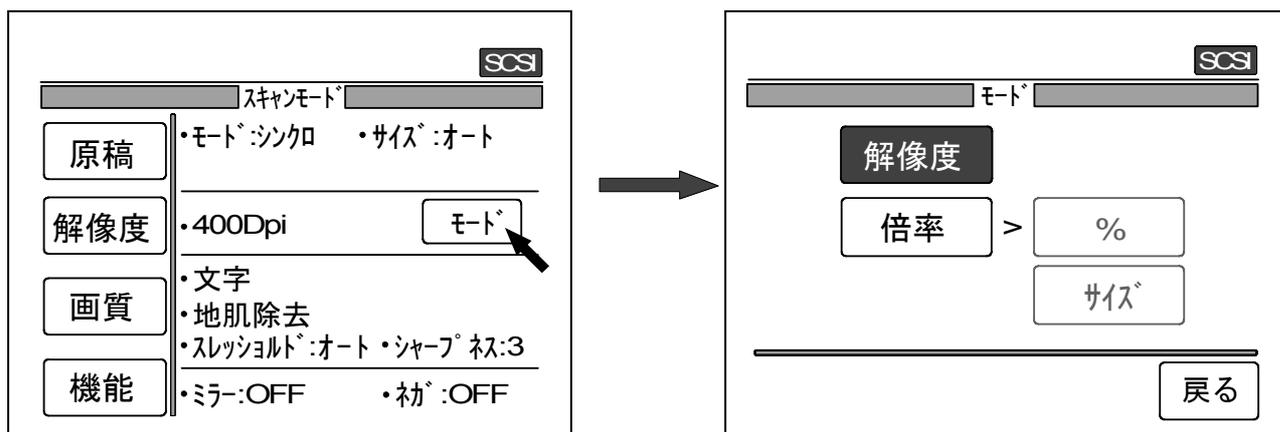


## B. 解像度設定および倍率設定

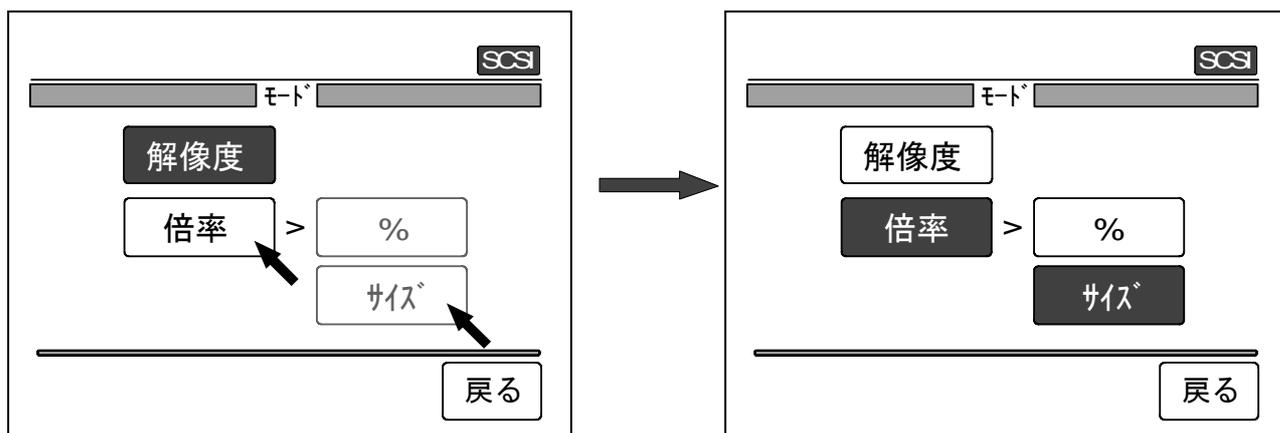
### (1) 「解像度設定画面」と「倍率設定画面」の表示切替

解像度の設定は「解像度設定画面」で、倍率の設定は「倍率設定画面」で行いますが、これらのうち一方を変更すると、もう一方は変更できなくなるので各画面を切り替えて表示するようにしています。「基本画面」上の「モード」ボタンを押すと「モード画面」が表示され「解像度設定画面」と「倍率設定画面」のどちらを表示するかを選択することができます。

1) 「基本画面」上の「モード」ボタンを押して「モード画面」を表示させます。

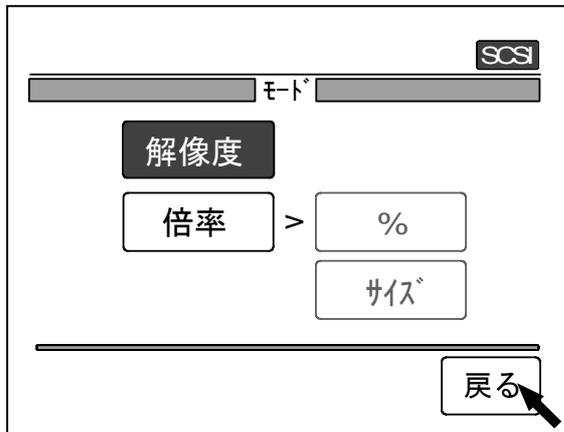


2) 「解像度」ボタンか「倍率」ボタンのいずれか設定の変更を行いたい方を押して選択します。「倍率」を選択した場合にはさらに「%」ボタンか「サイズ」ボタンのいずれか設定の変更を行いたい方を押して選択します。選択されたボタンは反転表示されます。

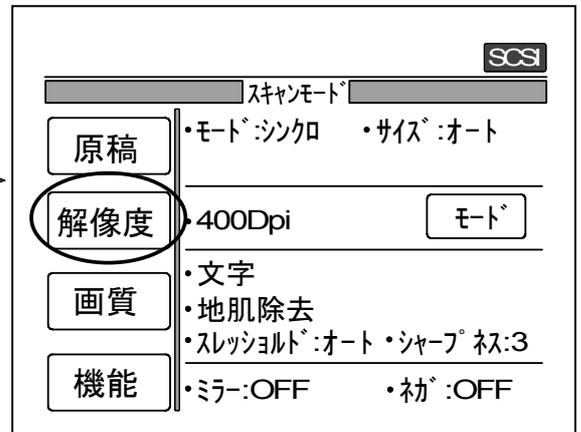


- 3) 「戻る」ボタンを押すと「基本画面」に戻ります。  
「基本画面」の上から2番目のボタンには「モード画面」で行った選択に従って「解像度」または「倍率」のいずれかが表示されます。

(「モード」画面で「解像度」を選択した場合)

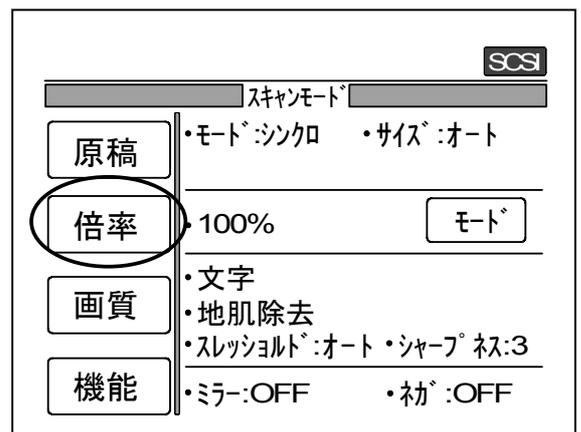
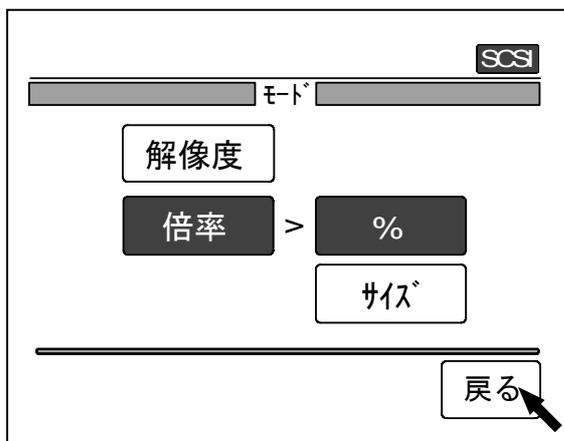


(モード画面)



(基本画面)

(「モード」画面で「倍率」を選択した場合)



(基本画面)

## (2) 解像度設定

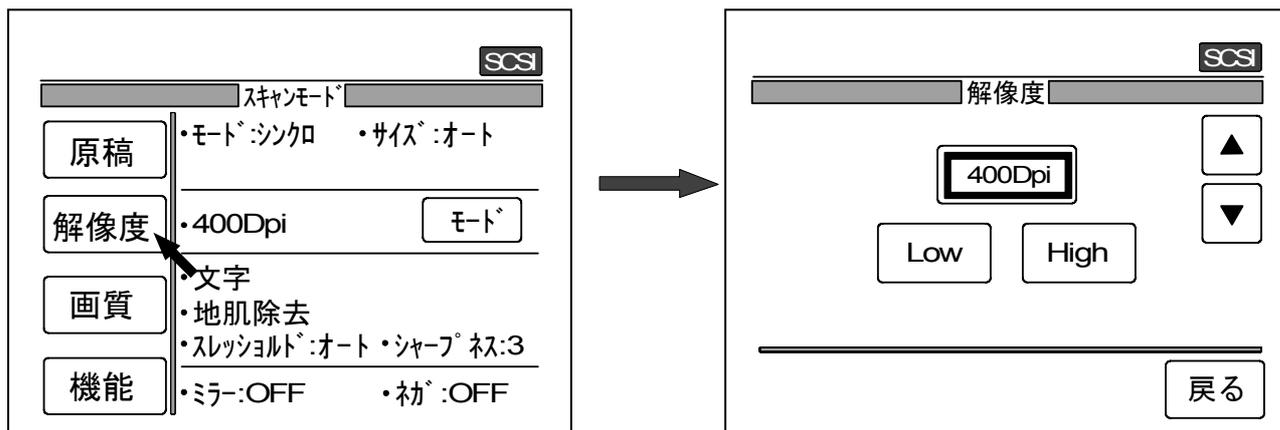
ここでは「解像度設定画面」での操作方法についてのみ説明します。  
解像度の設定の詳細を知りたい場合は 37 ページの **7.3.5 解像度** を参照してください。

- 1) 「基本画面」上の「解像度」ボタンを押して「解像度設定画面」を表示させます。

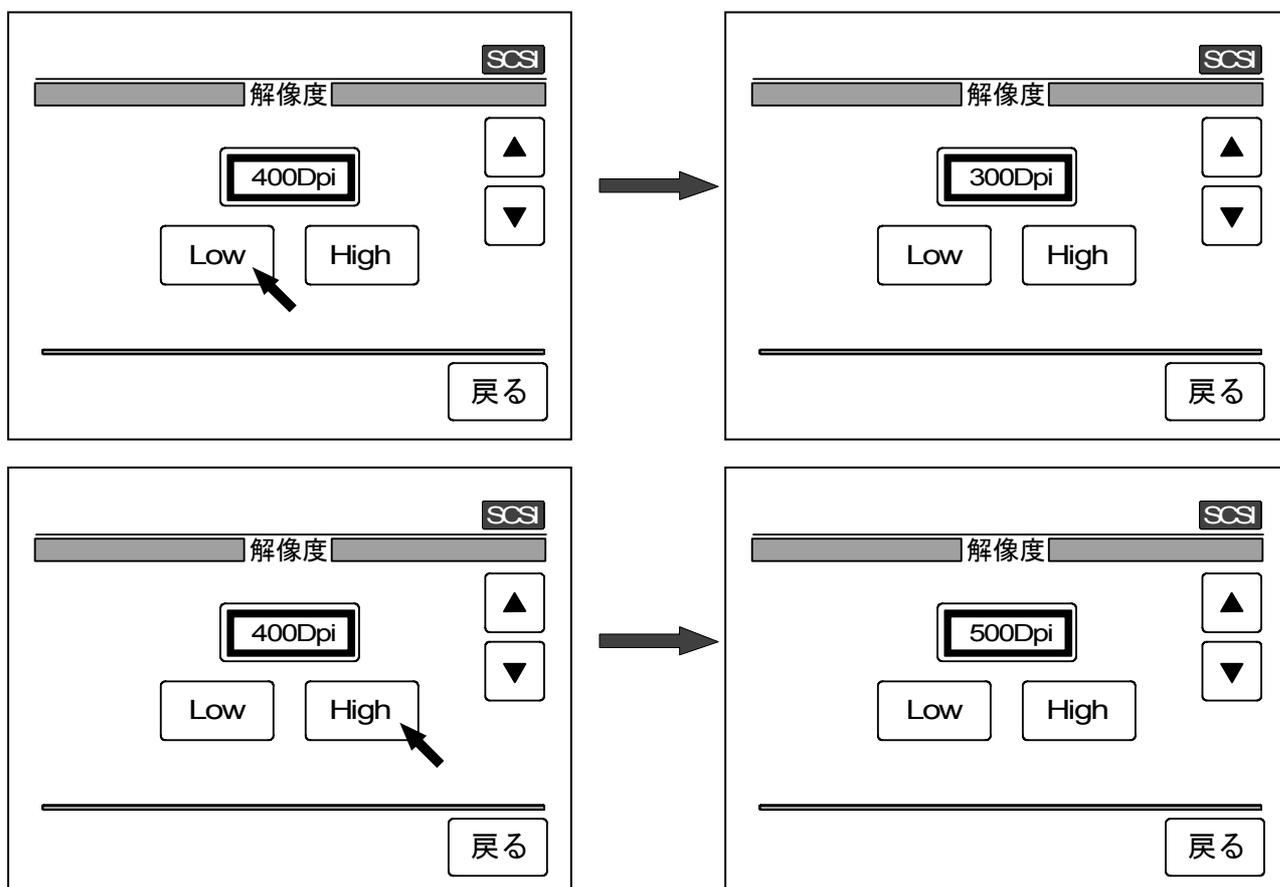
[注意]

「基本画面」の上から 2 番目のボタンに「倍率」と表示されている場合、「モード画面」で「解像度」を選択する必要があります。

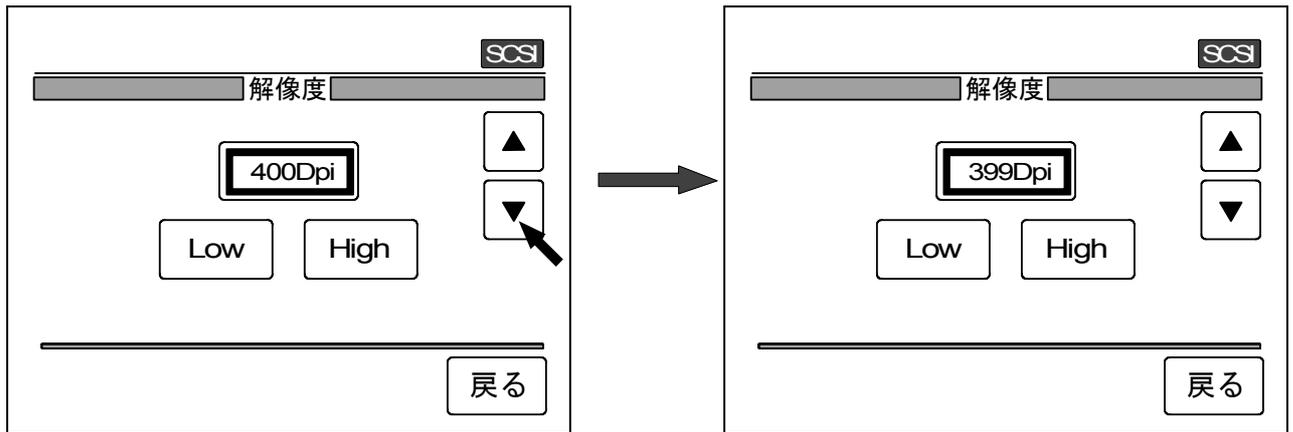
選択方法については 59 ページを参照してください。



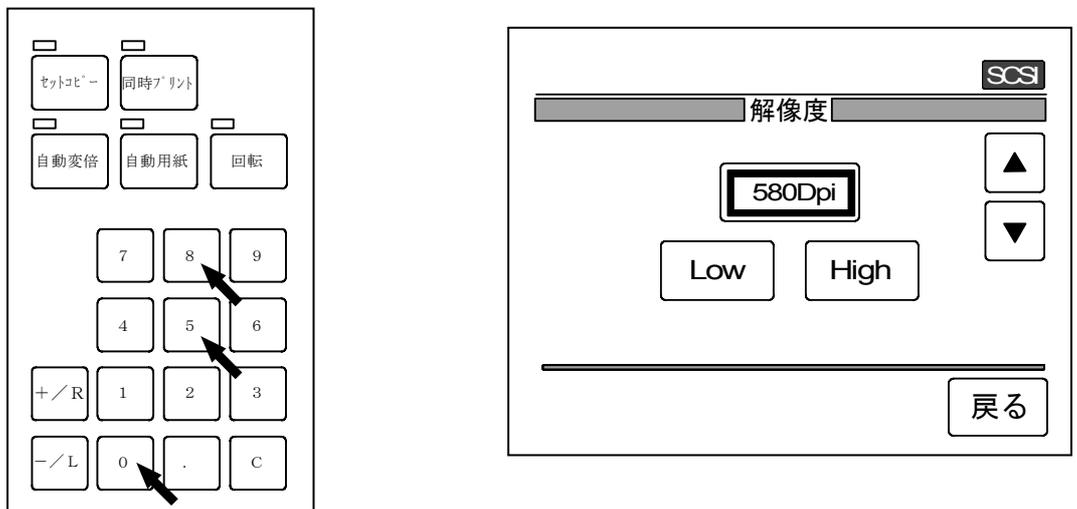
- 2) あらかじめ用意されている解像度を選択する場合は「Low」ボタン及び「High」ボタンを押して選択してください。



3) [▲], [▼]ボタンを押すと表示されている解像度から1dpi づつ変更することができます。

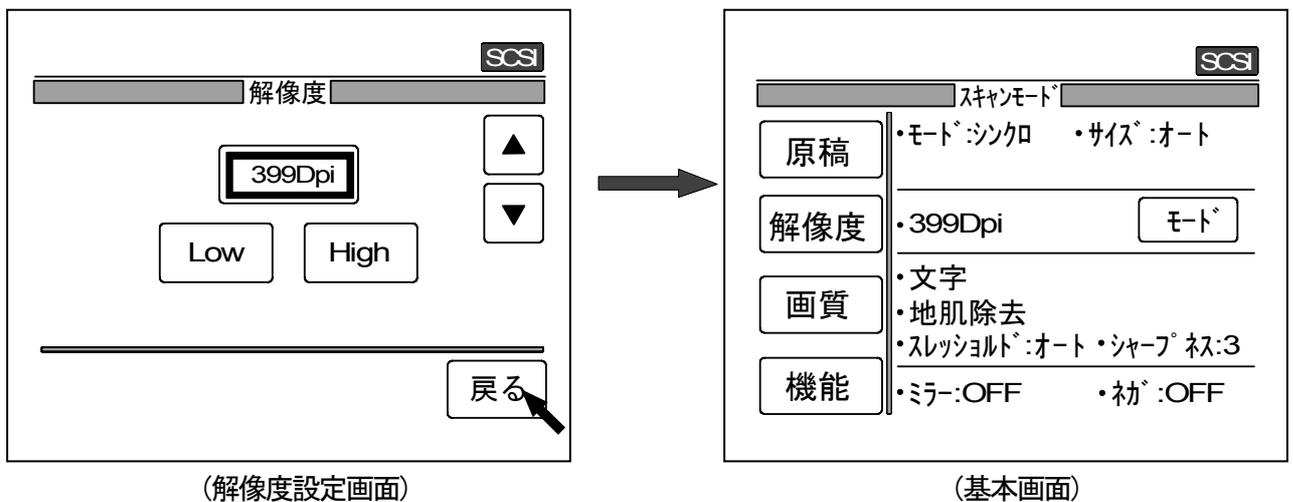


4) またスキャナの操作パネル上のテンキーで直接必要な解像度を入力することもできます。



5) 「戻る」ボタンを押すと「基本画面」に戻ります。

「基本画面」には「解像度設定画面」で選択された解像度が表示されます。



### (3) 倍率設定

ここでは「倍率設定画面」での操作方法についてのみ説明します。  
倍率の設定の詳細を知りたい場合は 35 ページの **7.3.3 倍率設定** を参照してください。

[「倍率設定画面」を表示させる]

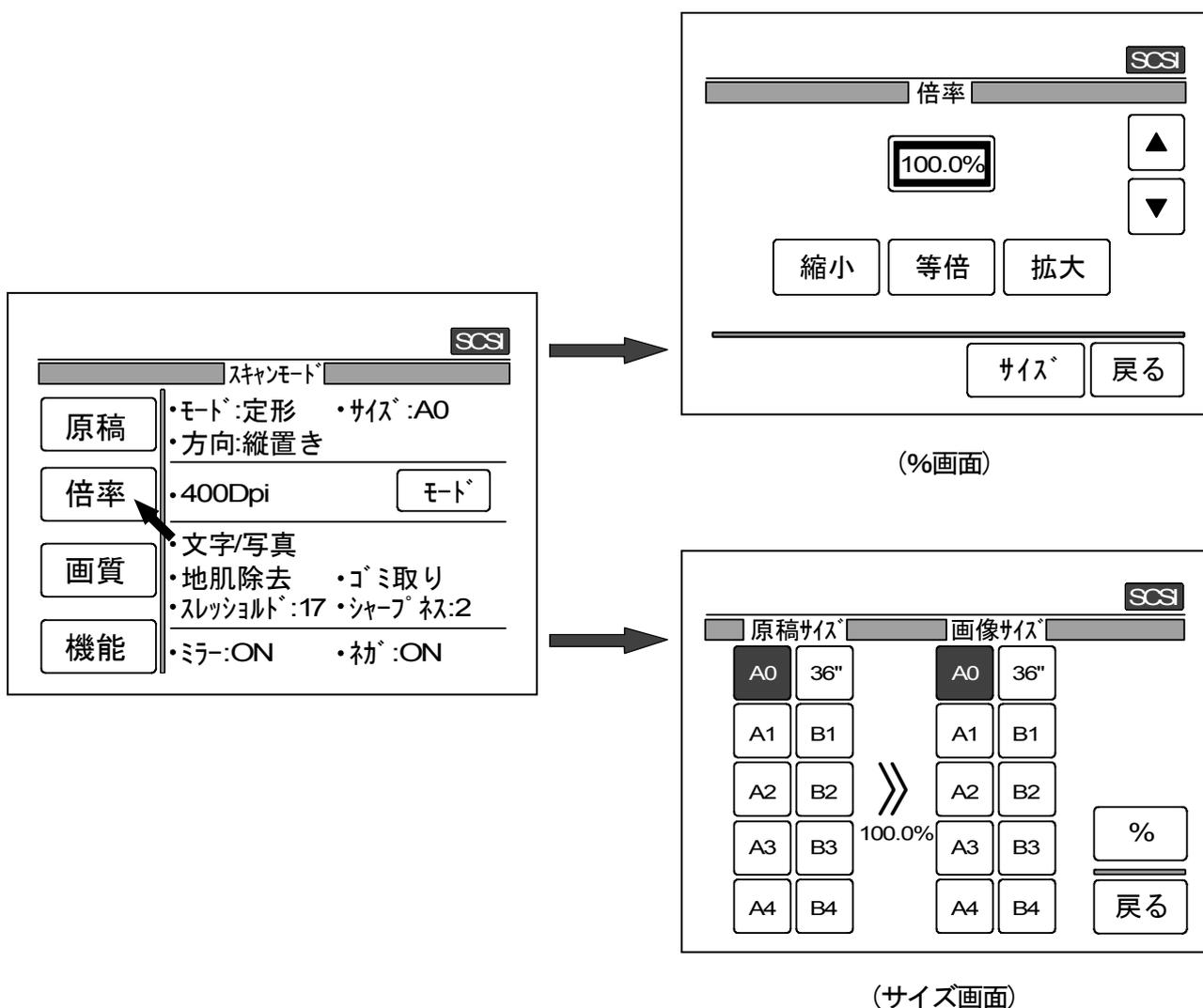
「基本画面」上の「倍率」ボタンを押して、「倍率設定画面」の“%画面”または“サイズ画面”を表示させます。

“%画面”と“サイズ画面”は「モード画面」での選択に従ってどちらかが表示されます。

[注意]

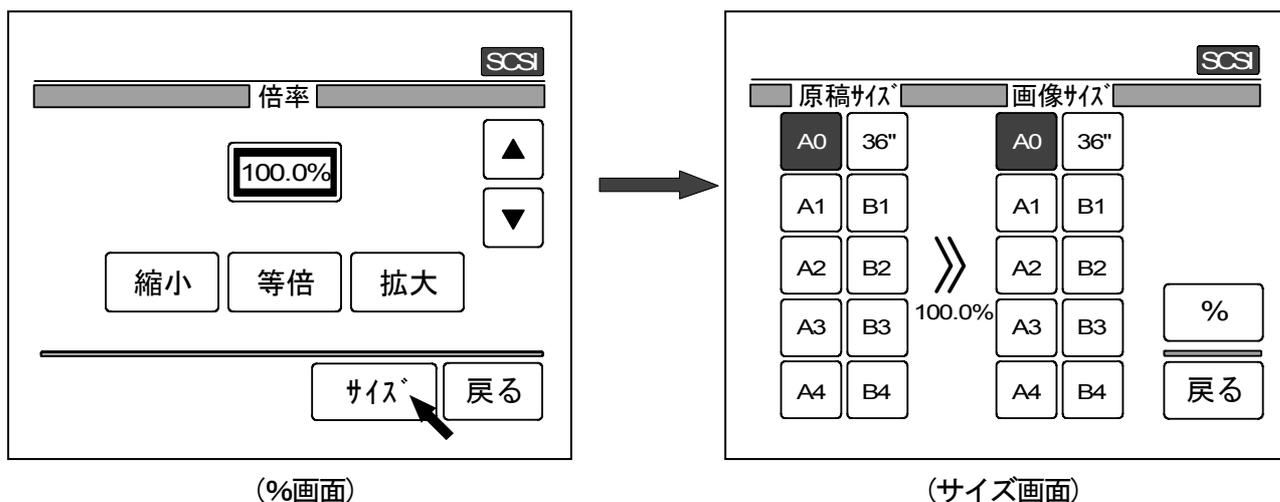
「基本画面」の上から 2 番目のボタンに「解像度」と表示されている場合「モード画面」で「倍率」を選択する必要が有ります。

選択方法については 59 ページ を参照してください。

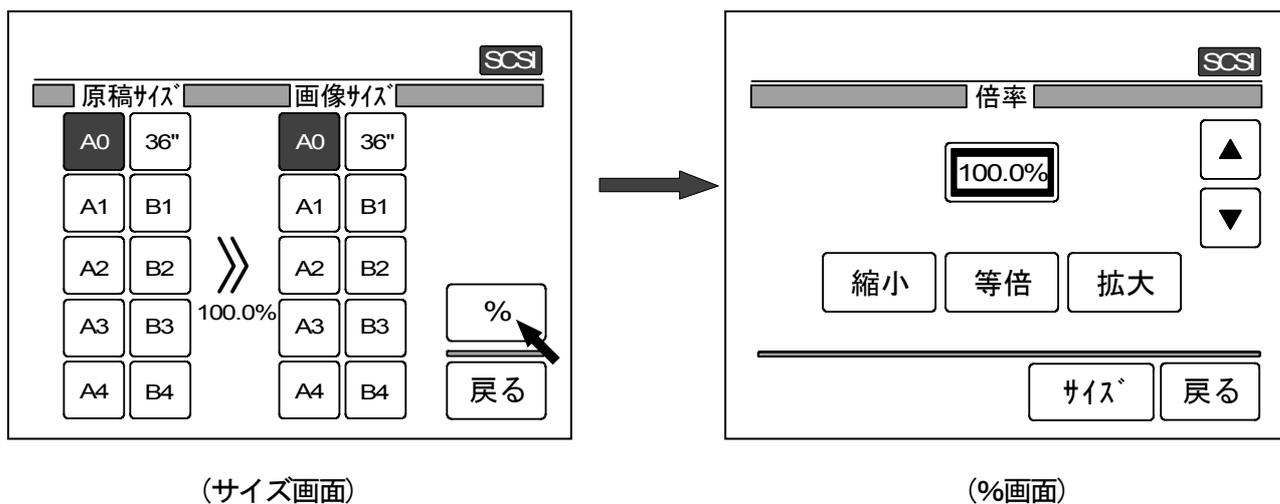


[ “%画面” と “サイズ画面” の表示切替 ]

“%画面” 上の「サイズ」ボタンを押すと “サイズ画面” が表示されます。

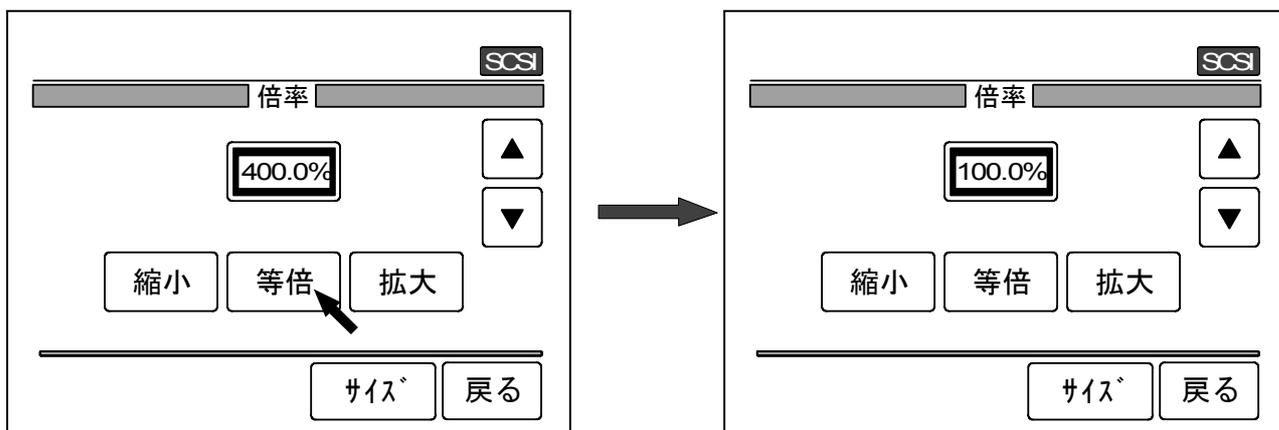


“サイズ画面” 上の「%」ボタンを押すと “%画面” が表示されます。



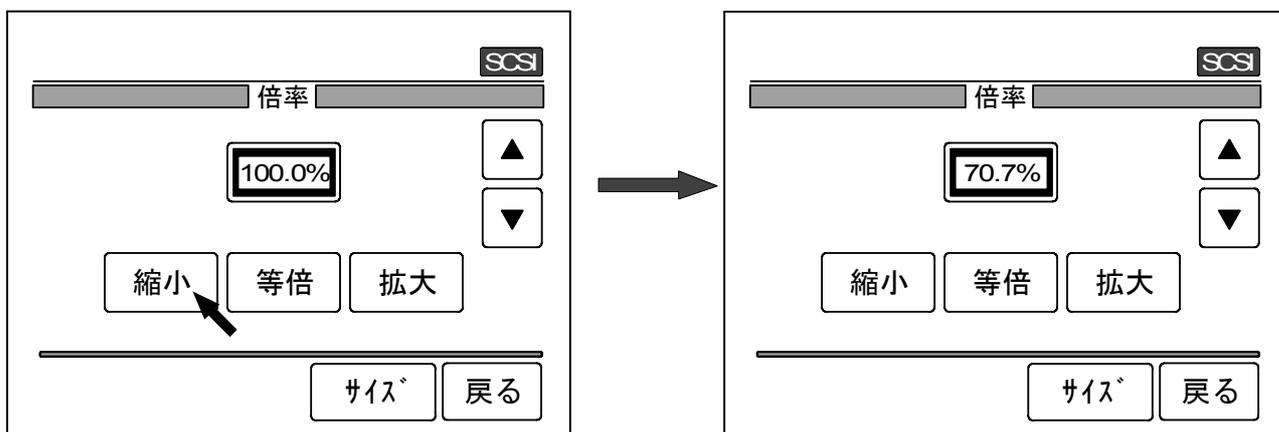
[ "%画面" での操作方法]

1) 「等倍」 ボタンを押すと倍率は100%になります。



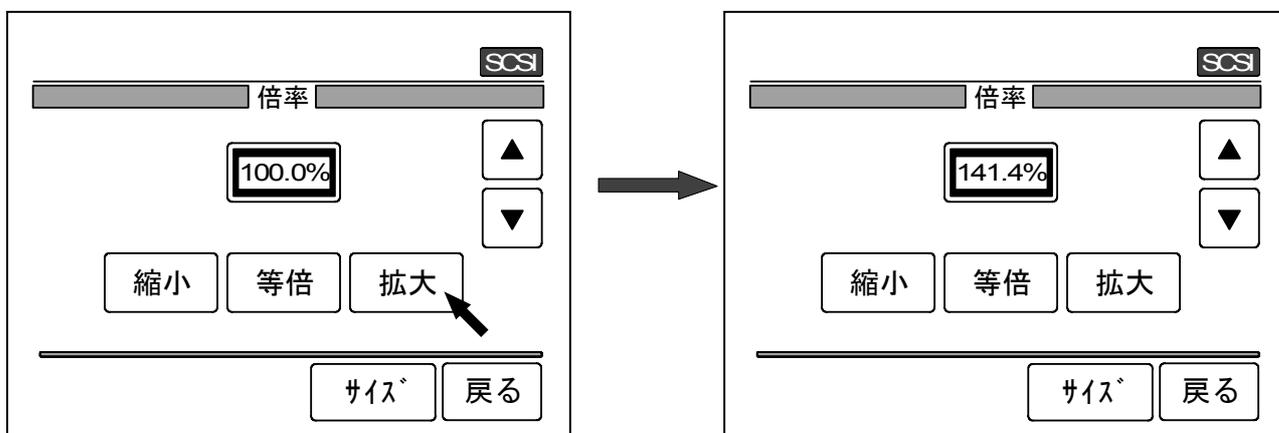
2) 「縮小」 ボタンを押すと下記の縮小倍率を順番に選択できます。

70.7%→50.0%→35.3%→25.0%→70.7%→.....

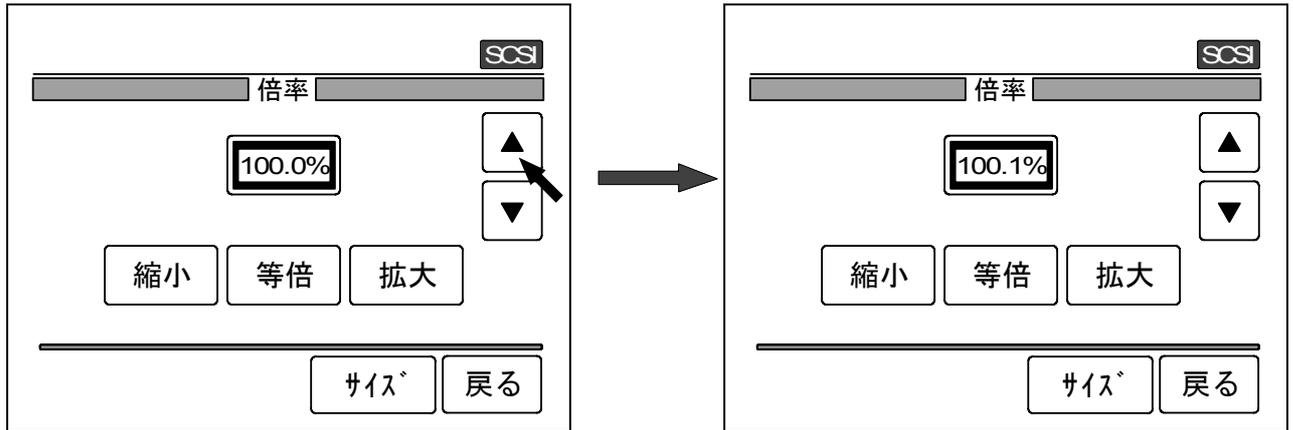


3) 「拡大」 ボタンを押すと下記の拡大倍率を順番に選択できます。

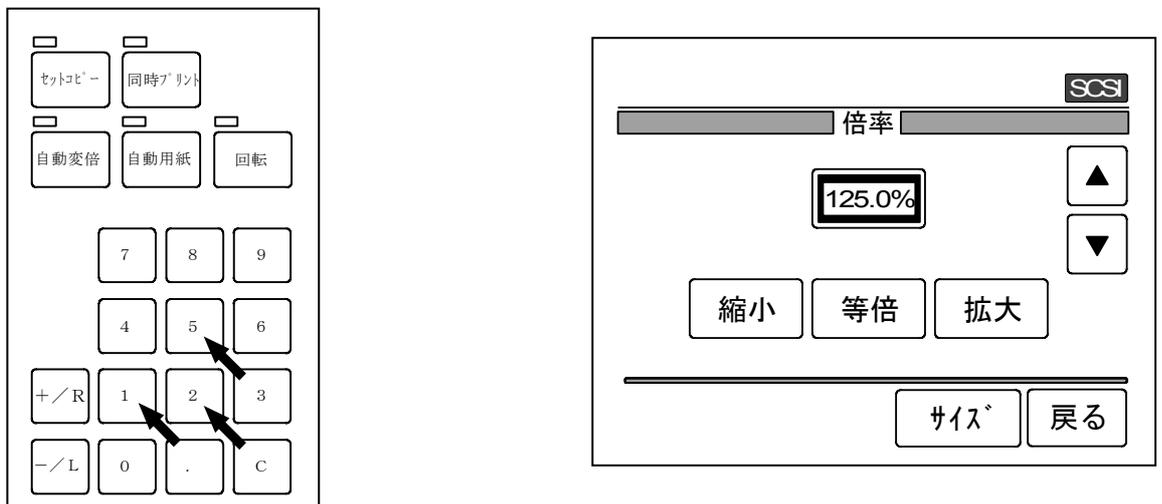
141.4%→200.0%→282.8%→400.0%→141.4%→.....



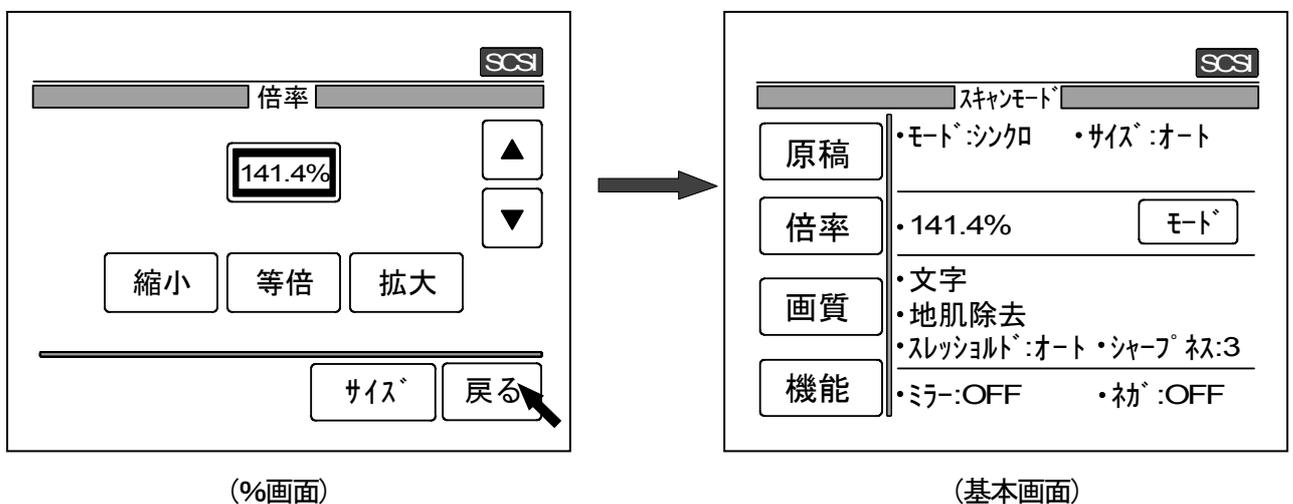
4) [▲], [▼]ボタンを押すと表示されている倍率を0.1%単位で増減することができます。



5) また操作パネル上のテンキーで必要な倍率を直接入力することもできます。  
ただし小数点以下の値は入力できません。



6) 「戻る」ボタンを押すと「基本画面」に戻ります。  
「基本画面」には“%画面”で選択された倍率が表示されます。



(%画面)

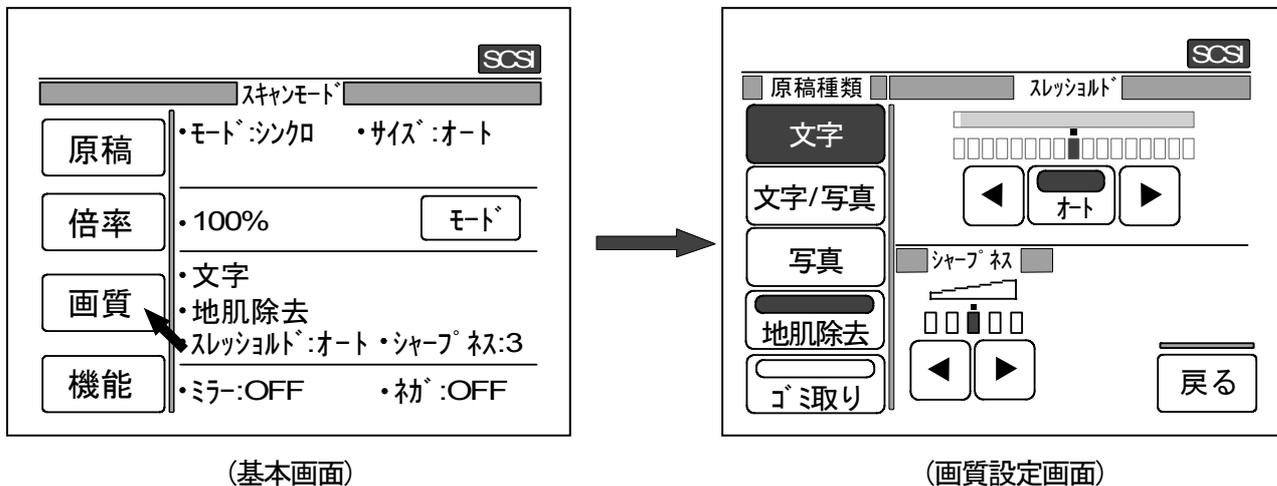
(基本画面)



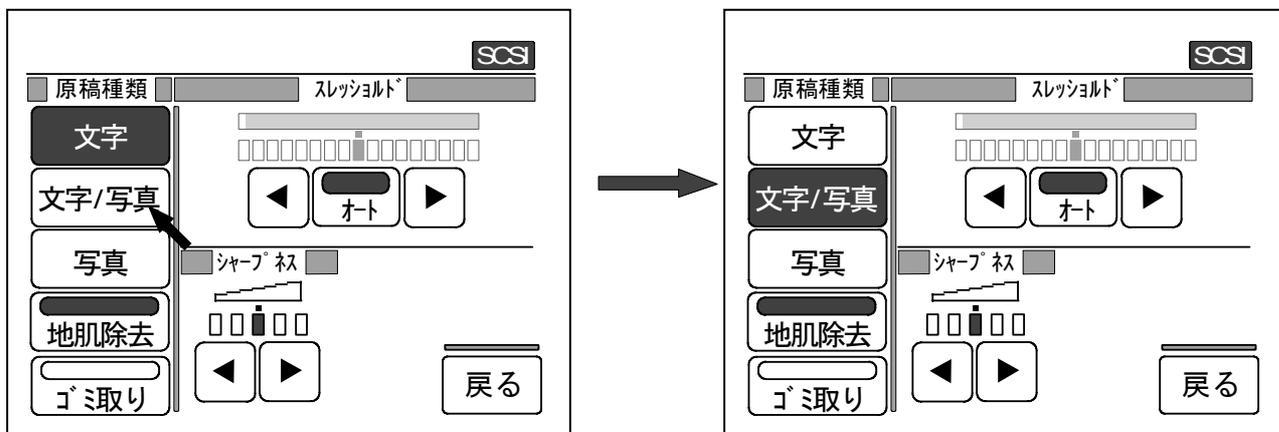
## C. 画質設定

ここでは「画質設定画面」での操作方法についてのみ説明します。  
画質の設定の詳細を知りたい場合は 42 ページ 7.3.7 画質 を参照してください。

- 1) 「基本画面」上の「画質」ボタンを押して「画質設定画面」を表示させます。

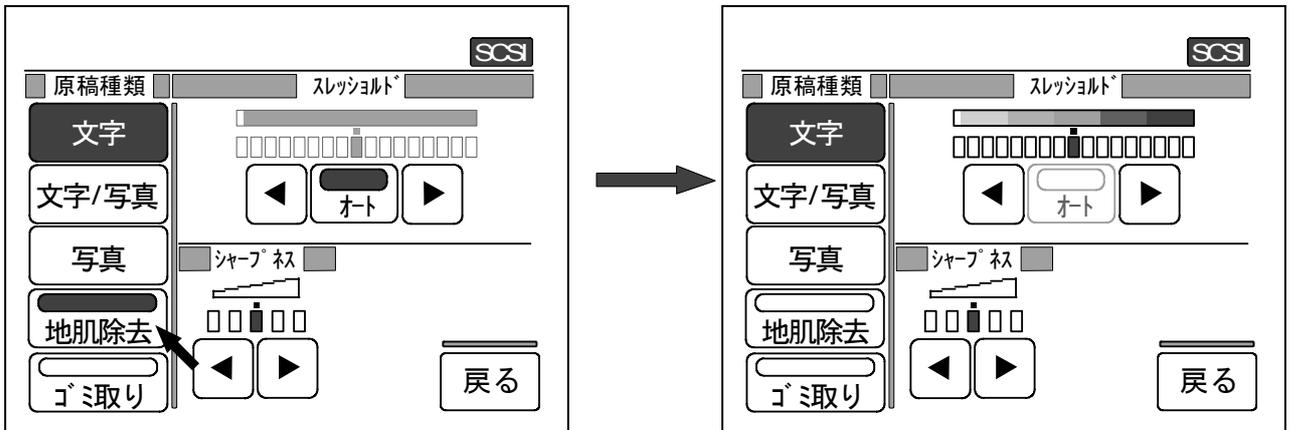


- 2) 「文字」、「文字/写真」、「写真」の各ボタンの中から1つを押して原稿の種類を指定します。  
指定されたボタンが反転表示されます。

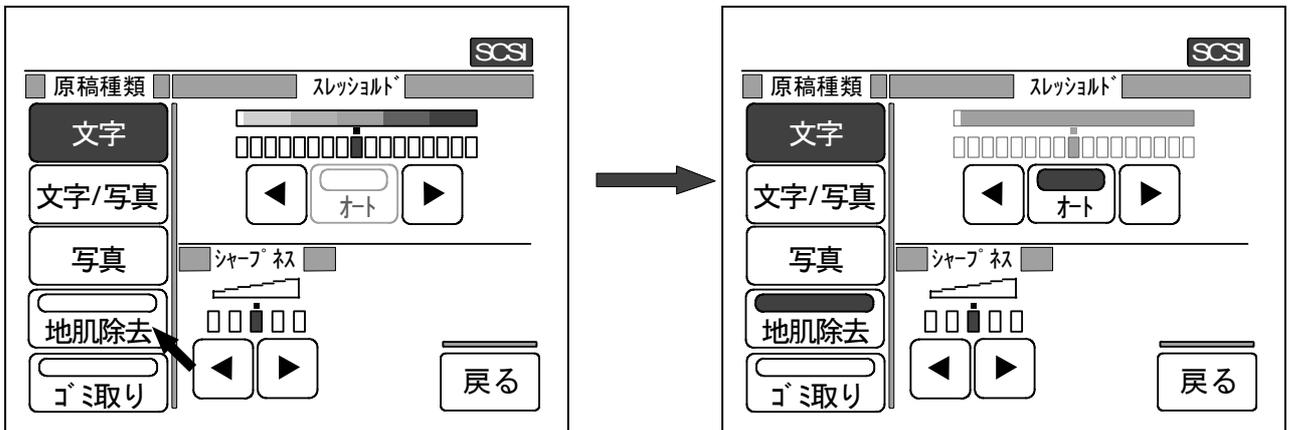


- 3) 「地肌除去」ボタンを押すと、ボタン表示が消灯して地肌除去機能が解除されます。  
 もう一度「地肌除去」ボタンを押すとボタン表示が点灯して地肌除去機能がはたらきます。

(地肌除去機能を解除)

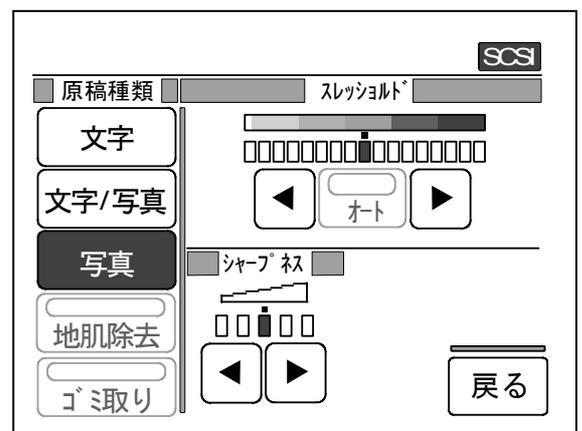


(地肌除去機能がはたらく)



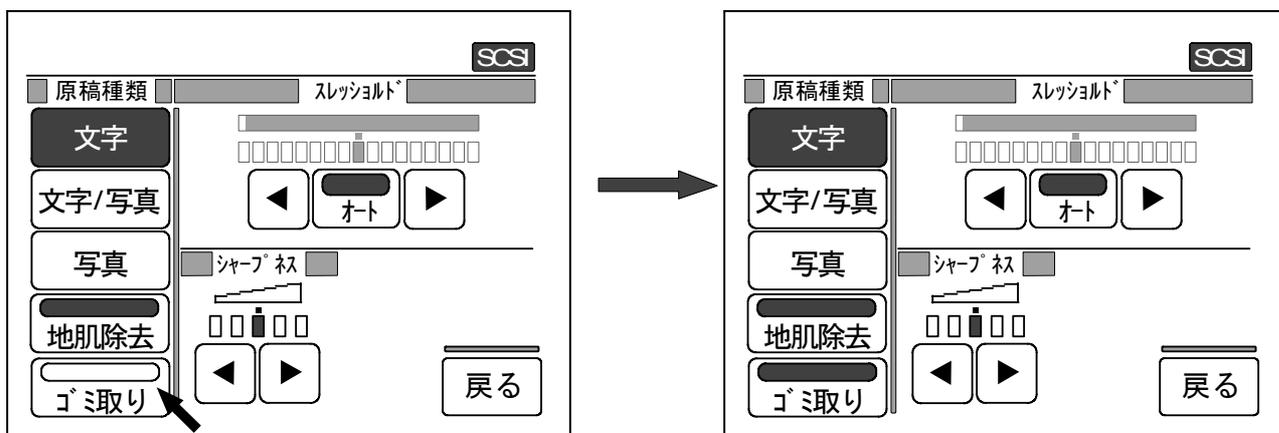
[注意]

原稿種類で「写真」を選択した場合は  
 「地肌除去」ボタンは変更不能となり  
 地肌除去機能ははたらきません。

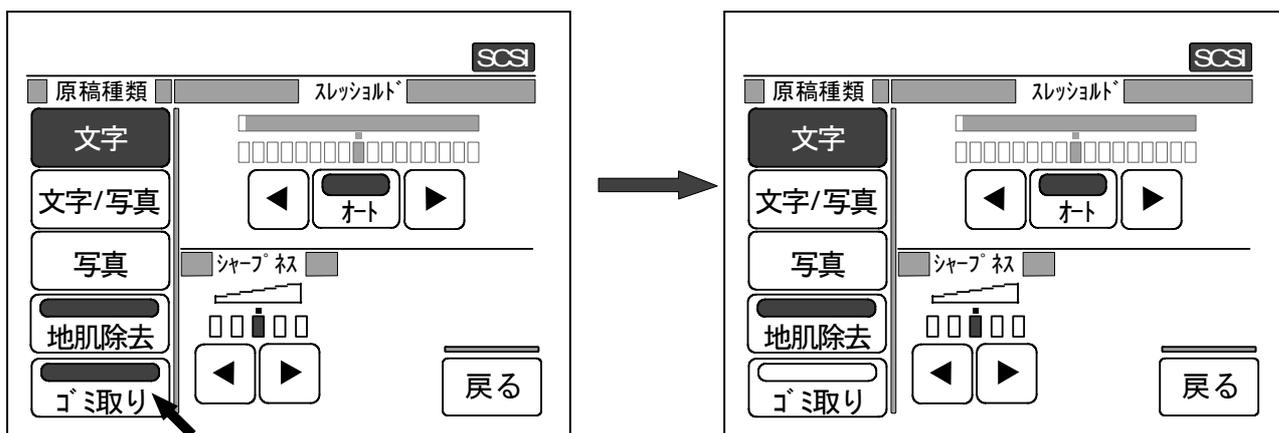


- 4) 「ゴミ取り」ボタンを押すとボタン表示が点灯してゴミ取り機能がはたらきます。  
 もう一度「ゴミ取り」ボタンを押すとボタン表示が消灯してゴミ取り機能は解除されます。

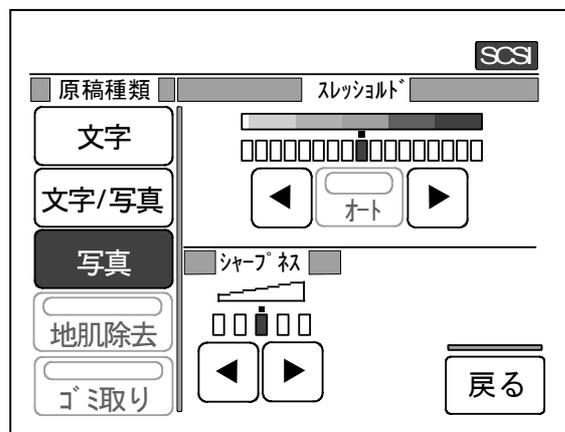
(ゴミ取り機能がはたらく)



(ゴミ取り機能を解除)

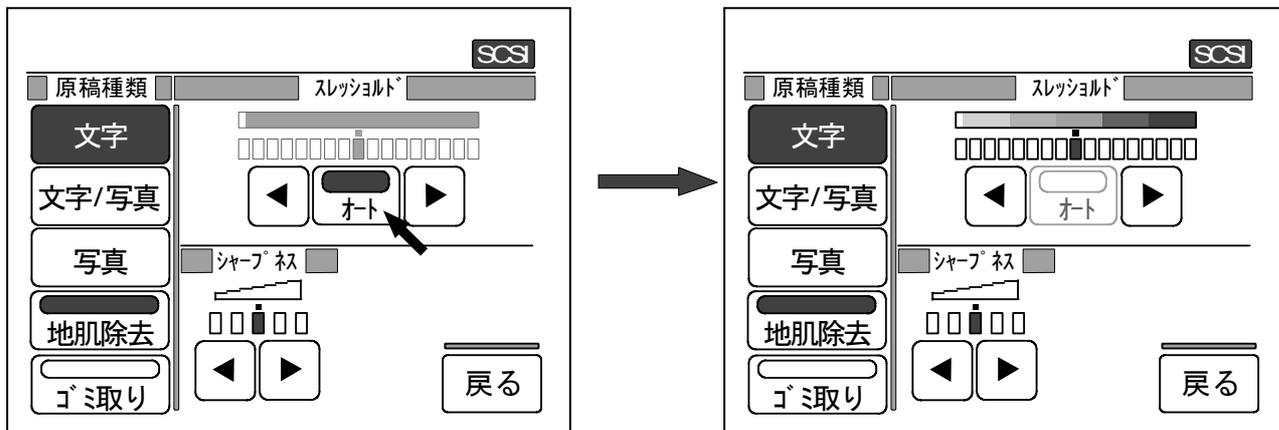


**[注意]**  
 原稿種類で「写真」を選択した場合は  
 「ゴミ取り」ボタンは変更不能となり  
 ゴミ取り機能ははたらきません。

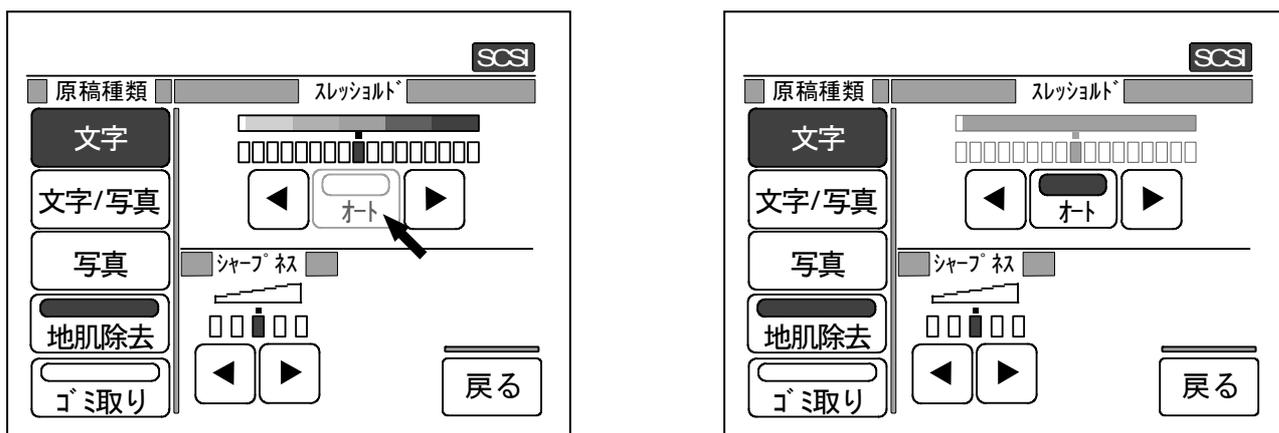


- 5) 「スレッシュヨルト」部の「オート」ボタンを押すとボタン表示が消灯してスレッシュヨルトの自動選択機能が解除されます。  
 もう一度「オート」ボタンを押すとボタン表示が点灯し、スレッシュヨルトの自動選択機能がはたらきます。

(自動選択機能を解除)

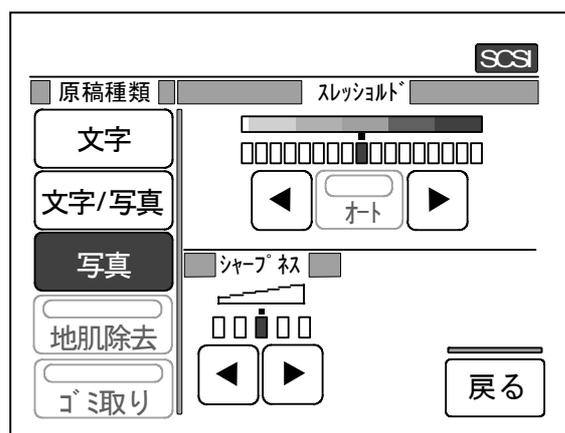


(自動選択機能がはたらく)

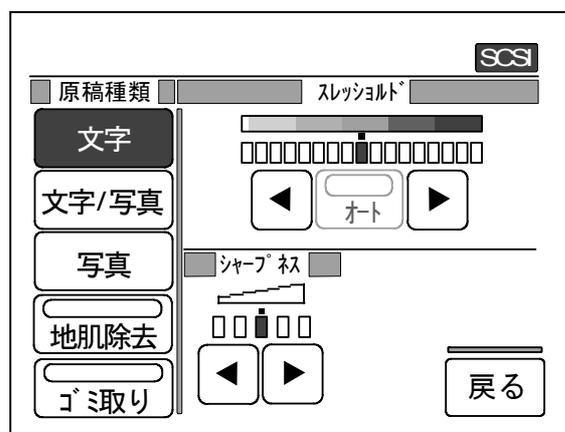


[注意]

1. 原稿種類で「写真」を選択した場合は「オート」ボタンは変更不能となりスレッシュホルドの自動選択機能は働きません。

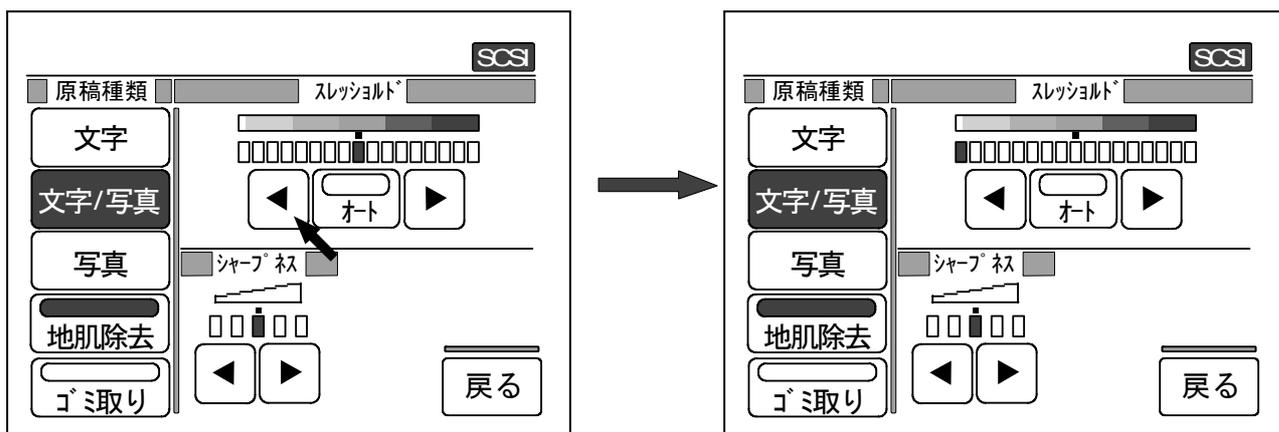


2. 地肌除去機能を解除した時も「オート」ボタンは変更不能となりスレッシュホルドの自動選択機能は働きません。

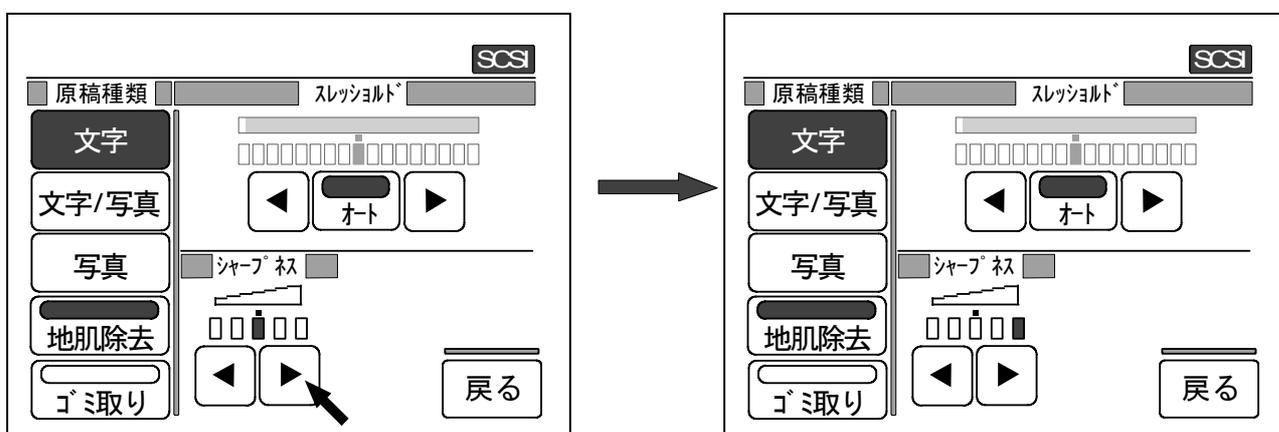


上記のいずれかの場合も次ページに記載した方法でスレッシュホルドを手動選択する必要があります。

「オート」ボタンが消灯、または点灯しているにかかわらず、[▲][▼]ボタンを押して必要なスレッシュホールドを手動選択することができます。

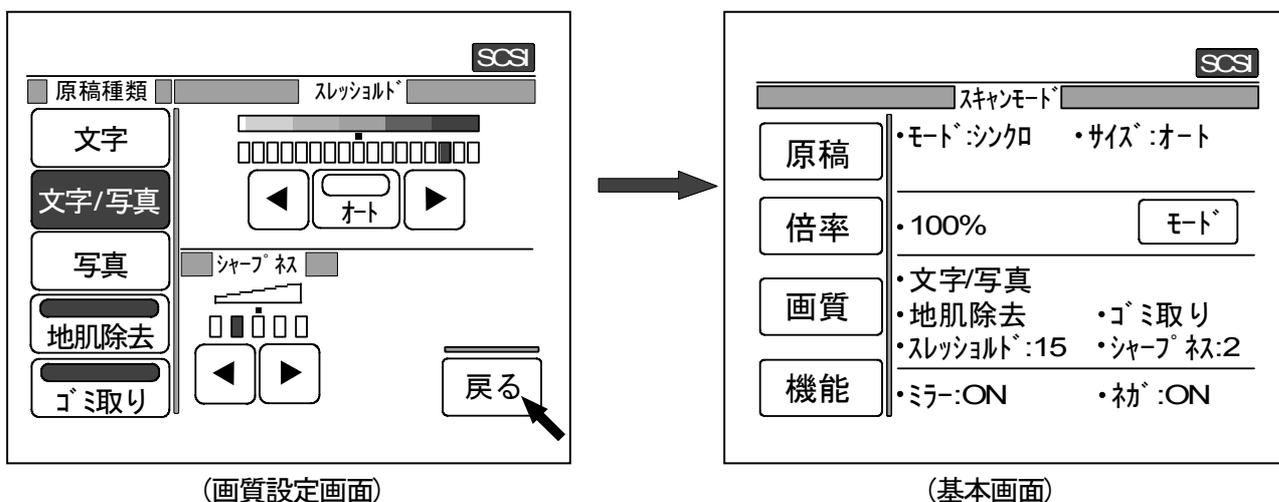


6) 「シャープネス」部の[▲][▼]ボタンを押すとシャープネスレベルを変更することができます。



7) 「戻る」ボタンを押すと「基本画面」に戻ります。

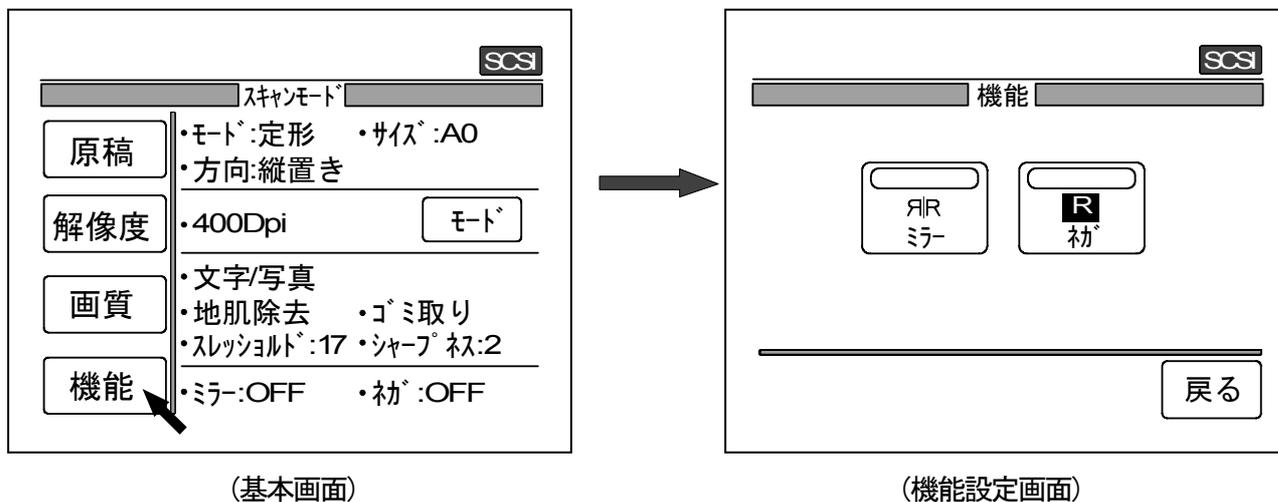
「基本画面」には「画質設定画面」で行った設定の内容が表示されます。



## D. 機能設定

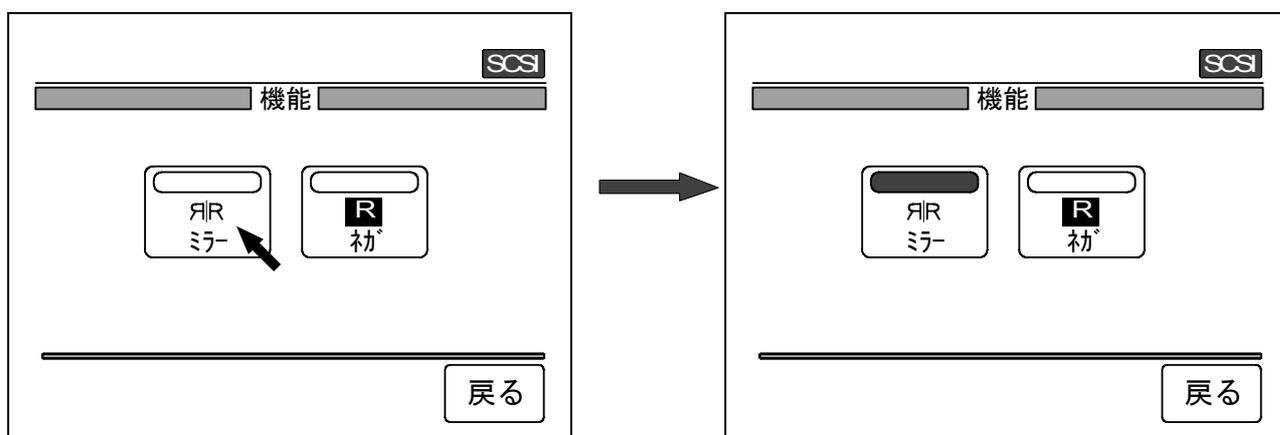
ここでは「機能設定画面」での操作方法についてのみ説明します。  
機能の設定の詳細を知りたい場合は 50 ページの 7.3.8 機能 を参照してください。

- 1) 「基本画面」上の「機能」ボタンを押して「機能設定画面」を表示させます。

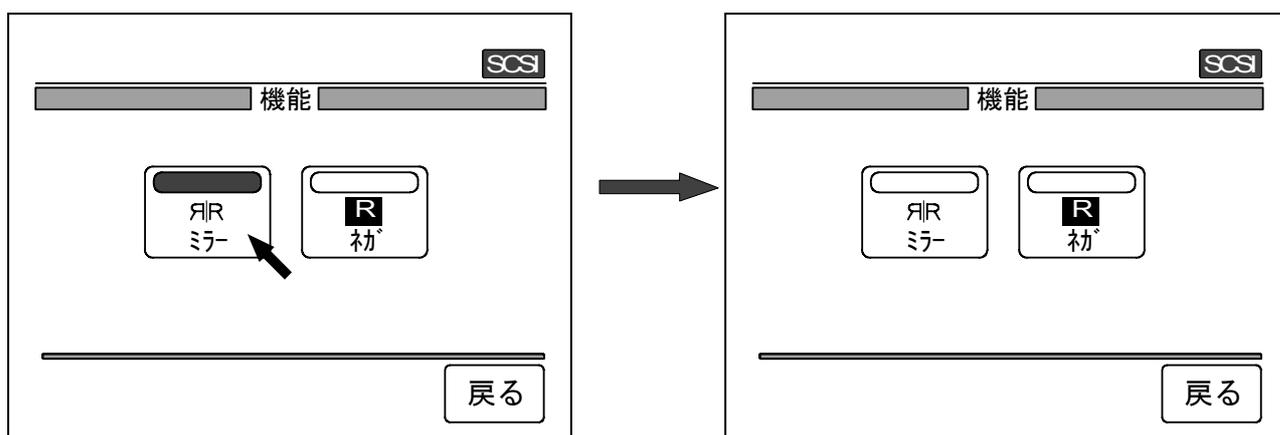


- 2) 「ミラー」 ボタンを押すとボタン表示が点灯してミラー機能がはたらきます。  
もう一度「ミラー」 ボタンを押すとボタン表示が消灯してミラー機能が解除されます。

(ミラー機能がはたらく)

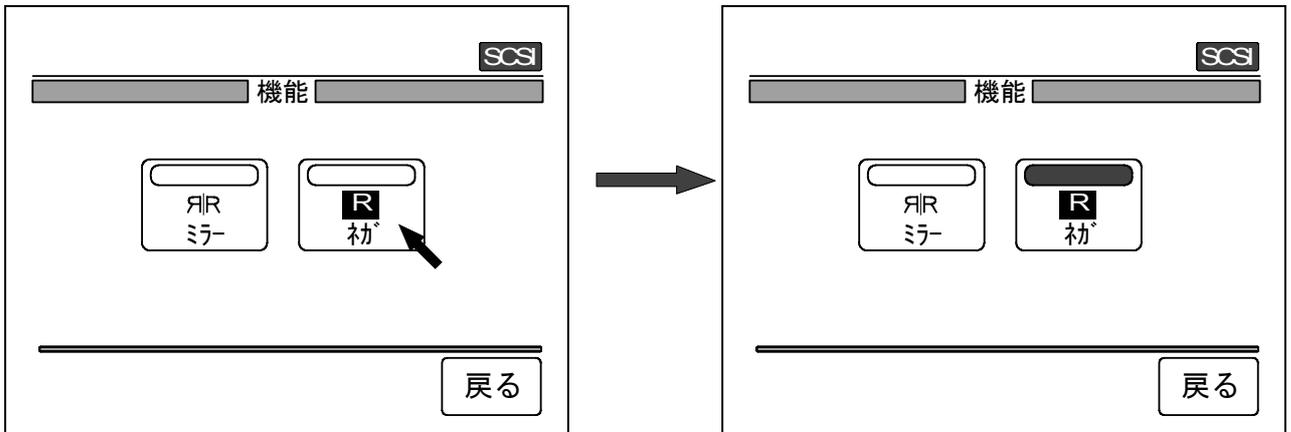


(ミラー機能を解除)

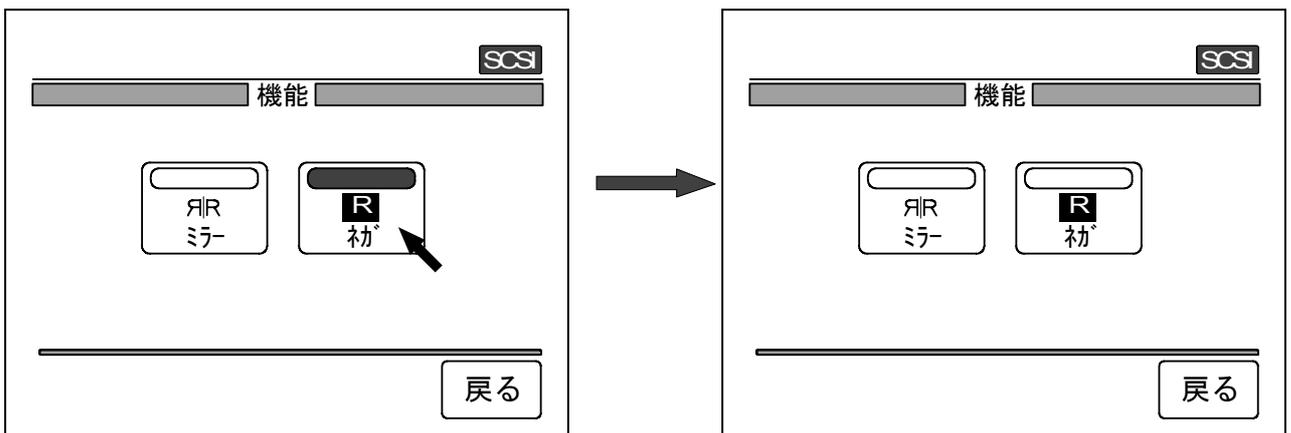


- 3) 「ネガ」ボタンを押すとボタン表示が点灯して白黒反転機能がはたらきます。  
 もう一度「ネガ」ボタンを押すとボタン表示が消灯して白黒反転機能が解除されます。

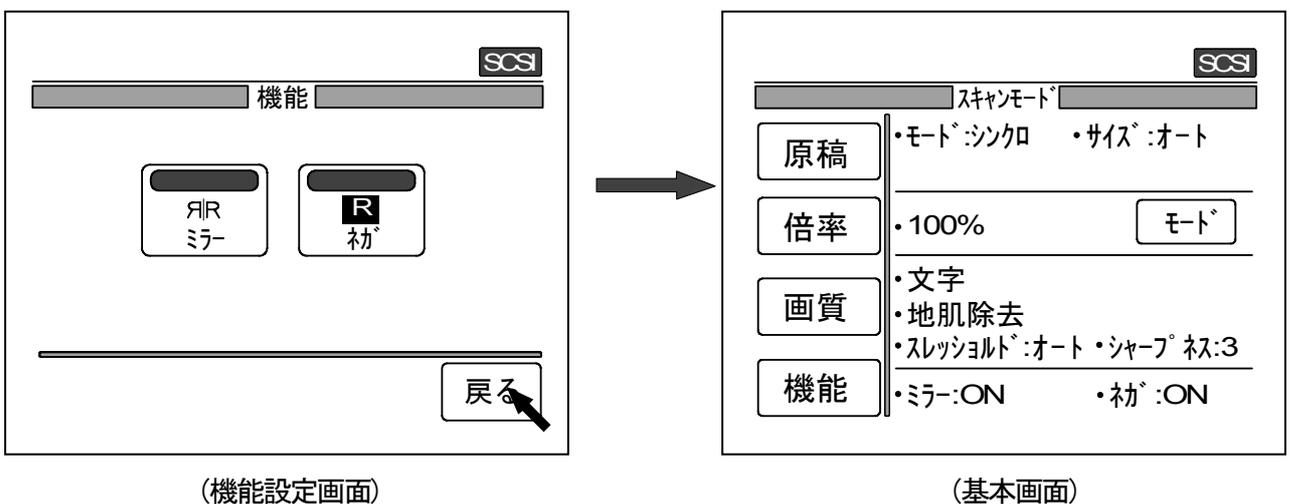
(白黒反転機能がはたらく)



(白黒反転機能が解除)



- 4) 「戻る」ボタンを押すと「基本画面」に戻ります。  
 「基本画面」には「機能設定画面」で行った設定の内容が表示されます。



(機能設定画面)

(基本画面)

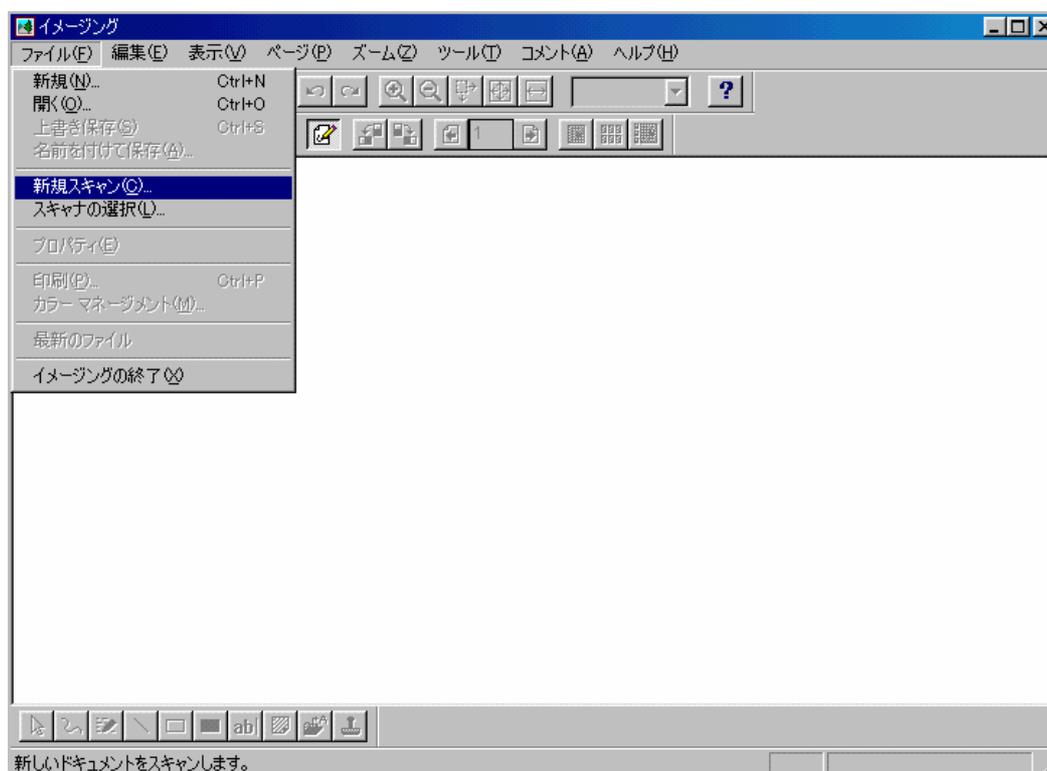
## 7.4.4 一般の汎用スキャンアプリケーションの場合

汎用アプリケーションの場合は、最初に「TWAIN」ダイアログと呼ばれる画面をコンピュータ側で表示させる必要があります。

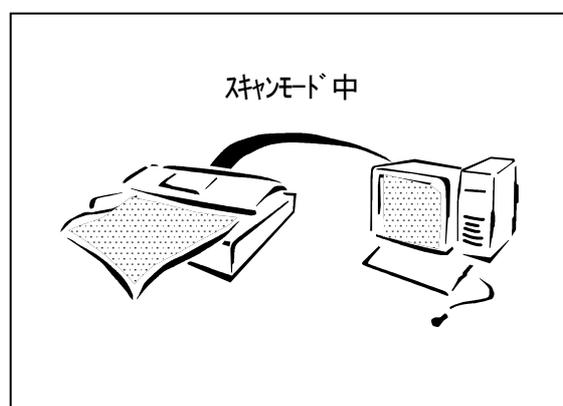
「TWAIN」ダイアログを表示させる方法は使用するアプリケーションによって異なりますので、ご使用のアプリケーションに付属している取扱説明書を参照してください。

ここでは例として、イメージングというアプリケーションを使用して「TWAIN」ダイアログを表示させ、それからスキャナパネルを表示させる方法を紹介します。

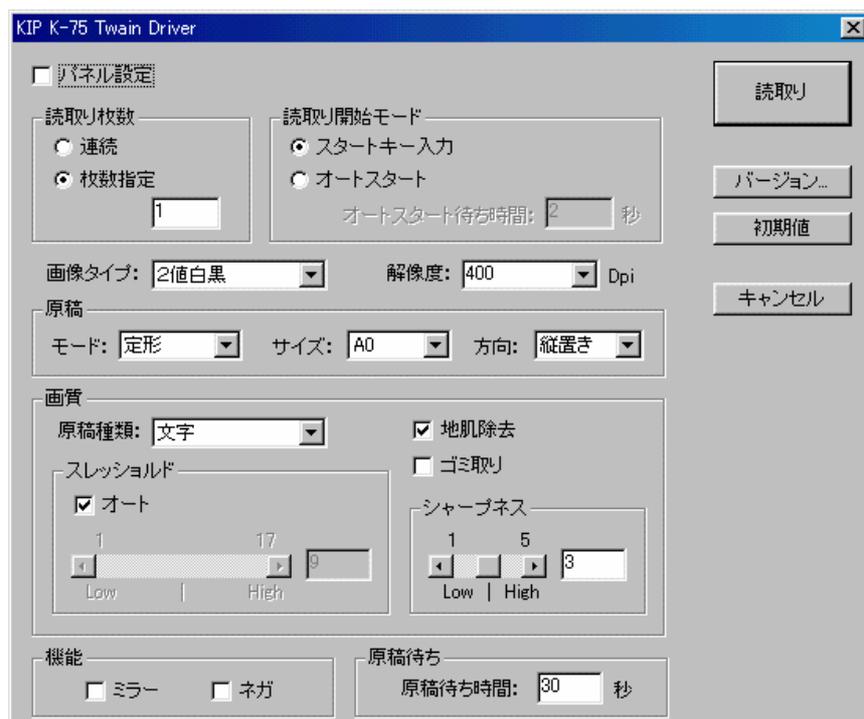
- 1) イメージングを起動し、メニューバーの「ファイル」から「新規スキャン」をクリックします。



「新規スキャン」をクリックするとスキャナの液晶表示部は下図のようになります。



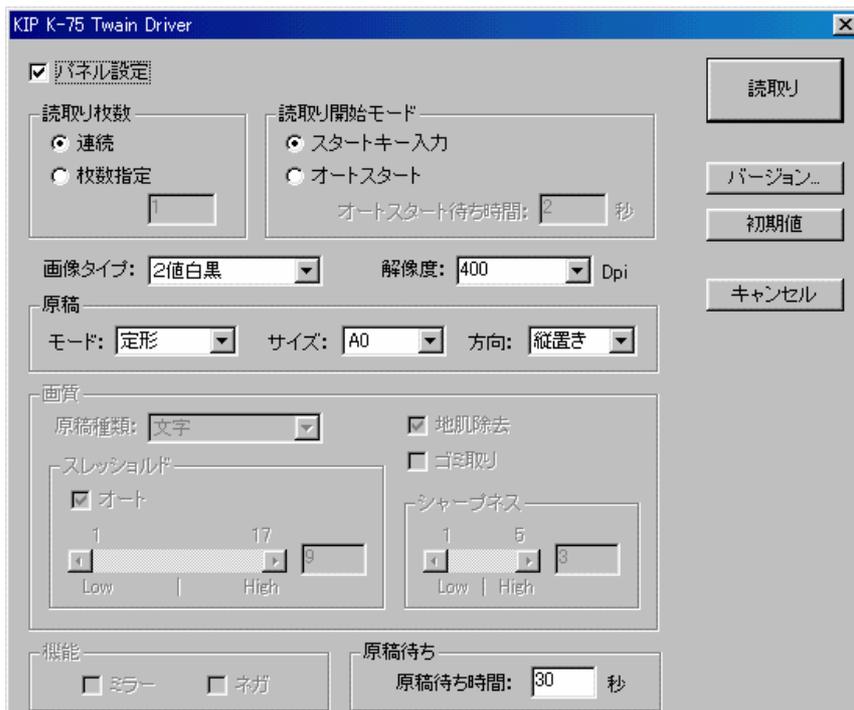
2) 下記の「TWAIN」ダイアログが表示されます。



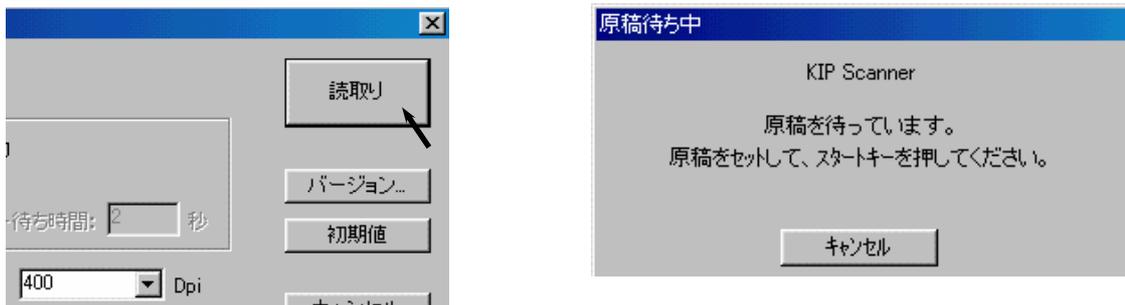
3) 左上の「パネル設定」をチェックします。  
チェックをするとダイアログ中の「画質」と「機能」が灰色表示になって変更できない状態になります。

[参考]

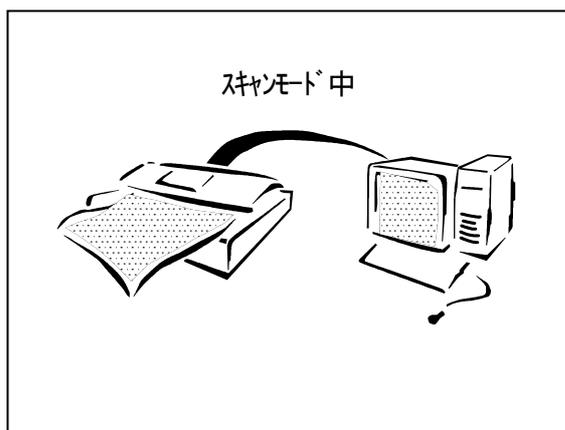
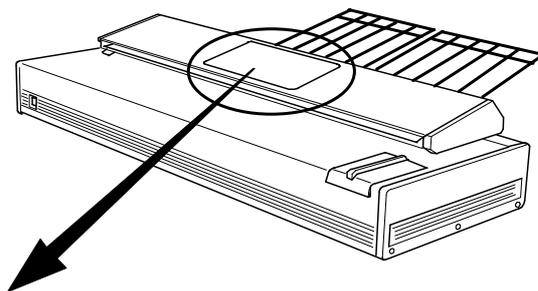
「パネル設定」をチェックすると「読み取り枚数」の「連続」が自動的に選択されます。  
「連続」が選択されている時は「読み取り」をクリックしなくても次々に原稿をスキャンすることができます。



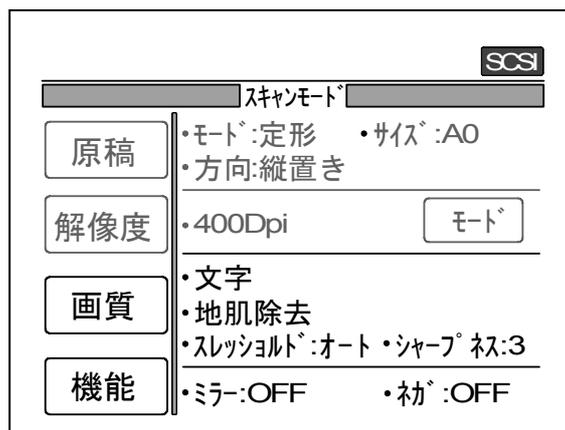
- 4) 右上の「読み取り」ボタンをクリックすると、原稿待機状態になり、「原稿待ち中」ダイアログが表示されます。



- 5) 上記の「原稿待ち中」ダイアログが表示されている間、スキャナ側の液晶表示部にはスキャナパネルが表示されています。ただし「原稿」と「解像度」は灰色表示されて選択できないので、これらを変更したい時は、「Twain」ダイアログ上で行ってください。



(「読み取り」ボタンをクリックする前)



(「読み取り」ボタンをクリックした後)

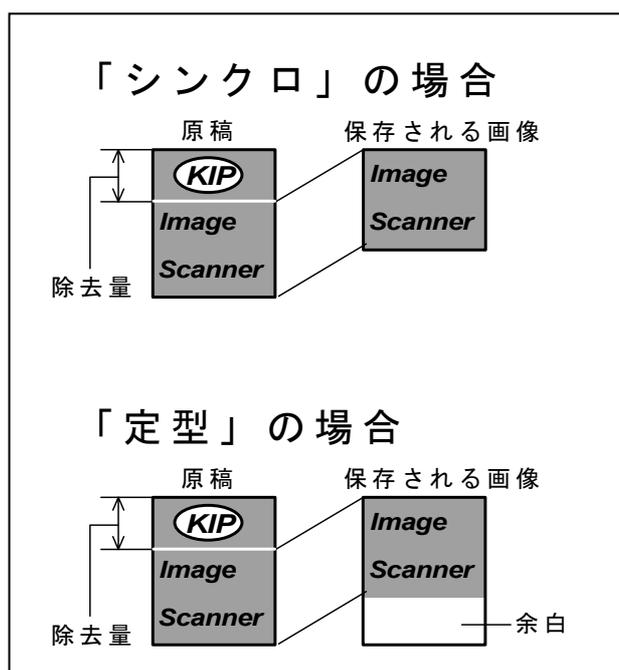
## 7.5 エッジ除去機能

エッジ除去機能を使用すると、スキャン原稿を読み込む際に原稿の先端・後端からそれぞれ最大300mmの範囲を除去し、ファイルに保存します。

### [参考]

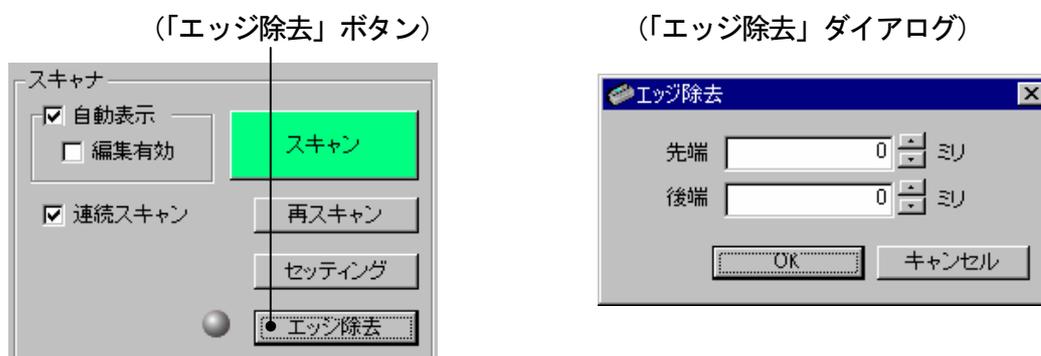
「原稿」の「モード」で「シンクロ」を選択した場合は、エッジ除去機能によって先端・後端画像を除去したスキャン画像はそのままの長さでファイルに保存します。

「定型」を選択した場合で、先端・後端画像を除去したスキャン画像の長さが選択された定型サイズの長さに足りない場合は、その分の余白を追加してファイルに保存します。



設定は下記のように行ってください。

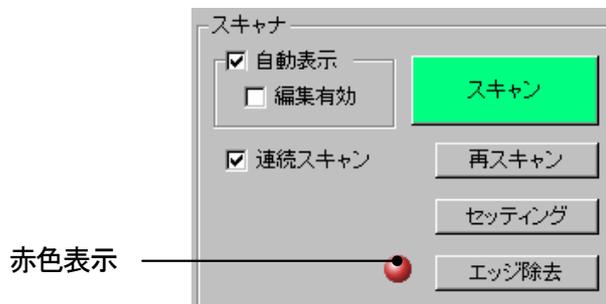
- 1) KIP Scan Client 上の「エッジ除去」ボタンをクリックすると、「エッジ除去」ダイアログが表示されます。



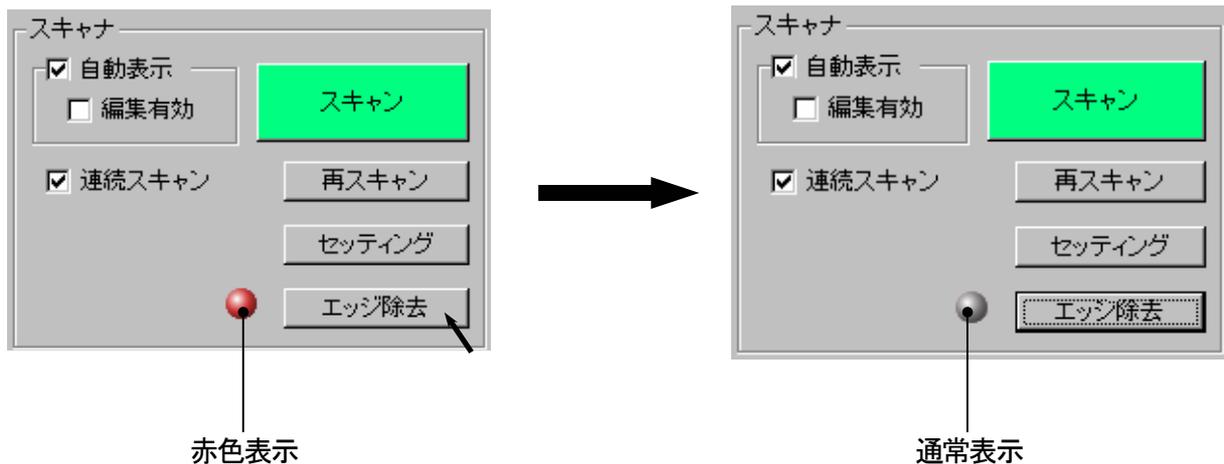
- 2) 先端・後端それぞれの除去量をキーボードで直接入力するか、アイコンで値を増減してください。設定範囲は0~300mmです。設定値が決まったら、「OK」をクリックして有効にします。



- 3) 設定値が有効であるときには、「エッジ除去」ボタンの左側の丸ボタンが赤色表示されます。この後原稿のスキャンを行うと、設定値分の画像が除去されてスキャンされます。



- 4) 「エッジ除去」ボタンをもう一度クリックすると、赤色表示されていた丸ボタンは通常表示に戻り、エッジ除去機能は解除されます。



## 7.6 スキャンした画像をビューアで見える

スキャンした画像をビューアに表示して確認することができます。

KIP Scan Client をインストールすると専用のビューア/エディタと一緒にインストールされます。ビューアの設定を行っていない場合はこれをビューアとして使用しますが、お客様のお好みのビューアを使用したい場合はそのビューアを登録することによって使用できるようになります。ビューアの登録方法に関しては、156 ページ [9 ビューア・エディタの登録] を参照してください。

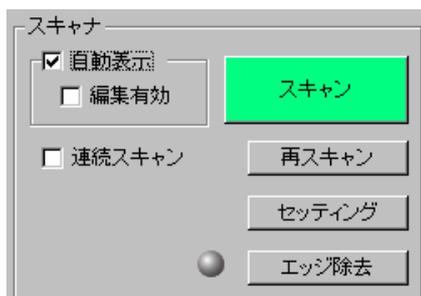


### 注意

本ビューアは Scan Client 以外で作成されたファイルのビューイングは保証致しません。

### 7.6.1 スキャン時に画像をビューアに自動表示させる

KIP Scan Client 上の「自動表示」をスキャン前にチェックしておく、スキャンを行うたびにビューアが起動されてスキャン画像が表示されます。



ビューア (KIP Scan Client 専用ビューア)



[参考]

「自動表示」をチェックしてスキャンする際に一緒に「編集有効」をチェックしておく、ビューメニューの「編集」機能が有効となり、スキャン後に表示された画像を直ちに編集することができます。

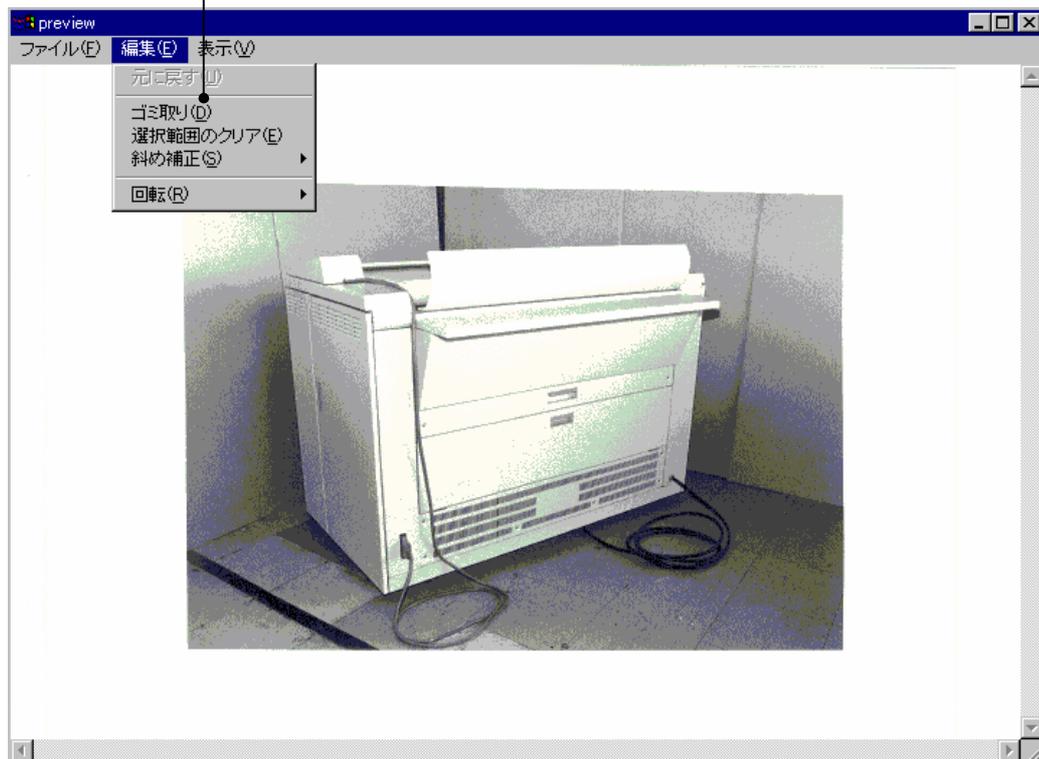
(KIP Scan Client 専用ビューアを使用した場合のみ)

ただしこの場合、「編集有効」をチェックしないでスキャンした場合に比べて倍のメモリを必要とするので、メモリを節約したい場合はチェックしないことをお勧めします。

「編集」機能についての詳細を知りたい場合は 85 ページの [7.7 スキャンした画像を編集する] を参照してください。



(「編集」機能が有効)



## 7.6.2 スキャン後の保存ファイルをビューアに表示させる

ファイル表示部内のファイルからビューアに表示させたいファイルを1つクリックして選択し、それから「表示」ボタンをクリックします。

ビューアが起動して選択されたファイルの画像を表示します。



## 7.7 スキャンした画像を編集する

スキャンした画像をエディタで編集することができます。

KIP Scan Client をインストールすると専用のビューア／エディタと一緒にインストールされます。エディタの設定を行っていない場合はこれをエディタとして使用しますが、お客様のお好みのエディタを使用したい場合はそのエディタを登録することによって使用できるようになります。エディタの登録方法に関しては、156 ページ [9 ビューア・エディタの登録] を参照してください。

ここではKIP Scan Client 専用エディタを使用した場合の編集方法を説明します。

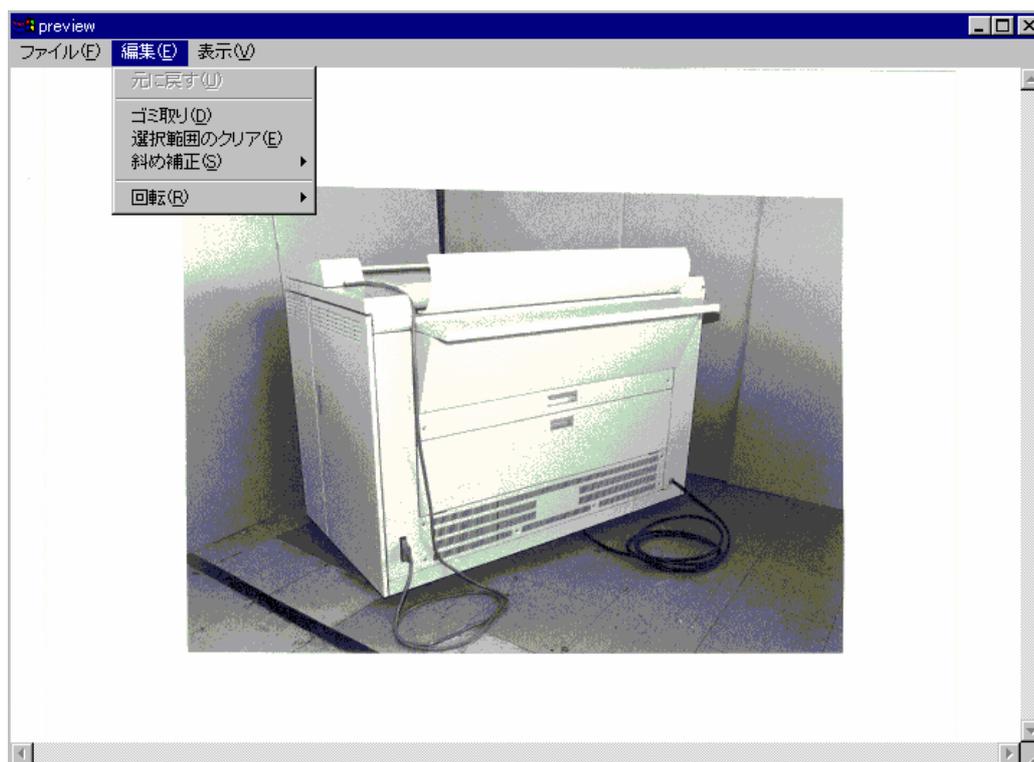
他社製のエディタを使用する場合の編集方法については、そのエディタに付属している取扱説明書の指示に従ってください。

### 7.7.1 編集方法

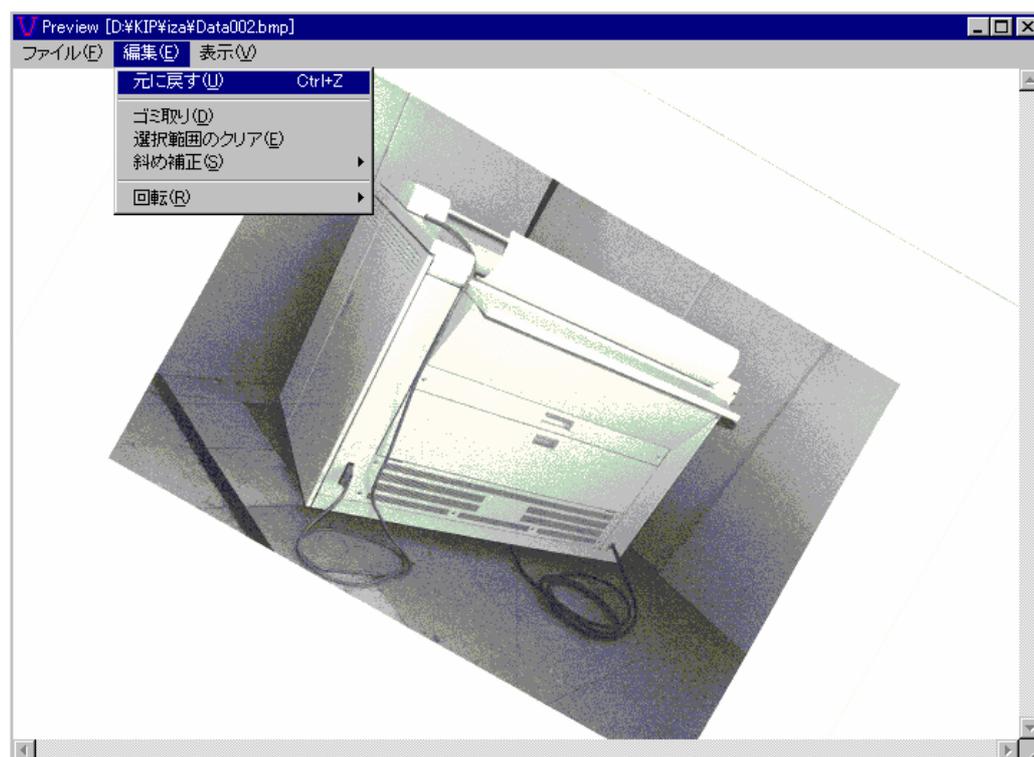
- 1) ファイル表示部内のファイルから編集したいファイルを1つクリックして選択し、それから「編集」ボタンをクリックします。  
エディタが起動して選択されたファイルの画像を表示します。



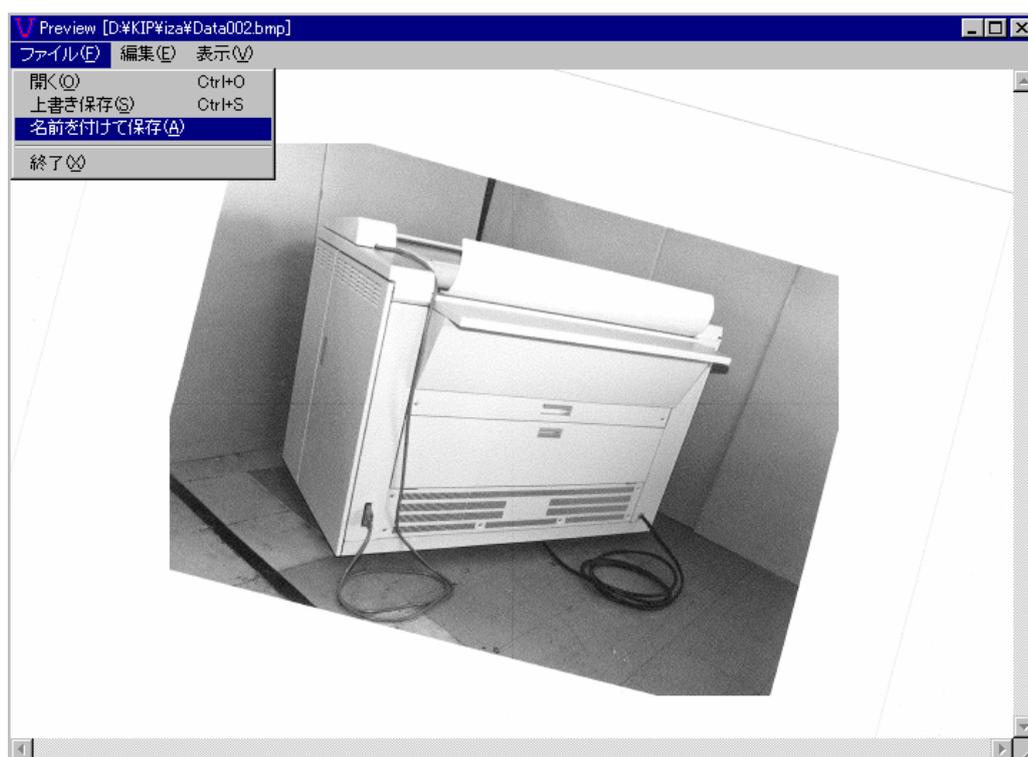
- 2) エディタのメニューバーの「編集」から目的の編集項目を選択して編集を行います。  
各編集項目については 88 ページ以降で説明を行います。



- 3) 編集を行った後にやり直しをしたい場合は、「元に戻す」をクリックすると編集を行う前の状態に戻ります。  
ただし編集を 2 回以上続けて行った場合、最後に行った編集の前の状態までしか戻せないため、  
編集を複数回行う場合は注意しながら行ってください。



- 4) 編集が終了したら、メニューバーの「ファイル」から「上書き保存」または「名前を付けて保存」を選択して編集した画像を保存します。

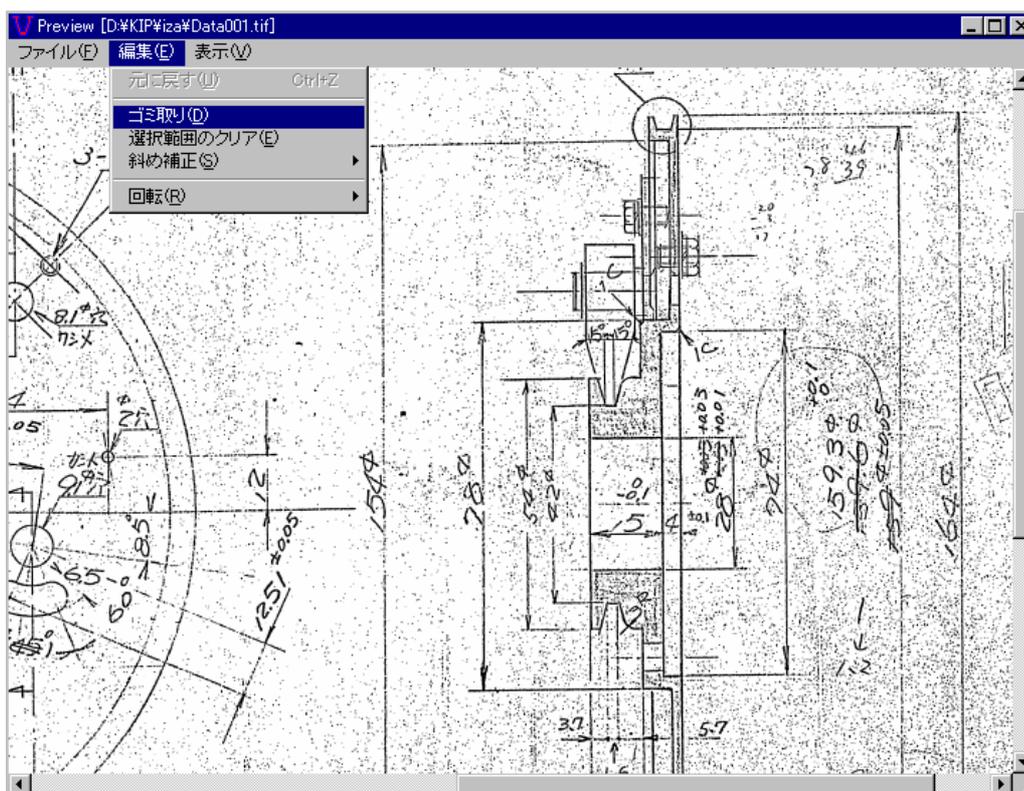


## 7.7.2 各編集項目の説明

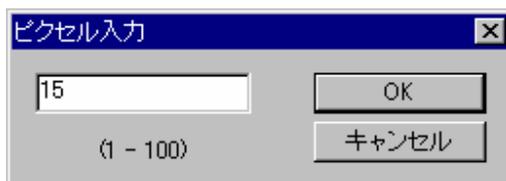
### A. ゴミ取り

指定サイズ（ピクセルXピクセル）以下の大きさの点画像を「不要なゴミ画像」として除去する機能です。

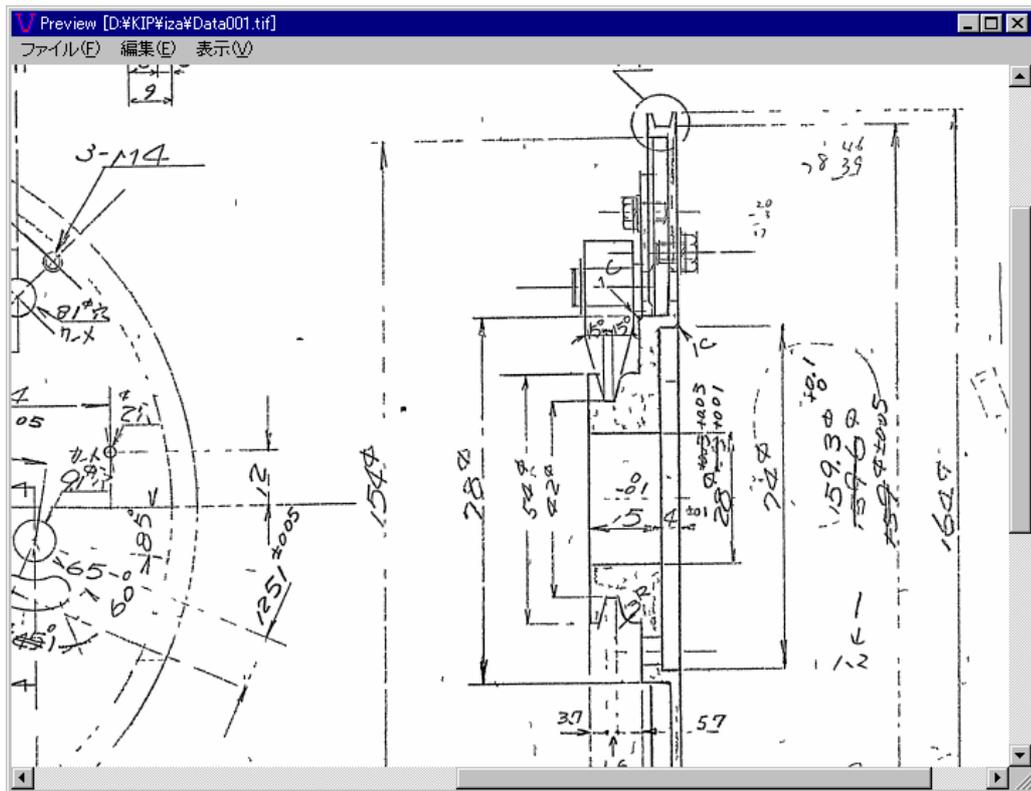
- 1) メニューバーの「編集」から「ゴミ取り」を選択すると、「ピクセル入力」ダイアログが表示されます。



- 2) 除去する点画像のサイズを指定します。  
例えば”15”と入力すると”15ピクセルX15ピクセル”かそれよりも小さい点画像が除去されます。  
入力が完了したら「OK」をクリックしてください。



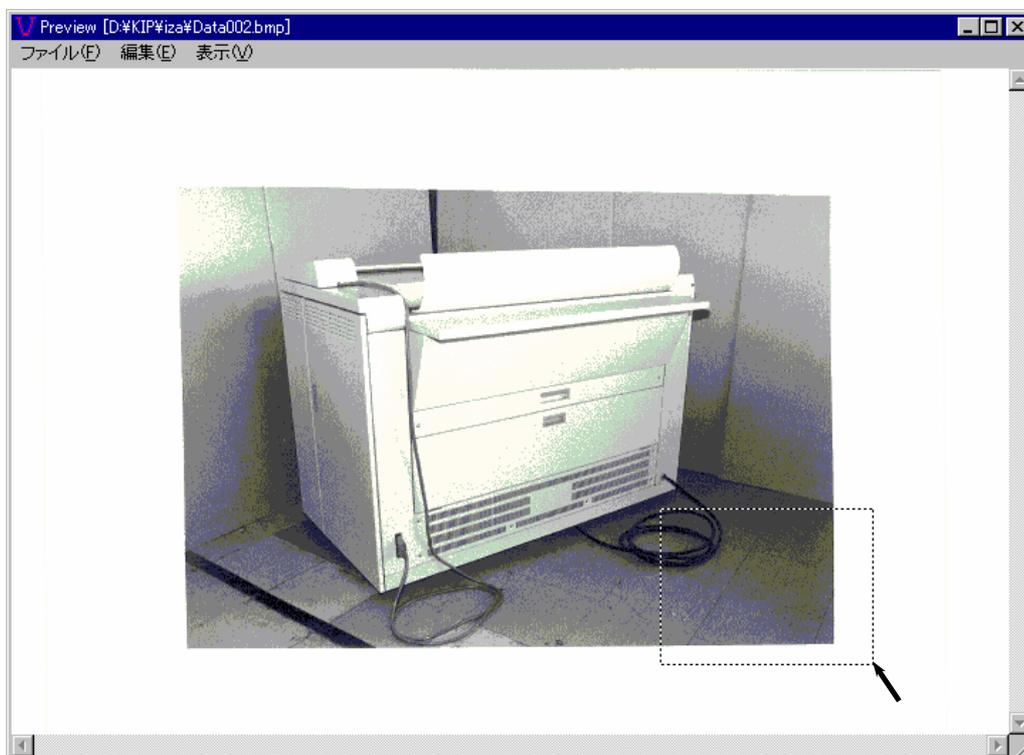
- 3) 指定されたサイズの点画像が下の例のように除去されます。



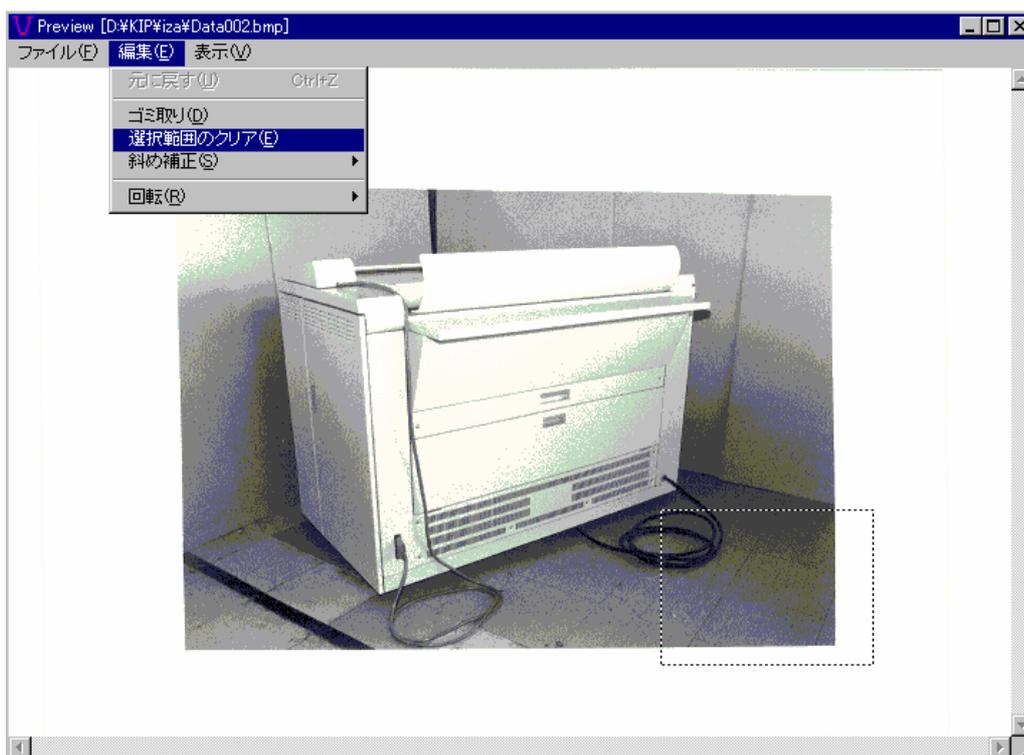
## B. 選択範囲のクリア

マウスでドラッグして選択した範囲の画像を除去する機能です。

- 1) マウスで表示されている画像の一部をドラッグして、除去する範囲を選択します。



- 2) メニューバーの「編集」から「選択範囲のクリア」を選択します。



3) 選択された範囲の画像が下の例のように除去されます。



## C. 斜め補正

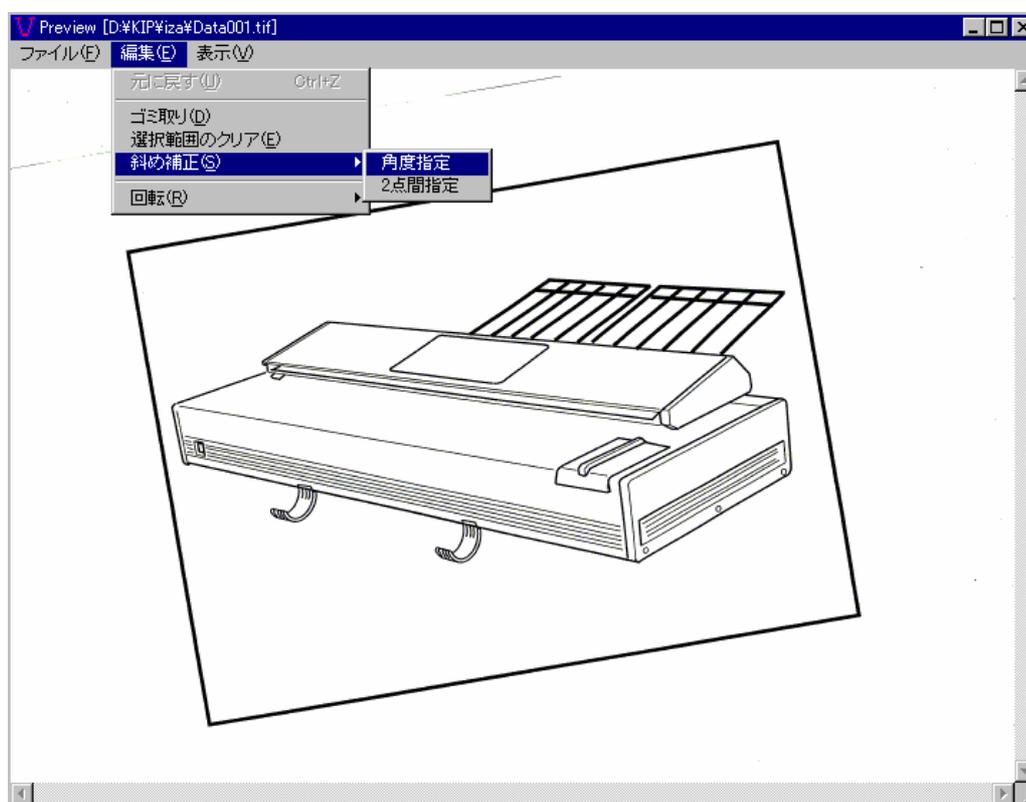
画像の角度を補正することができます。

スキャン時に原稿が斜めに搬送されてスキャン画像が斜めになってしまった場合等に使用してください。補正する方法には「角度指定」と「2点間指定」の2通りがあります。

### (1) 角度指定

回転角度を入力して画像の角度を補正します。

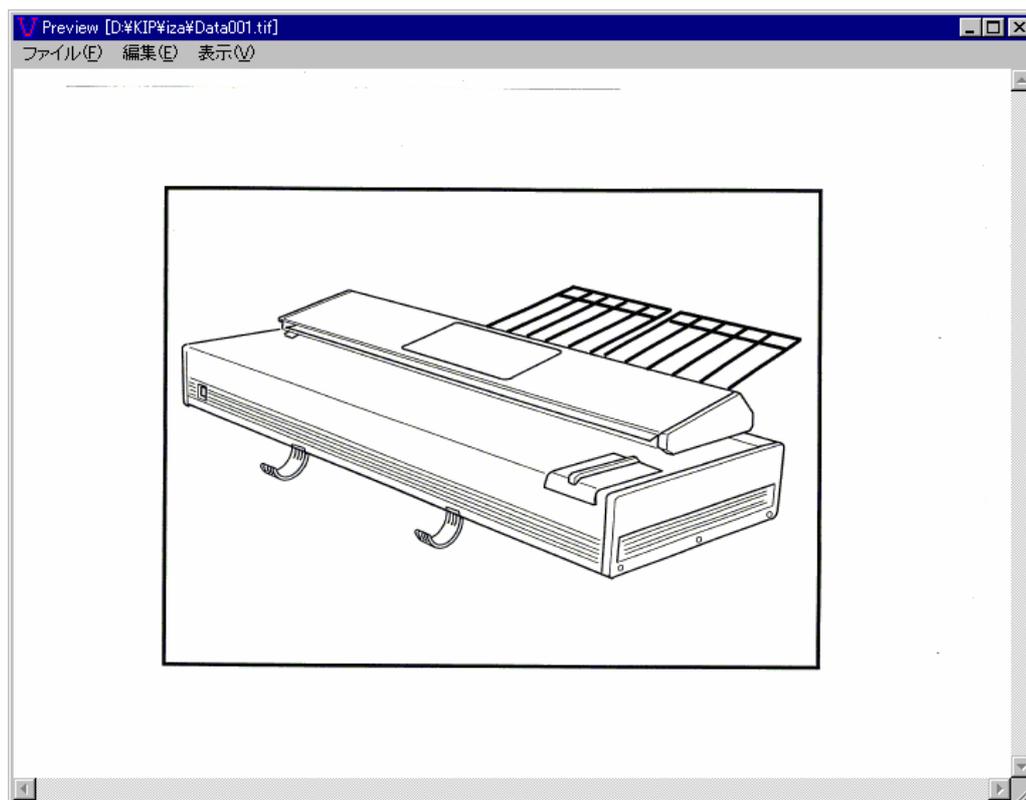
- 1) メニューバーの「編集」から「斜め補正」、「角度指定」を選択すると、「角度入力」ダイアログが表示されます。



- 2) 「角度入力」ダイアログに補正する角度をキーボードで入力します。  
+の値を入力すると時計方向に、-の値を入力すると反時計方向に角度を補正します。



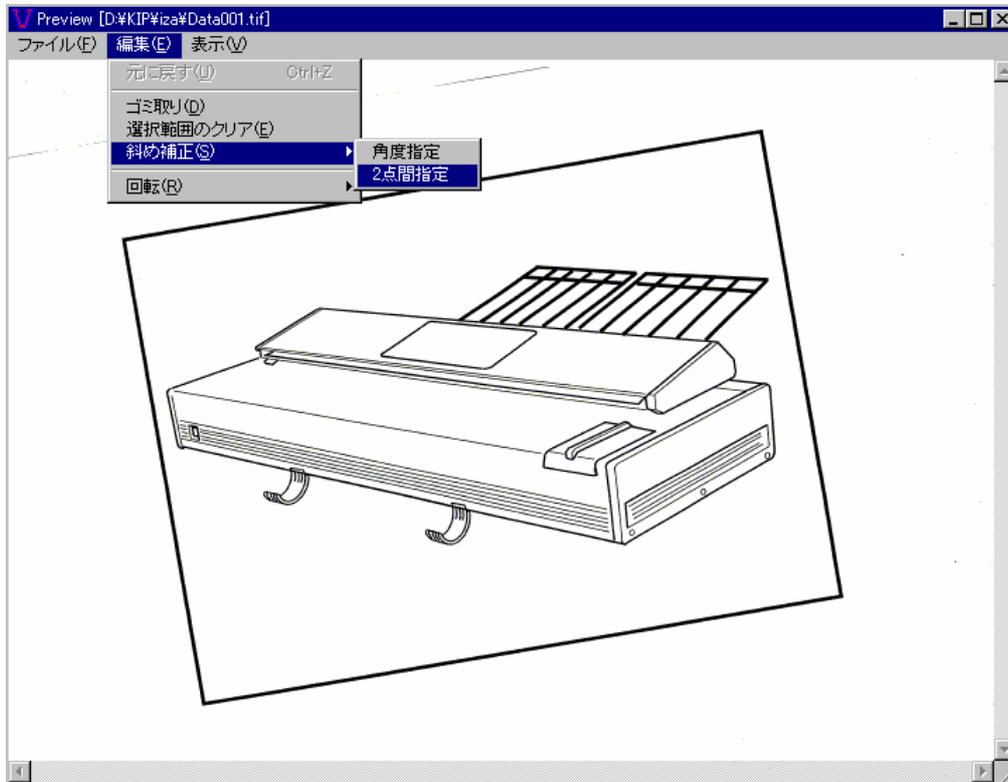
3) 入力した値に従って画像全体の角度が補正されます。



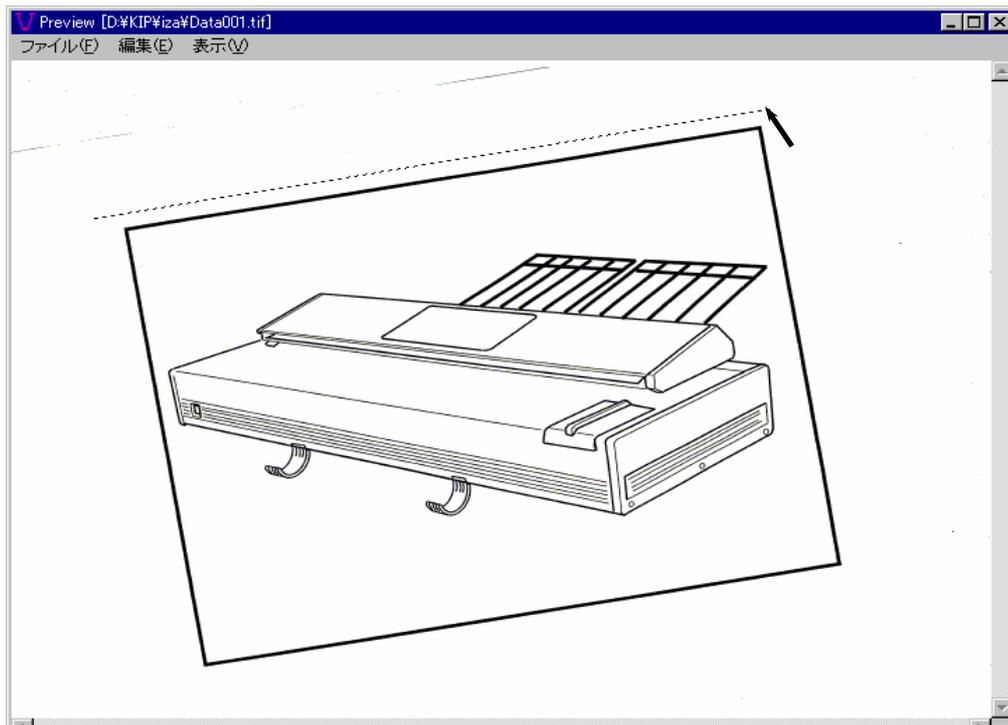
## (2) 2点間指定

マウスで基準線を引いて、その基準線に合わせて画像の角度を補正します。

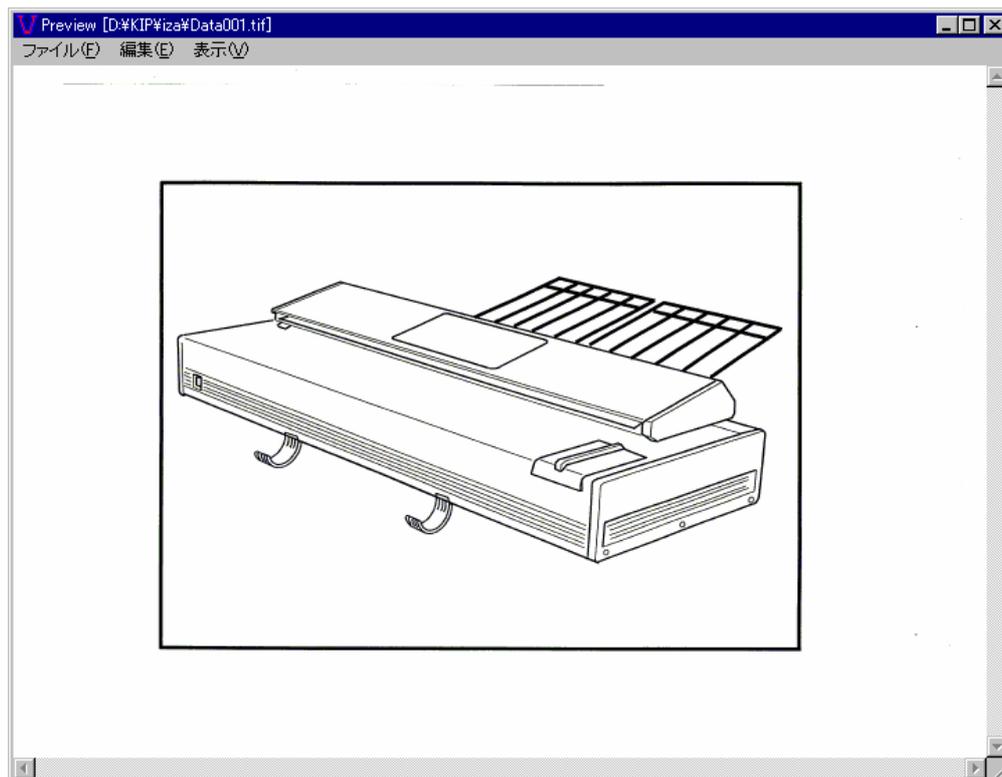
- 1) メニューバーの「編集」から「斜め補正」、「2点間指定」を選択します。



- 2) 希望する場所でクリックし、マウスをドラッグして基準となる線を引いてください。この線が水平になるように画像の角度を補正するので、水平にしたい線等と平行になるように線を引きます。

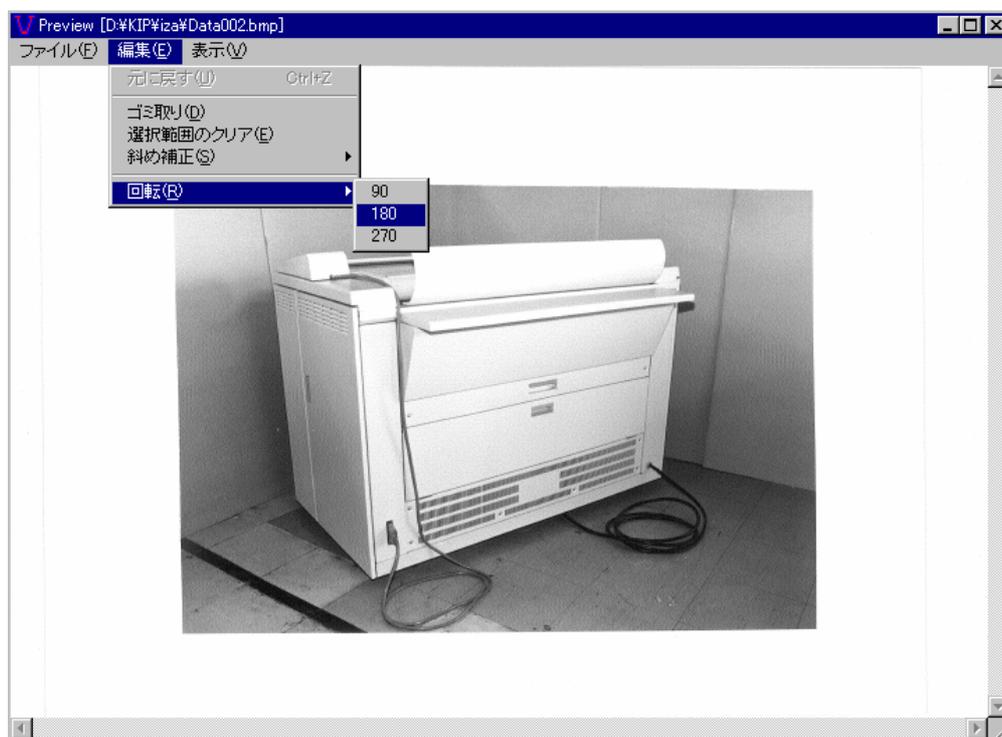


3) 基準となる線が水平となるように斜め補正を行います。

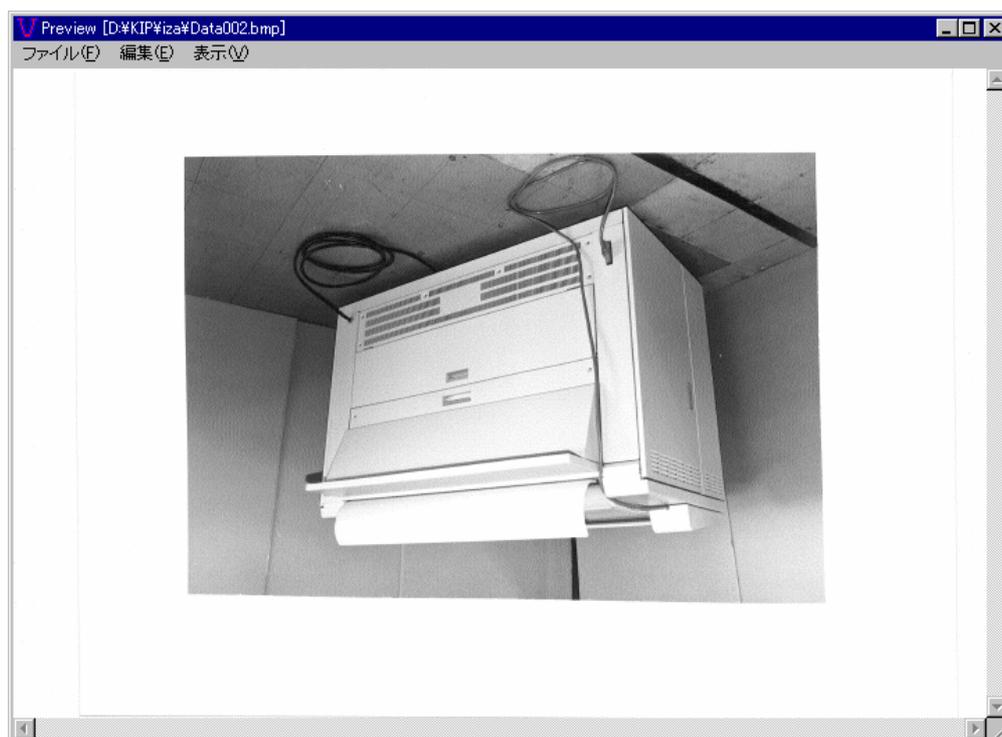


## D. 回転

- 1) メニューバーの「編集」から「回転」を選択し、必要な回転角度を「90」、「180」、「270」から選択します。



- 2) 選択された回転角度に従って下の例のように画像を回転させます。  
(下図は 180 度回転させた例です。)



## 7.8 再スキャン

原稿のスキャンを行ってファイルに保存した後、もしスキャン結果に満足できない場合はファイル名を変えずにスキャン画像を再スキャンした画像によって上書きすることができます。

例えば画質などのスキャン設定が不適切であった時などに再スキャンを行ってください。

- 1) ファイル表示部内のファイルから再スキャンを行いたいファイルを1つクリックして選択し、それから「再スキャン」ボタンをクリックします。

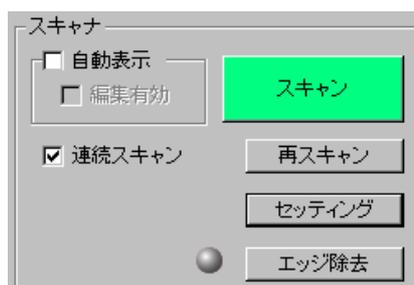


- 2) 下記のメッセージが表示されます。  
上書きする場合は「はい」をクリックします。



- 3) この後通常通りにスキャンを行うと、ファイル名を変更せずにスキャン画像のみを上書きすることができます。

## 7.9 連続スキャン



KIP Scan Client 上の「連続スキャン」をチェックしておくことで、原稿をスキャンし終わると「スキャン」ボタンをクリックしなくてもすぐに次の原稿をスキャンできる状態になるので、大量の原稿を連続してスキャンするときに便利な機能です。

### [注意]

連続スキャン中はスキャン設定を変更することはできません。  
変更するには一度連続スキャンを解除する必要があります。  
従って同じようなタイプの原稿を連続して大量にスキャンするときに使用することをお勧めします。

(例えば全ての原稿が同じように文字画像で構成されている場合は[連続スキャン]をチェックすることをお勧めしますが、何枚かは文字画像で、また何枚かは写真画像で構成されている場合などは[連続スキャン]をチェックしないことをお勧めします。)

## 7.10 バッチネーミング機能を使用して連続スキャンをする

バッチネーミング機能とは、複数の原稿を連続スキャンする前にあらかじめ各スキャン画像に付けるファイル名を指定しておく機能のことです。

あらかじめ指定するファイル名は CSV ファイルという形式で保存しておきます。

この CSV ファイルを使用して連続スキャンを行うと、CSV ファイルに指定されている順序に従って各スキャン画像に指定されたファイル名が付けられます。

例えば次のような CSV ファイルを作成したとします。

```
Building_01  
Building_02  
Floor_01  
Floor_02
```

この CSV ファイルを使用してバッチネーミングを行った場合、4 枚の原稿を単に連続スキャンするだけで上記のファイル名を指定した順序で 4 種類のスキャン画像に付けることができます。

(下記の例は TIFF 形式で保存した場合)

```
1 枚目のファイル名 : Building_01.tif  
2 枚目のファイル名 : Building_02.tif  
3 枚目のファイル名 : Floor_01.tif  
4 枚目のファイル名 : Floor_02.tif
```

CSV ファイルの作成方法については ” 7.10.1 CSV ファイルを作成する ” を参照してください。  
(100 ページ)

CSV ファイルを使用してバッチネーミングを行う方法については “7.10.2 バッチネーミングを行う” を参照してください。  
(103 ページ)

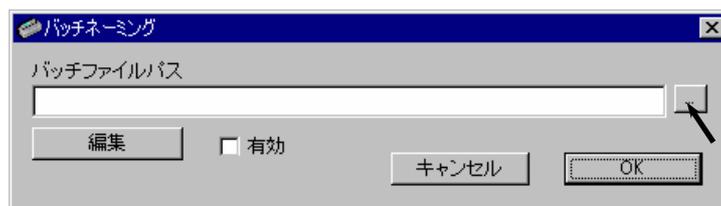
## 7.10.1 CSV ファイルを作成する

バッチネーミングを行う前に、あらかじめ CSV ファイルを作成する必要があります。

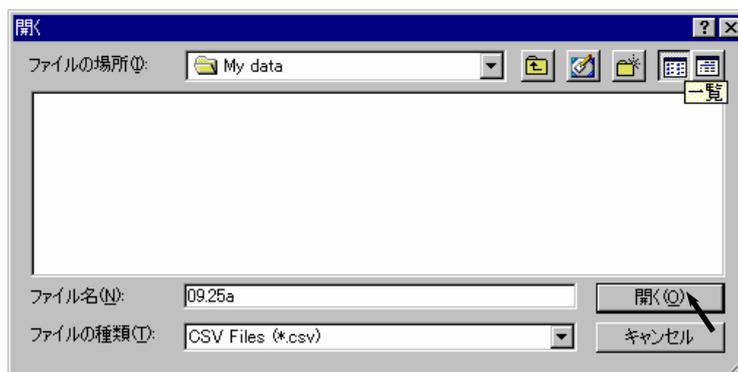
- 1) メニューバーの「オプション」から「バッチネーミング」をクリックします。



- 2) 下記の「バッチネーミング」ダイアログが表示されます。最初に右側の「...」をクリックします。



- 3) 下記のダイアログが表示されるので、これから作成する CSV ファイルを保存する場所を選択し、さらにこの CSV ファイルに付ける名前を入力します。その後、「開く」をクリックしてください。



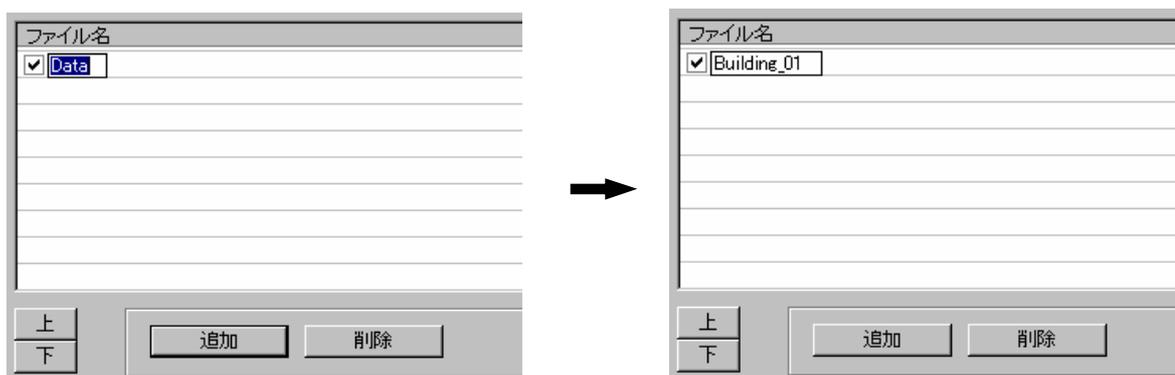
- 4) 「バッチファイルパス」テキストボックスに新しく作成する CSV ファイルのパスが表示されたことを確認します。  
次に、各スキャン画像に対するファイル名を指定する必要があるため、「編集」をクリックします。



- 5) 下記の編集ダイアログが表示されます。  
「追加」をクリックします。



- 6) 1 枚目のスキャン画像に対するファイル名が下図左側のように入力可能になるので、付けたいファイル名を下図右側のように入力してください。



- 7) 同様にしてファイル名を順次入力します。  
ファイル名は上から下に順番にスキャン画像につけられます。



- 8) 必要なファイル名を全て入力し終わったら、「保存」をクリックしてください。  
これで GSV ファイルの作成が完了しました。



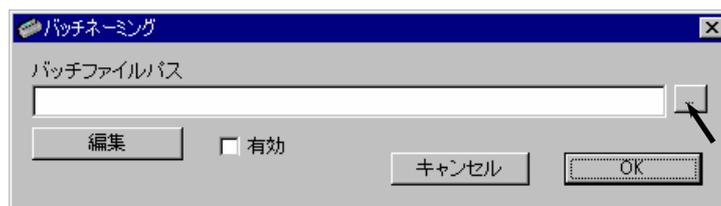
## 7.10.2 バッチネーミングを行う

作成した CSV ファイルを使用してバッチネーミングを行う場合は、下記の手順で行ってください。

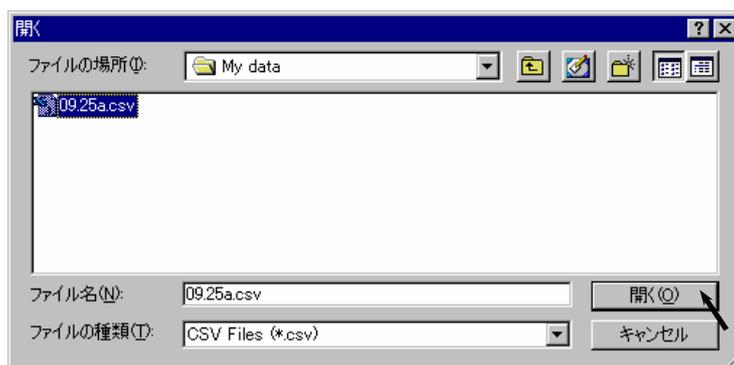
- 1) メニューバーの「オプション」から「バッチネーミング」をクリックします。



- 2) 下記の「バッチネーミング」ダイアログが表示されます。右側の「...」をクリックします。



- 3) 下記のダイアログが表示されるので使用する CSV ファイルを選択し、それから「開く」をクリックしてください。



- 4) 「バッチファイルパス」テキストボックスに使用する CSV ファイルのパスが表示されたことを確認します。

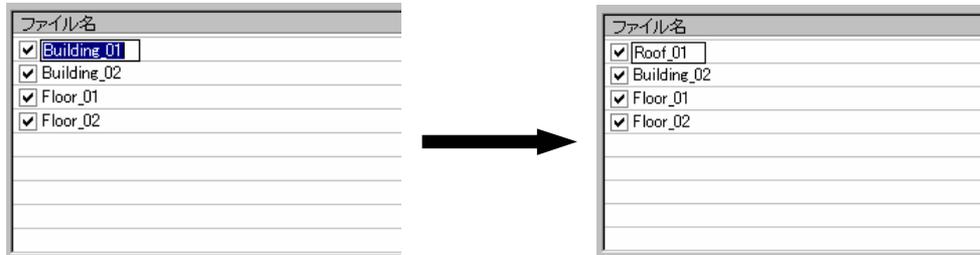
CSV ファイルに保存されているファイル名やと名前を付ける順番など、設定内容を変更したい場合は「編集」をクリックして次の手順5)へ進んでください。

変更する必要がない場合は何もせずに手順7)へ進んでください

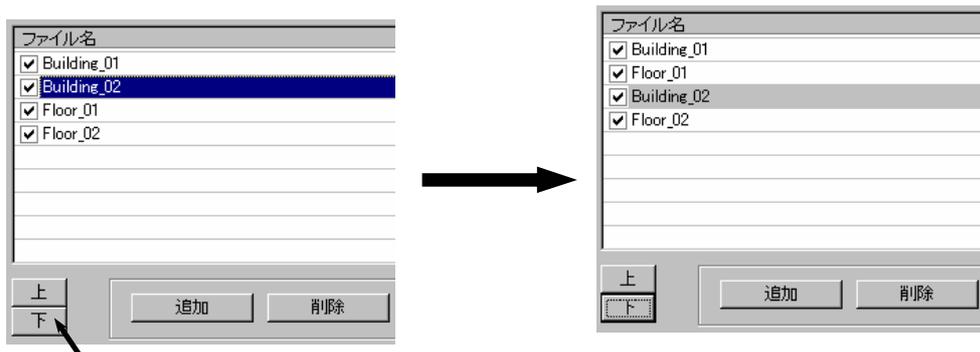


- 5) 各設定の変更は下記のように行ってください。

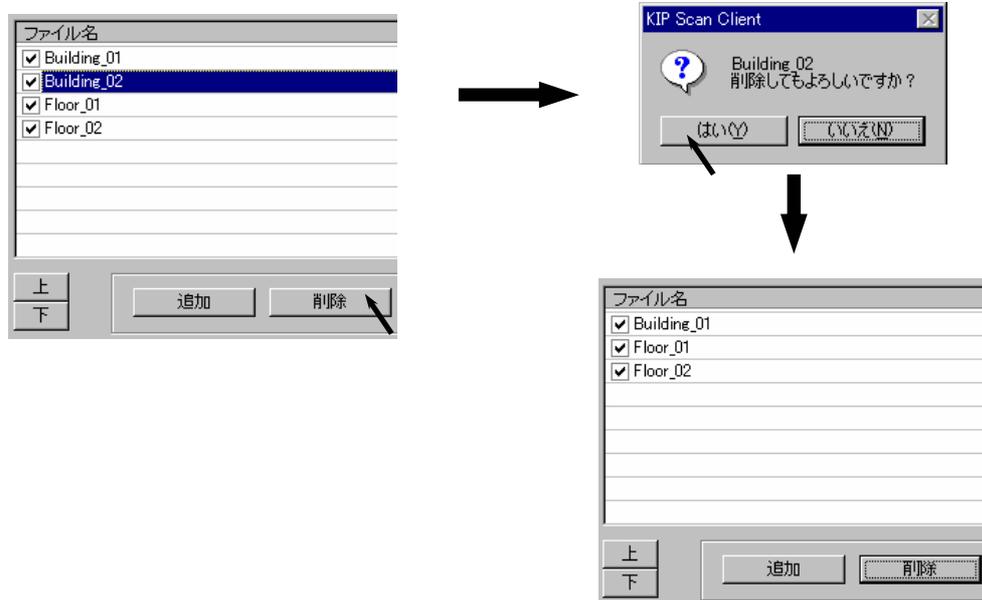
- (a) 画像に付けるファイル名を変更したい場合は変更したいファイルを2回クリックして変更可能な状態にし、新しいファイル名を再入力してください。



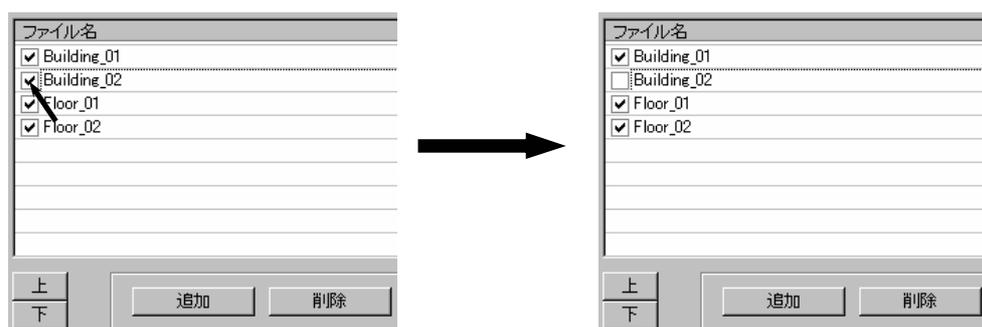
- (b) ファイル名を付ける順序を変更したい場合は、順番を変えたいファイルをクリックして選択し、それから「上」または「下」をクリックします。選択したファイルが1つ上または下へ移動します。



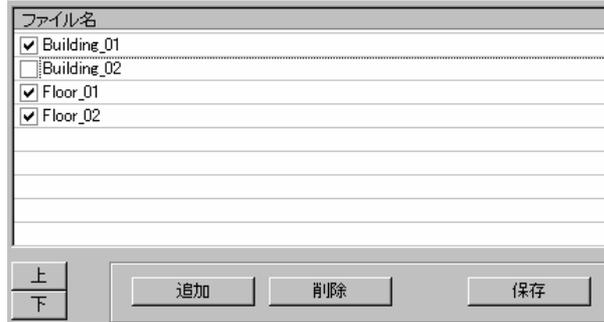
- (c) ファイル名を GSV ファイルから削除したい場合は、削除したいファイル名をクリックして選択し、「削除」をクリックします。  
削除しても良いか確認メッセージが表示されるので、削除して良ければ「はい」をクリックすると選択したファイル名が削除されます。



- (d) CSV ファイルから削除はしたくないけれども、これから行う連続スキャンで使用する必要のないファイル名がある場合は、そのファイル名の左側にあるチェックをクリックして解除してください。  
下記の例では CSV ファイルには 4 種類のファイル名が設定されていますが、このうち [Building\_02] は使用されず、バッチネーミング機能を使用して連続スキャンできる原稿は 3 枚となります。



- 6) CSV ファイルの設定を変更した場合は「保存」をクリックして変更を保存します。



- 7) 「バッチネーミング」ダイアログ内の「有効」をチェックします。  
これをチェックすることにより、選択したCSVファイルを使用してバッチネーミングを行うことが可能になります。

[注意]

下図は「編集」をクリックしてからCSVファイルの設定を変更した場合です。  
手順4)で「編集」をクリックしなかった場合はダイアログ中央の設定項目は表示されません。



(有効)

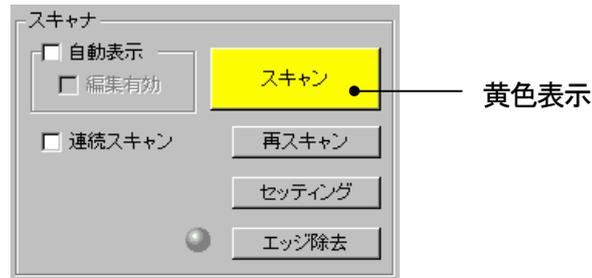
- 8) 「OK」をクリックすると下記のダイアログが表示されます。  
設定を保存しても良ければ「はい」を、そうでなければ「いいえ」をクリックしてください。



- 9) KIP Scan Client の画面に戻ります。  
この時「スキャン」ボタンは黄色表示となり、これからバッチネーミングを行うことを表します。  
「スキャン」ボタンをクリックし、必要な原稿を順次スキャンしてください。

[注意]

尚、バッチネーミングを行っている最中は「連続スキャン」をチェックしなくても、最初に1回「スキャン」ボタンをクリックすると原稿をセットするだけで次々にスキャンを行うことができます。



- 10) CSV ファイルで指定されている枚数の原稿をスキャンし終わると、「スキャン」ボタンは通常の緑色表示になり、バッチネーミングは自動的に解除されます。  
ファイル表示部には CSV ファイルで指定したファイル名の付けられたファイルが指定通りの順序で表示されます。



### 7.10.3 CSV ファイルを他のアプリケーションで作成する

CSV ファイルは KIP Scan Client 上でなくとも、メモ帳や MS Excel 上で作成することもできます。お客様の好み、熟練度に合わせて使い分けてください。

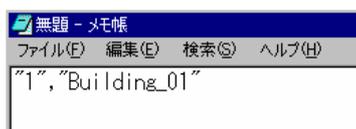
例えば大量のファイル名を指定する CSV ファイルを作成するときなどで、Excel を使用した方がより早く作成することができるようであれば、Excel を使用することをお勧めします。

[メモ帳で作成する場合]

- 1) 数字の「0」か「1」を入力します。  
バッチネーミングを行ったときに使用しないファイルには「0」を、使用するファイルに対しては「1」を指定してください。  
(この数字は「バッチネーミング」ダイアログにおけるチェックの部分に相当します。)

- 2) カンマ「、」を入力します。

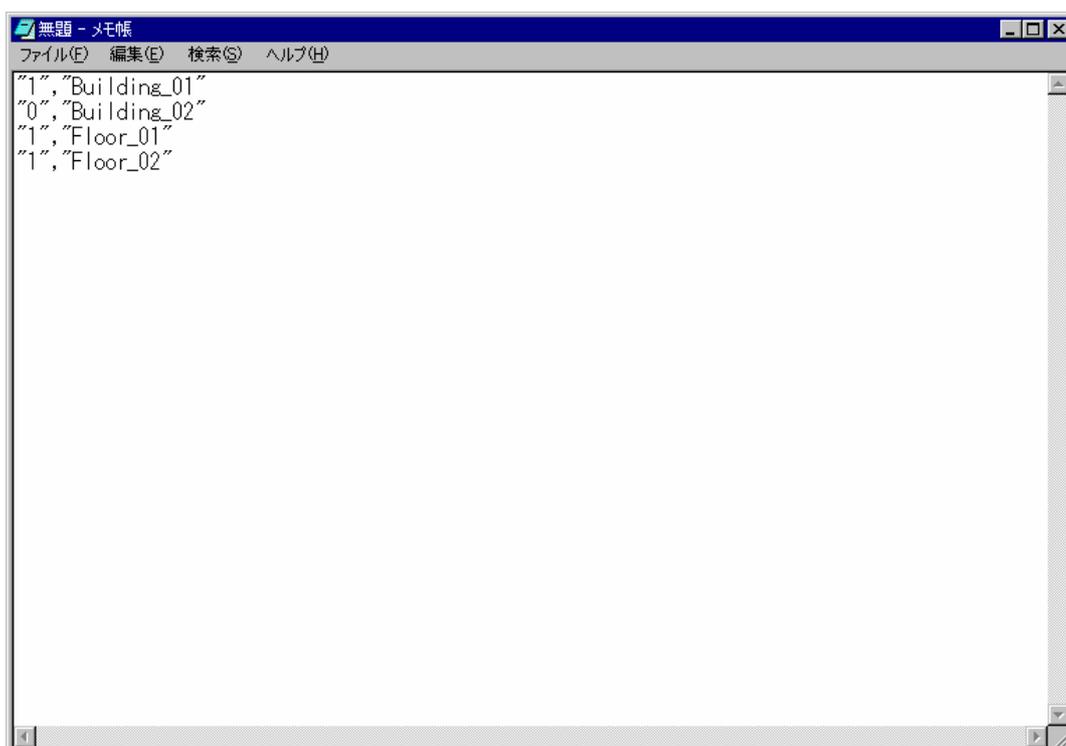
- 3) ファイル名を入力します。



- 4) 改行し、同様の手順で入力していきます。

[注意]

下図では数字とファイル名を” ”で囲んでいますが、これはなくてもかまいません。



- 5) 名前を付けて保存します。  
この時ファイル名の後に拡張子を[.csv]とご自分で入力してください。



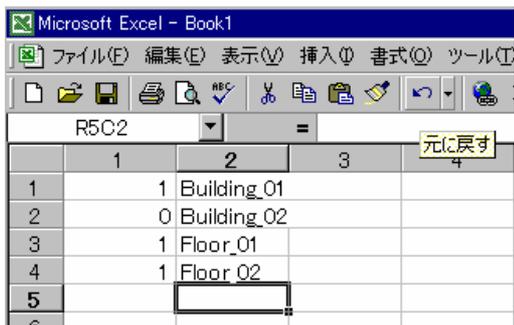
[MS Excel で作成する場合]

- 1) 1行目の1列目のセルに数字の「0」か「1」を入力します。  
バッチネーミングを行ったときに使用しないファイルには「0」を、使用するファイルに対しては「1」を指定してください。  
(この数字は「バッチネーミング」ダイアログにおけるチェックの部分に相当します。)

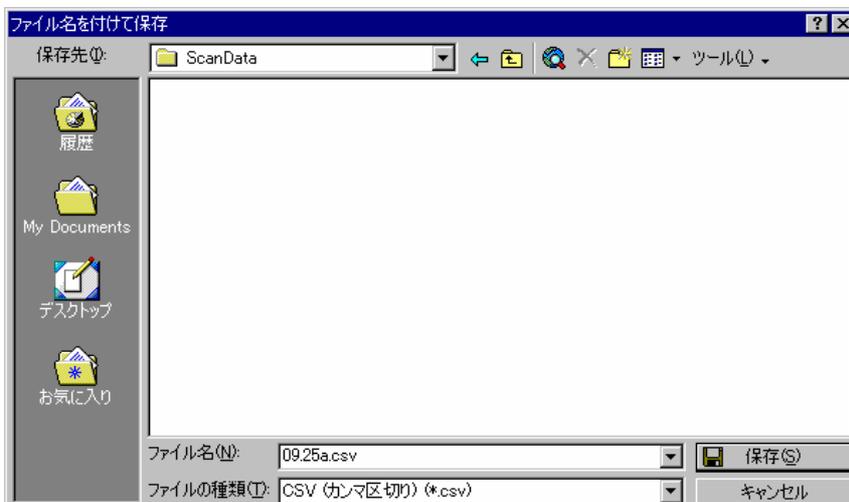
- 2) 1行目の2列目のセルにファイル名を入力します。



- 3) 2行目以降に同様にして入力していきます。



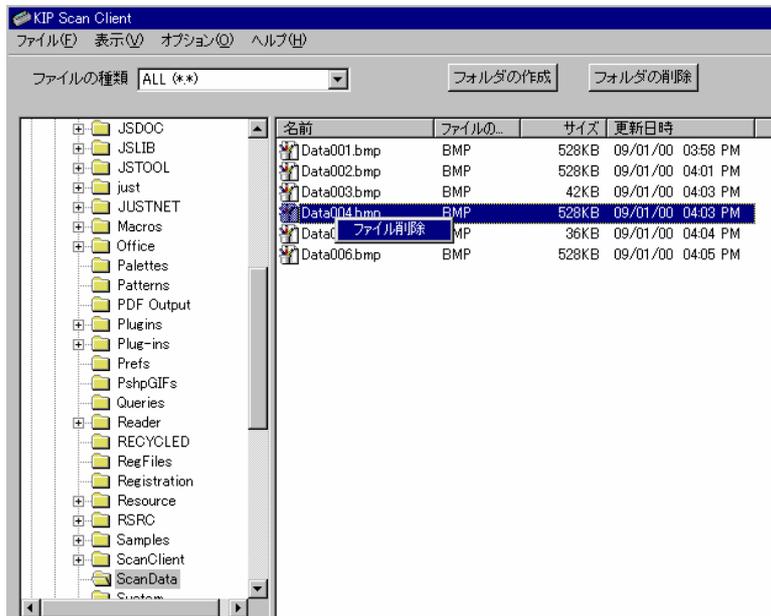
- 4) 名前を付けて保存します。  
この時「ファイルの種類」のプルダウンメニューから「CSV」を選択してください。



## 7.11 作成したファイルを削除する

作成したファイルをKIP Scan Client上で削除することができます。

- 1) 削除するファイルをファイル表示部から選択し、マウスを右クリックします。



- 2) 「ファイル削除」をクリックすると下記のダイアログが表示されます。「はい」をクリックすると選択したファイルが削除されます。



## 7.12 メモリ設定

PCに搭載されているシステムメモリ全体のうち、ScanClient がどのくらいの容量のメモリを占有して使用できるかを設定します。

### ⚠ 注意

この設定は、長い原稿をスキャンしているときに下記のエラーメッセージが表示された場合のみ変更します。



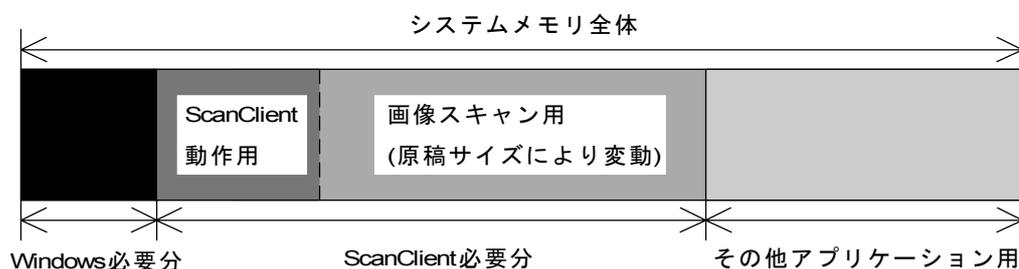
それ以外の場合は設定を変更する必要はありません。  
また、以降の説明はやや専門的で難解なため、分かりにくい場合はサービスマンにお尋ね下さい。

### 参考

ScanClient でスキャンを行う場合、下記の2つの動作を行う為のシステムメモリを必要とします。

1. アプリケーションとしてPC上でScanClientを動作させる。(7MB程度使用)
2. 原稿の画像を読み取る。

1.の「ScanClientを動作させるために必要なシステムメモリ」の容量は一定ですが、2.の「原稿の画像を読み取るのに必要なシステムメモリ」の容量は読みとる原稿の大きさによって変動し、原稿が大きい程(幅が広い程、長さが長い程)より多くのシステムメモリを必要とします。



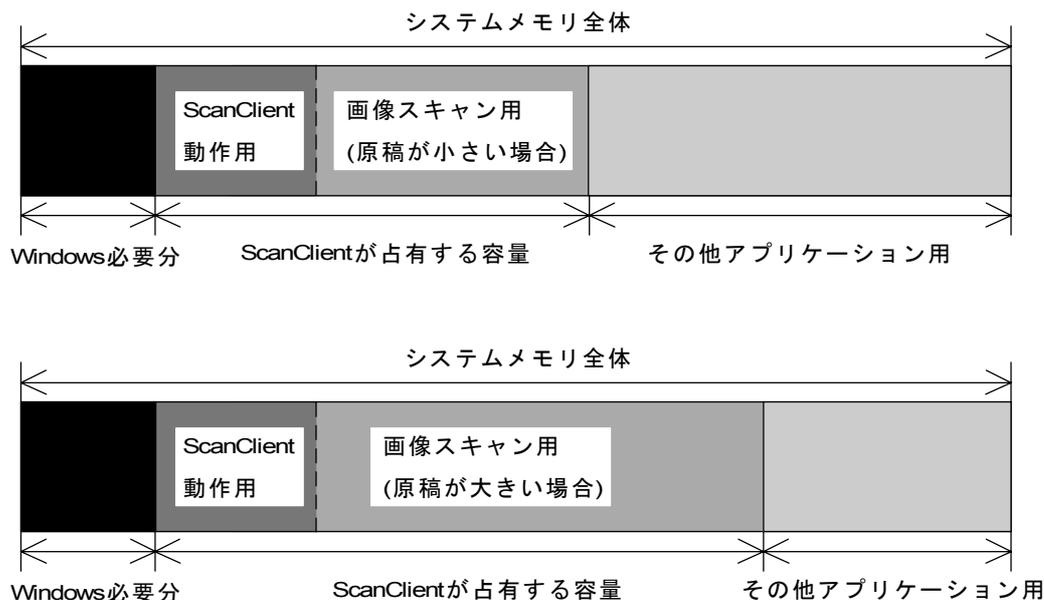
選択できる設定は、モード1とモード2の2種類です。  
次ページ以降で各モードの内容を説明します。

モード1 : ScanClient が占有するメモリ容量は、原稿サイズに従ってスキャンする毎に自動的に変化します。

**この設定は初期状態で選択されており、通常は変更する必要がありません。**

前ページの「参考」で述べたように、ScanClient が必要とするシステムメモリはスキャンする原稿のサイズによって変動しますが、モード1 を選択した場合は毎回のスキャンのたびに必要な容量のシステムメモリ（「動作用」＋「読み取り用」）だけを占有して使用します。

従ってスキャンする原稿が小さければ占有する容量も小さくなり、原稿が大きければ占有する容量も大きくなります。



## ⚠ 注意

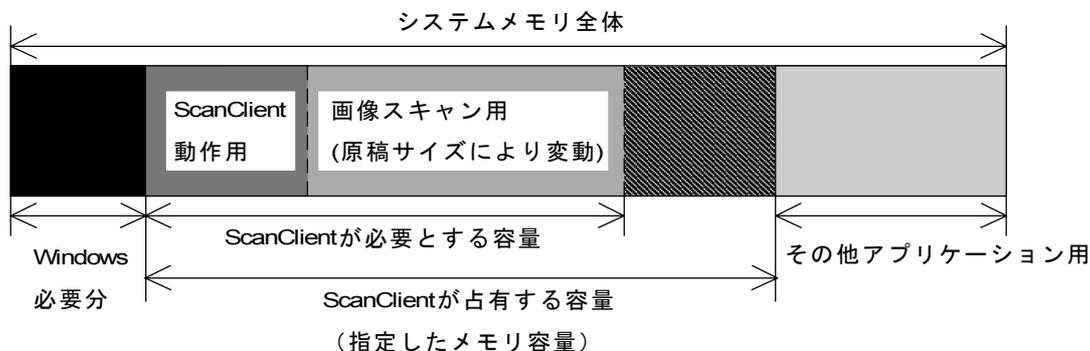
モード1で長い原稿をスキャンすると、実際にはシステムメモリの容量が十分にあるにも関わらず下記のエラーが表示されてしまう場合があります。



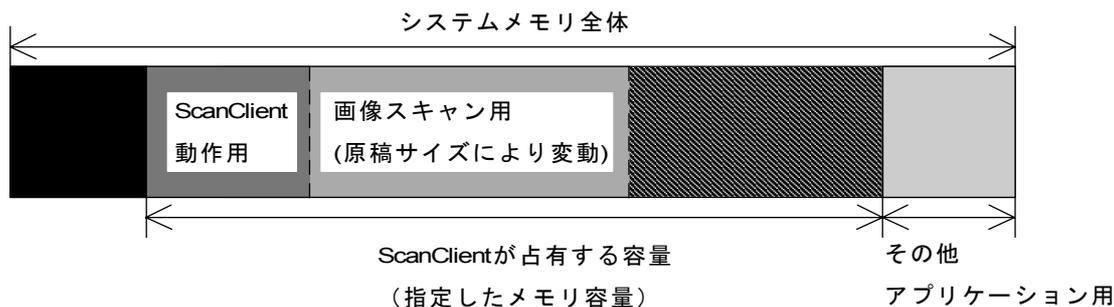
ScanClient が原稿をスキャンするときは、原稿サイズに見合った連続したメモリ領域が必要です。モード1 で長い原稿をスキャンすると通常より多くシステムメモリを使用し、ScanClient と Windows の間でメモリのやりとりが頻繁になります。こうなると Windows 側でシステムメモリが断片化してしまい、ScanClient が Windows にメモリを要求しても連続したメモリ領域を確保できないという不具合が発生してしまい、これが原因で上記のエラーが発生してしまいます。

このような状態になった場合は次のページで説明するモード2 を選択し、占有できるメモリ容量を指定する事でエラーを回避する事ができます。

モード2：あらかじめScanClientが占有する容量（MB）を指定し、原稿を読み取る際は実際に必要な容量に関わらず常にこの設定された容量のメモリを占有します。  
**長い原稿をスキャンしたときに、実際はシステムメモリの容量が足りているにも関わらずメモリが不足しているというエラーが表示される場合のみ、この設定を選択してください。**



この場合、指定するメモリ容量に注意が必要です。  
 あまり大きい容量を指定すると、ScanClient専用ビューアを含むその他のアプリケーションが使用するシステムメモリが不足してしまう場合があります。



A0幅の長尺原稿をスキャンするのにどれ位のシステムメモリが必要であるのかを以下に示しましたので、設定の参考にしてください。(400dpiの場合)

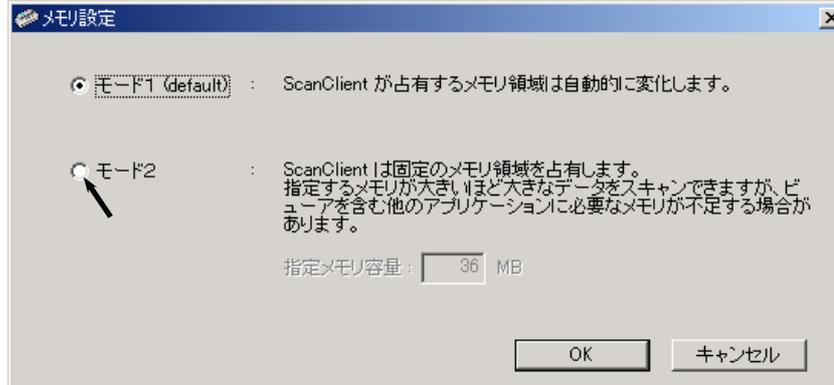
A0 x 3m : 約 78MB	A0 x 6m : 約 156MB
A0 x 10m : 約 260MB	A0 x 16m : 約 417MB

[変更方法]

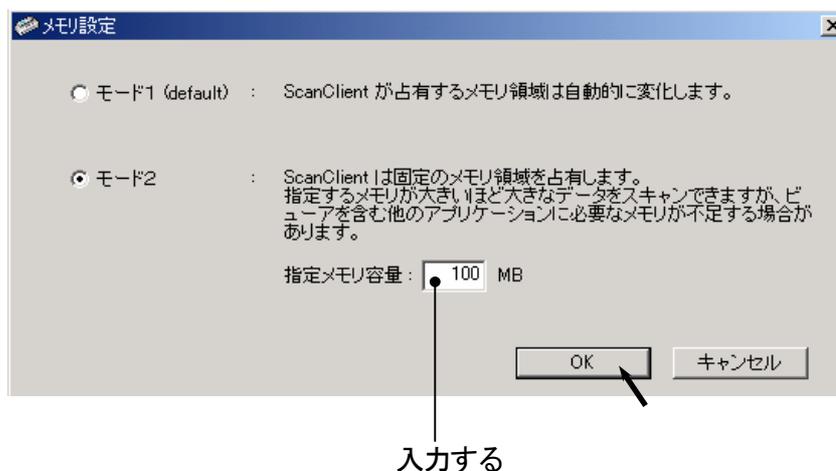
- 1) メニューバーの「オプション」から、「設定」、「メモリ設定」を選択します。



- 2) 下記のダイアログが表示されます。  
初期状態ではモード1が選択されています。  
モード2を選択する場合は「モード2」をクリックします。



- 3) 「指定メモリ容量」の欄に占有するメモリ容量を入力してください。  
入力したら、「OK」をクリックしてください。



- 4) 下記のダイアログが表示され、ScanClient の使用できるメモリ容量とその他のアプリケーションが使用できるメモリ容量が示されます。  
このままの設定で良ければ「OK」をクリックしてください。  
設定を変更したいときは「キャンセル」をクリックしてもう一度メモリサイズを指定してください。



- 5) ScanClient を一度終了し、もう一度起動してください。  
これによって設定が有効となり、ScanClient は指定された容量のメモリを確保します。

## 8 プリントに関する操作説明

KIP Scan Client 上で出力するファイルを選択し、プリントを行うことが可能です。

### [参考]

KIP Scan Client はあくまでスキャン用のアプリケーションであるため、プリントに関しては簡易的な機能しか付与されておりません。

より高度なプリント機能を必要とされるお客様には、弊社のプリント専用アプリケーションである「KIP Print Client」をご使用していただくことをお勧めします。

### 8.1 プリント機能を有効にする

KIP Scan Client からファイルのプリントを行いたい場合は、「プリント有効」をチェックしてください。これによりプリントすることが可能になります。

チェックを解除すると全てのプリント機能が無効になり、プリントすることが不可能になります。

(プリントが可能な状態)

The screenshot shows the 'Print' settings window in KIP Scan Client. At the top, the checkbox 'プリント有効' (Print Enabled) is checked. Below it, the printer selection area is active, showing 'KIPCON E プリンタ' selected in the dropdown menu. The '自動出力' (Auto Output) checkbox is unchecked. At the bottom, there are buttons for 'プリント' (Print), 'ヘッダ' (Header), and 'セッティング' (Settings).

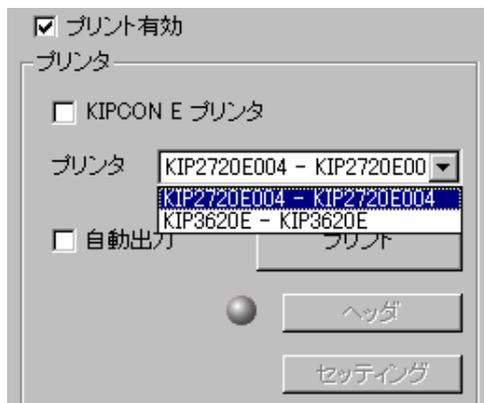
(プリントが不可能な状態)

The screenshot shows the 'Print' settings window in KIP Scan Client. At the top, the checkbox 'プリント有効' (Print Enabled) is unchecked. Below it, the printer selection area is disabled (greyed out), showing 'KIPCON E プリンタ' in the dropdown menu. The '自動出力' (Auto Output) checkbox is also unchecked. At the bottom, there are buttons for 'プリント' (Print), 'ヘッダ' (Header), and 'セッティング' (Settings).

## 8.2 出力するプリンタを選択する

KIP Scan Client 上のプリンタ選択部のプルダウンメニューにはネットワーク上にある全てのプリンタが表示されます。

この中からプリントジョブを出力するプリンタを一つ選択します。



### [参考]

桂川電機製の[KIPCON E]搭載プリンタへ出力する場合は「KIPCON E プリンタ」をチェックします。これをチェックすることにより、「ヘッダ」と「セッティング」の設定を行うことが可能になります。

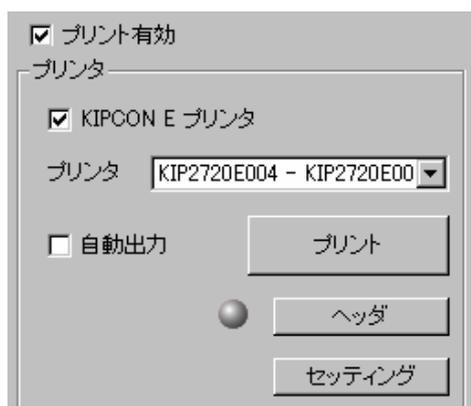
他社製のプリンタ/プロッタでTIFFまたはHPGL-RTLが出力できる製品の場合、

「KIPCON E プリンタ」のチェックを外すことで出力を行うことが可能になります。

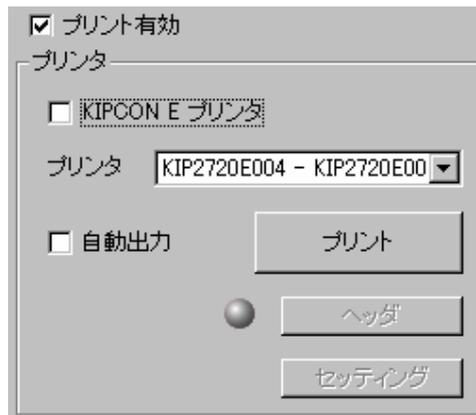
ただしこの場合、「ヘッダ」、「セッティング」の機能を使用することはできません。

「ヘッダ」と「セッティング」に関しては、121 ページ以降の[8.5 ヘッダの設定]および123 ページ以降の[8.6 各種プリント設定を変更してプリントする]を参照してください。

(「KIPCON E プリンタ」をチェック)



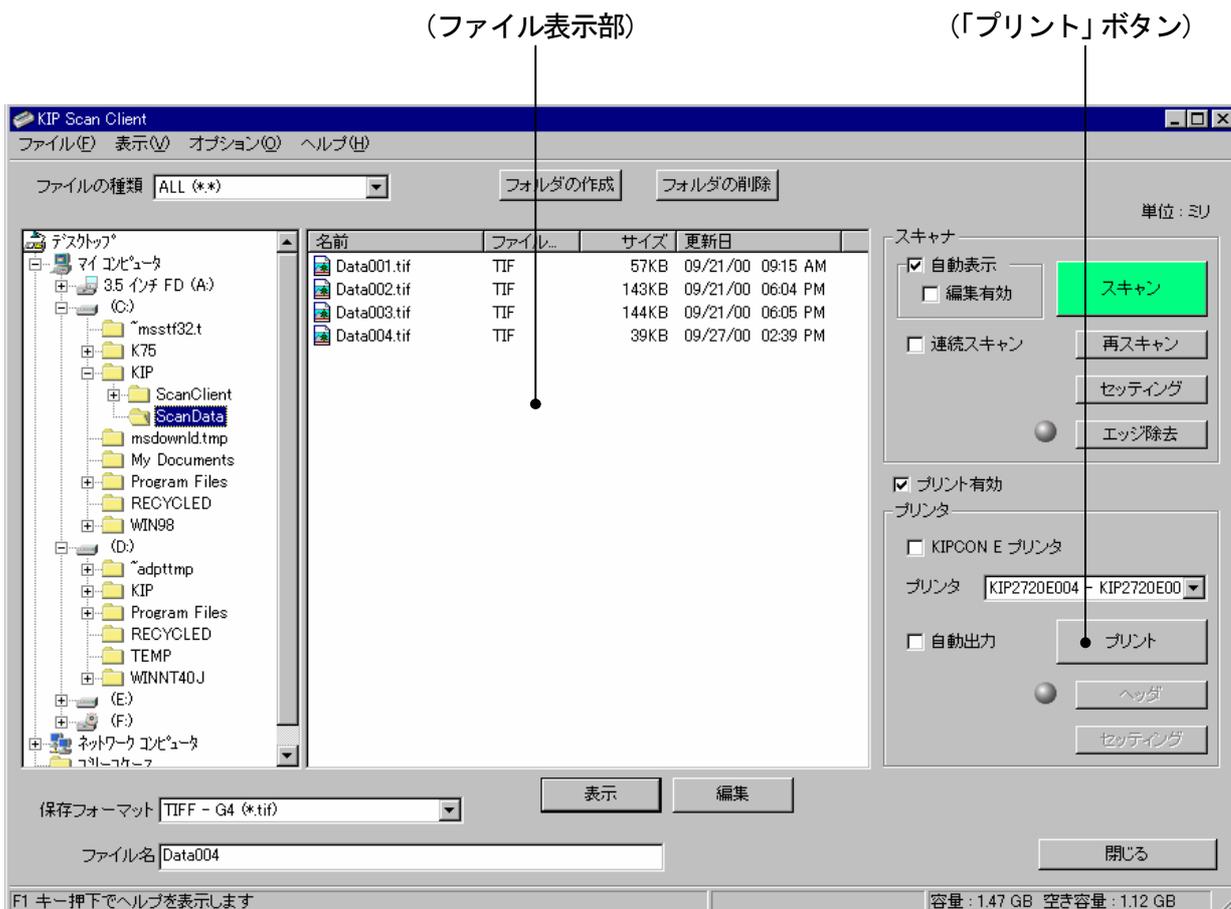
(「KIPCON E プリンタ」のチェックを解除)



## 8.3 ファイルを選択してプリントする

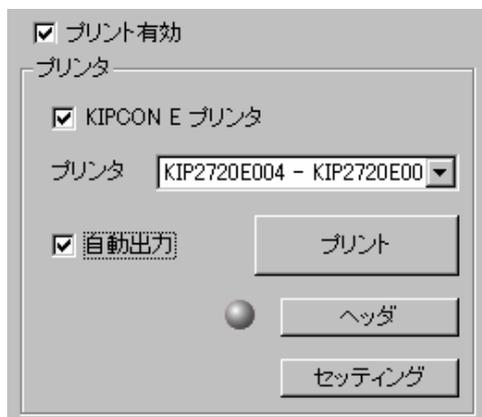
- 1) ファイル表示部内のファイルからプリントしたいファイルをクリックして選択し、プリンタ設定部の「プリント」ボタンをクリックします。

[KIPCON E プリンタ]をチェックして桂川電機製のKIPCON E 搭載プリンタへプリントする場合は「ヘッダ」と「セッティング」の設定を変更することが可能です。変更は「プリント」ボタンをクリックする前に行います。



## 8.4 スキャンファイル作成時に同時にプリントする

スキャンを行う前に「プリント有効」をチェックし、さらに「自動出力」をチェックしておくこと、スキャンした原稿の画像をファイルに保存し、同時にプリンタから出力します。



## 8.5 ヘッダの設定

ファイルをプリントする際にヘッダ（フッタ）を一緒にプリントすることができます。  
下記の情報をヘッダとしてプリントすることができます。

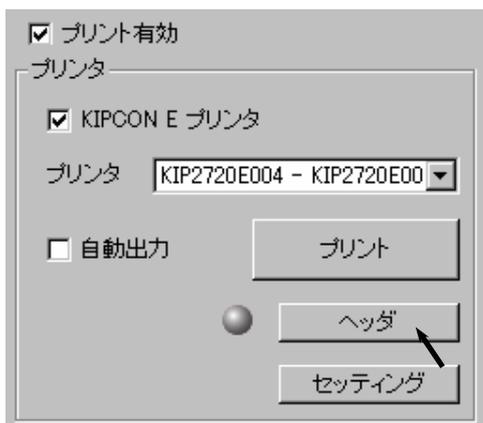
日付  
ファイル名  
出力者名  
ジョブ名

このうち日付とファイル名はヘッダ機能を有効にするだけでプリントすることができます。  
出力者名とジョブ名は個々に入力する必要があります。

### [設定方法]

- 1) 「ヘッダ」ボタンをクリックして下さい。  
「ヘッダ設定」ダイアログが表示されます。

(「ヘッダ」ボタン)



(「ヘッダ設定」ダイアログ)

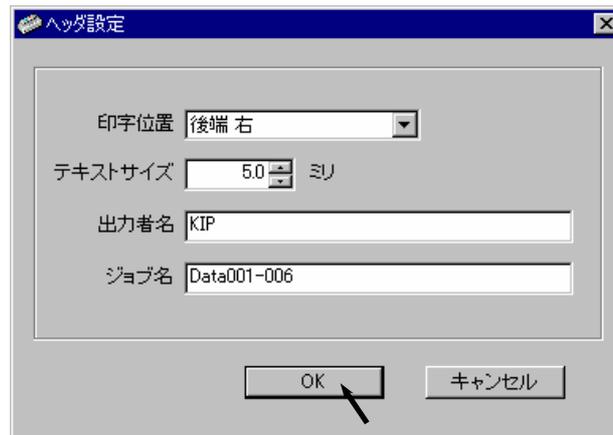


- 2) 「印字位置」のプルダウンメニューからヘッダを印字する位置を選択します。  
また必要であればテキストサイズを指定してください。



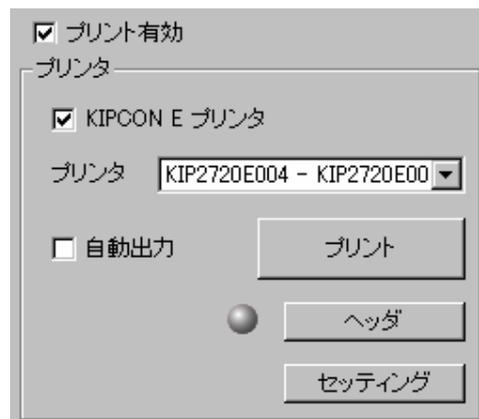
- 3) 「出力者名」、「ジョブ名」を印字する場合はそれぞれ入力してから「OK」をクリックしてください。

印字しない場合は何も入力せずに「OK」をクリックしてください。

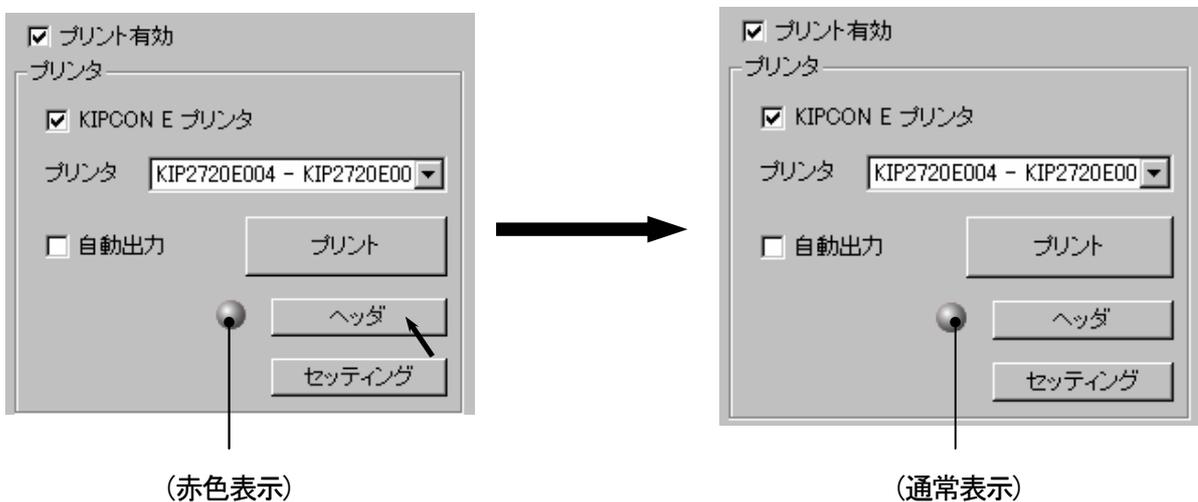


- 4) ヘッダ機能が有効になっている時は「ヘッダ」ボタンの左側にある丸ボタンが赤色表示されています。

このままプリントを行うと設定に従ってヘッダが印字されます。



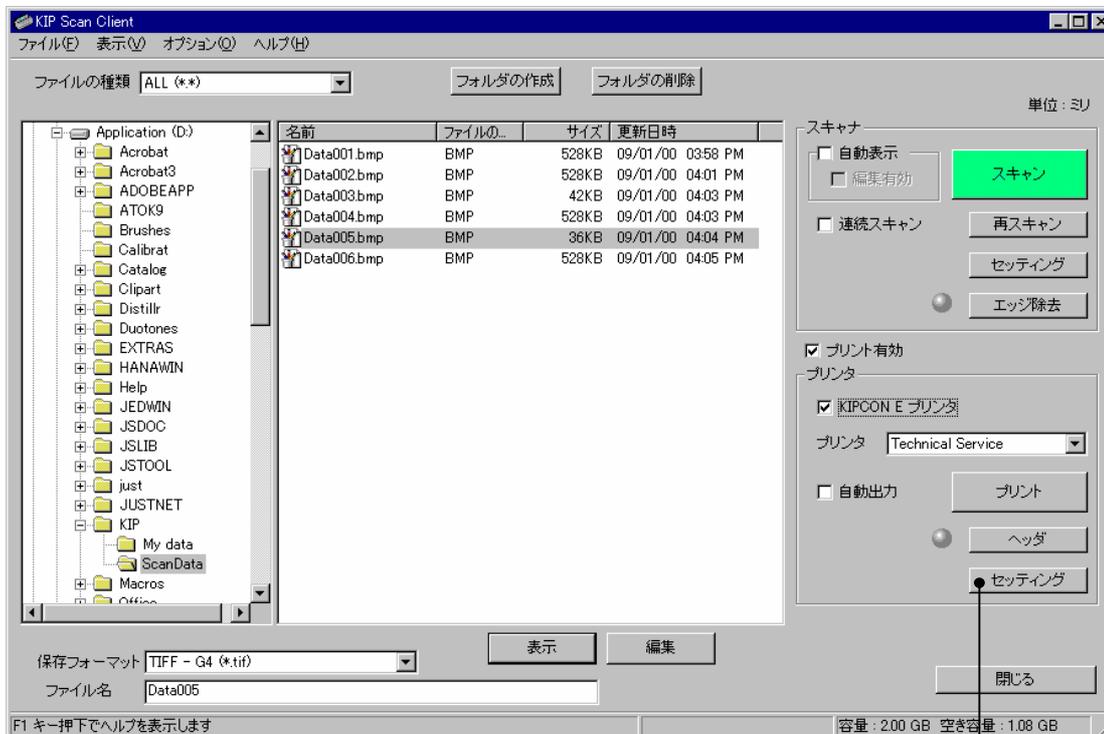
- 5) もう一度「ヘッダ」ボタンをクリックするとヘッダ機能は解除され、丸ボタンは通常のグレー表示に戻ります。



## 8.6 各種プリント設定を変更してプリントする

プリンタ設定部にある「セッティング」ボタンをクリックすると、「プリンタ設定」ダイアログが表示され、出力画像サイズ、給紙、プリント枚数などの設定を行うことができます。

これらの設定は「KIPCON E プリンタ」がチェックされている場合にのみ行うことができます。



(「セッティング」ボタン)

(「プリンタ設定」ダイアログ)



次ページ以降で上記ダイアログの個々の設定項目について説明します。

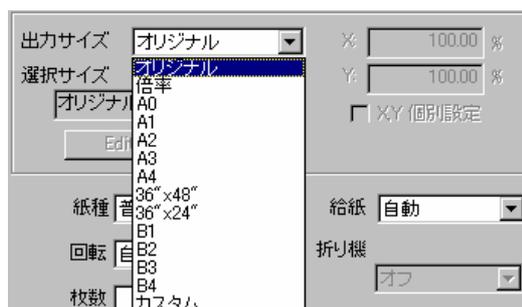
## 8.6.1 出力サイズ



出力画像のサイズを設定します。

「出力サイズ」のプルダウンメニューから一つを選択してください。

選択されたサイズは「出力サイズ」の欄に表示されます。



各サイズの詳細は次のようになっています。

### A. オリジナル



ファイルに保存されている画像のサイズを変更せずにそのままの大きさで出力します。

## B. 倍率



指定した倍率（%値）に画像を拡大・縮小します。  
右側の「X」の欄にキーボードで必要な倍率を直接入力します。  
入力範囲は5.00%～400.00%で、0.01%単位での入力が可能です。



またこの時「XY 個別設定」をチェックすると、出力画像の縦方向と横方向の倍率を個別に設定することが可能になります。

「X」が横方向の倍率、「Y」が縦方向の倍率となります。



## C. 定型サイズ (A0～A4, 36” x48” , 36” x24” , B1～B4)



出力画像を定型サイズに拡大・縮小します。  
下記の定型サイズを選択することができます。

A 系列	A0, A1, A2, A3, A4
B 系列	B1, B2, B3, B4
インチ	36” x48” , 36” x24”

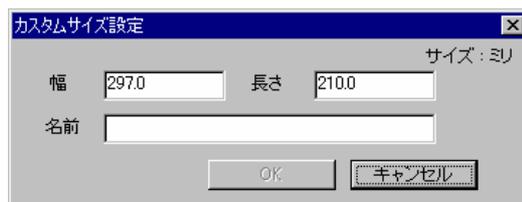
## D. カスタム



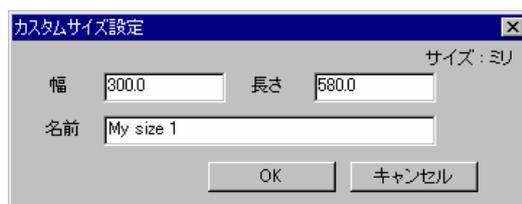
必要な画像サイズ（幅及び長さ）を名前を付けて登録し、いつでも呼び出すことができるようにします。カスタムサイズを登録した後に幅や長さの変更を行って上書きしたり、登録したカスタムサイズを削除することも可能です。

### [カスタムサイズの登録および呼び出し]

- 1) 「表示サイズ」のプルダウンメニューから「カスタム」を選択すると、「カスタムサイズ設定」ダイアログが表示されます。



- 2) 必要な幅と長さをキーボードで入力します。  
入力できる範囲は幅 50.0mm～914.4mm、長さ 50.0mm～16000.0mm です。  
その後、このカスタムサイズに対する名前を入力してから「OK」をクリックして登録します。

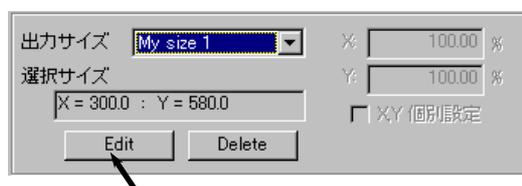


- 3) 登録されたカスタムサイズは「表示サイズ」のプルダウンメニューに自動的に加えられるので、いつでも簡単に呼び出すことができます。

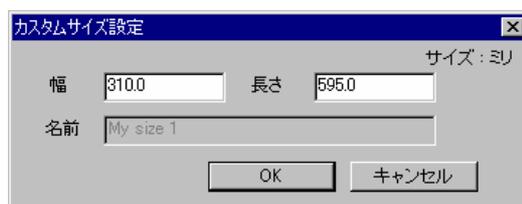


## [カスタムサイズの変更]

- 1) 変更したいカスタムサイズを「表示サイズ」のプルダウンメニューから選択し、「Edit」をクリックします。

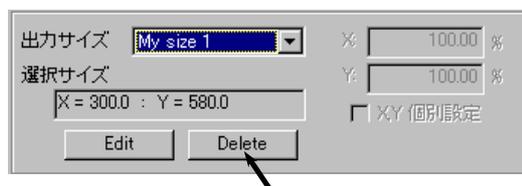


- 2) 「カスタムサイズ設定」ダイアログが表示されるので、幅と長さを必要に応じて変更し、「OK」をクリックします



## [カスタムサイズの削除]

- 1) 変更したいカスタムサイズを「表示サイズ」のプルダウンメニューから選択し、「Delete」をクリックすると削除されます。



## 8.6.2 紙種



プリントに使用する用紙の材質をプルダウンメニューから指定します。  
特に指定がない場合は[指定なし]を選択してください。

### 8.6.3 給紙



プリントする際に、何段目の給紙デッキの用紙を使用してプリントを行うかの設定を行います。ロール紙を使用してプリントする場合は[給紙 1]から[給紙 4]のどれかを選択してください。手差し用紙を使用する場合は[手差し]を選択してください。

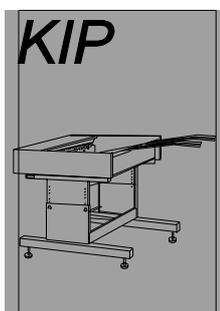
#### [参考]

給紙の設定を[自動]に設定すると、プリント画像より幅の広いロール紙で、かつ余白が最小となる幅のロール紙を自動的に選択します。

例えばプリント画像の幅が500mmで、プリンタにA2(幅420mm)、A1(594mm)、A0(841mm)の各サイズのロール紙がある場合、A1のロール紙が自動的に選択されます。

これは、A2では幅80mm分のプリント画像が失われ、A0では余白が多くて用紙を無駄に使用してしまうためです。

プリント画像  
(500mm幅)



A2用紙  
(420mm幅)



A1用紙  
(594mm幅)



A0用紙  
(841mm幅)

## 8.6.4 回転



用紙に対してプリント画像を90度単位で4段階に回転させることができます。

### [参考]

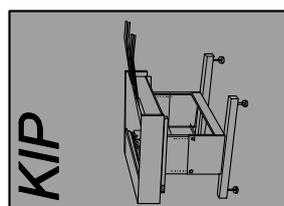
回転の設定を[自動]に設定すると、プリント画像のサイズと選択された用紙サイズに従って最適な回転（0度又は90度）が自動的に選択されます。

例えばプリント画像がA1の定型サイズ（長さ841mm）で選択された用紙がA0（幅841mm）の場合、90度の回転が自動的に選択されます。

プリント画像



0度回転  
(選択されません)



90度回転  
(選択されます)

## 8.6.5 折り機



折り機を接続している場合に行う設定ですが、現在使用できない機能です。

## 8.6.6 枚数



選択したファイルを何枚プリントするかを指定します。  
キーボードで直接入力するか、アイコンを使用して指定してください。  
最大プリント枚数は999枚です。

## 8.6.7 用紙のカット方法

定型カット  
 ミラー

プリント用紙のカット方法を指定します。

カット方法には定型カットとシンクロカットがあります。

「定型カット」をチェックすると定型カットに、チェックを外すとシンクロカットになります。

(定型カット)

定型カット  
 ミラー

(シンクロカット)

定型カット  
 ミラー

定型カットを選択した場合、選択された用紙幅に従った定型サイズで用紙をカットします。

例えば A0 幅 (841mm) の用紙を選択している場合は、A0 縦置き (1189mm) 又は A1 横置き (594mm) の長さでカットされます。

シンクロカットを選択した場合はプリント画像の縦方向の長さと同じ長さでカットされるので、余分な後端余白のないプリントが出力されます。

## 8.6.8 スタンプ

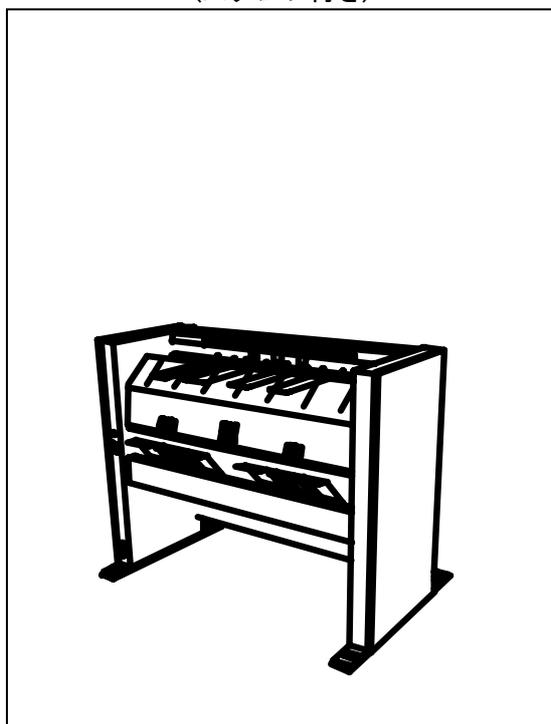
ファイルをプリントする際に、あらかじめ登録しておいた企業ロゴや商標などのスタンプ画像を印字することが可能です。

また入力した文字列やマクロ（ファイル名・日付時刻など）からなるテキストを、スタンプ画像と一緒に印字することもできます。

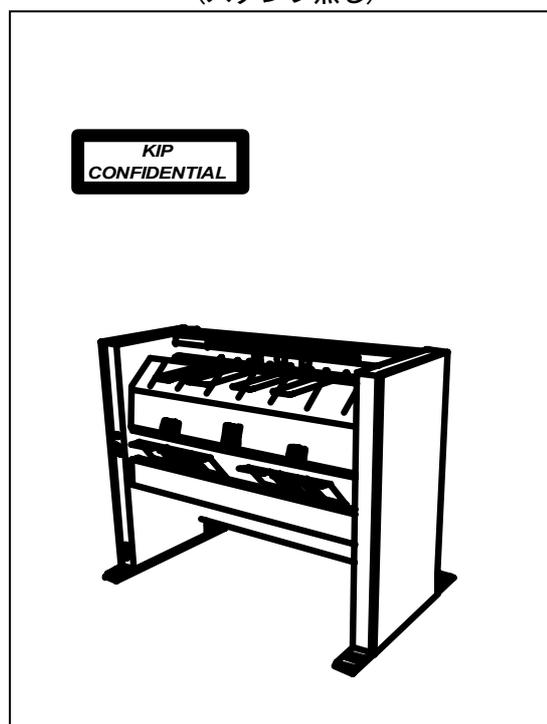
### [注意]

現在のところは登録したスタンプ画像を印字することはできませんが、入力したテキストやマクロを印字することは可能です。

(スタンプ付き)



(スタンプ無し)



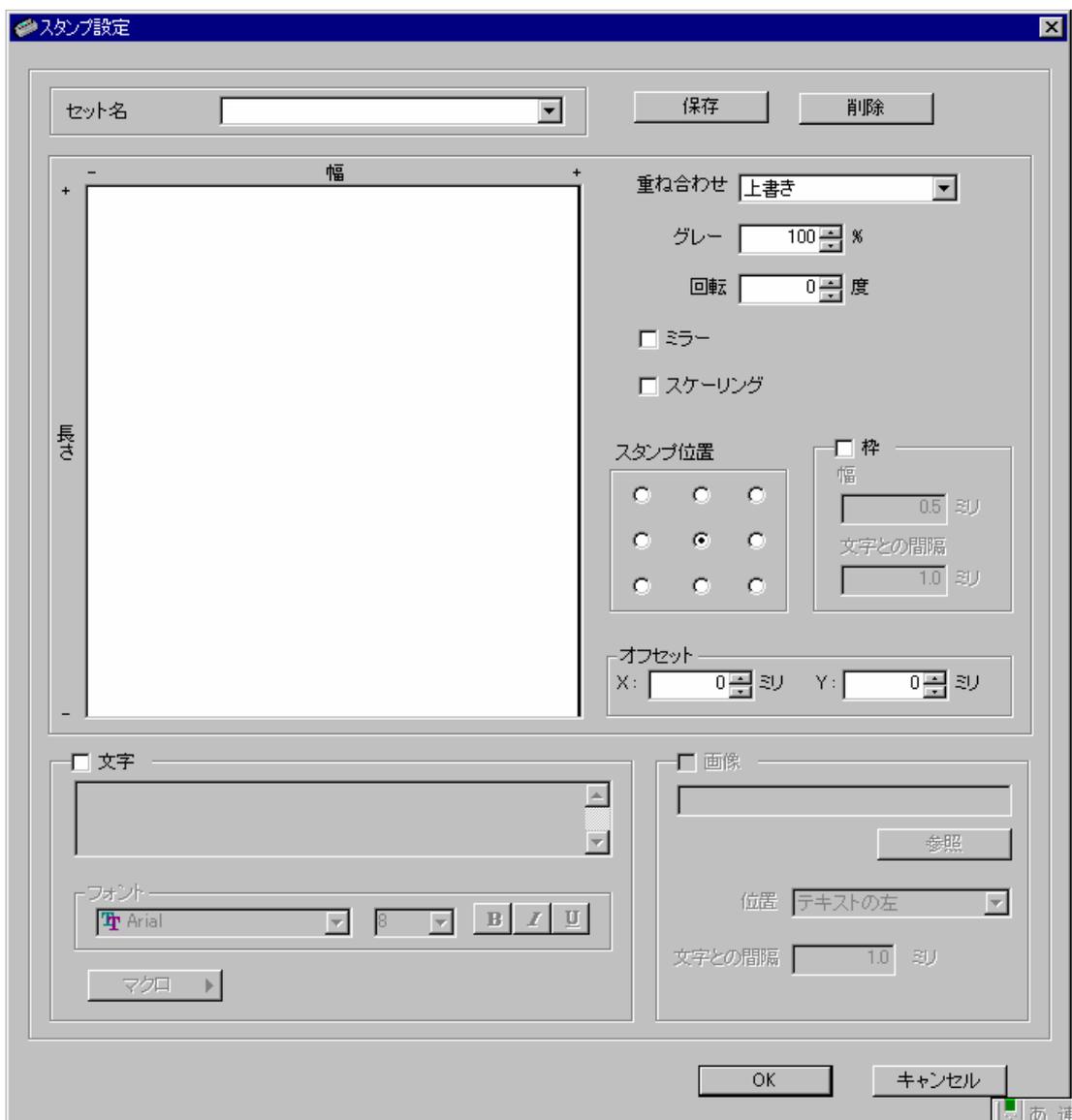
## A. スタンプするテキストの作成

現在のところはテキストのみを印字することが可能です。  
下記の手順で印字するテキストを作成してください。

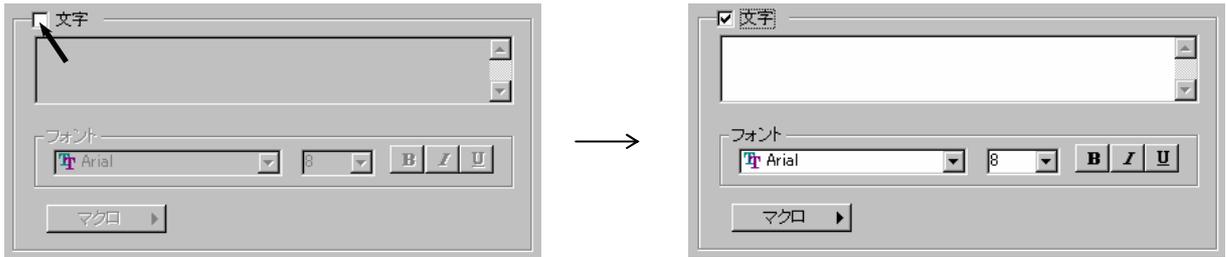
- 1) 「プリンタ設定」ダイアログ内の「スタンプ」をクリックします。



- 2) 下記の「スタンプ設定」ダイアログが表示されます。



- 3) 「スタンプ設定」ダイアログ内の「文字」をチェックするとテキストの入力が可能になります。

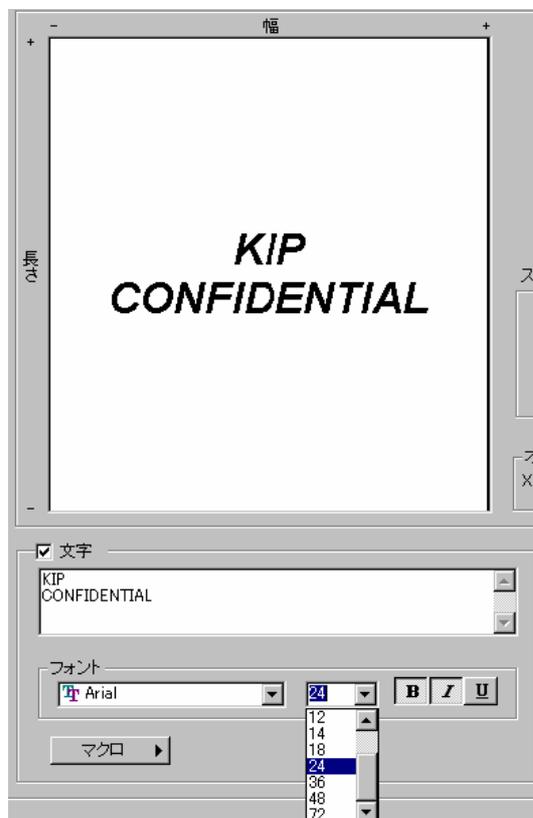


- 4) 印字したいテキストを入力部に入力してください。



- 5) 必要であれば、フォント、フォントサイズ、強調、イタリック、下線などの設定を変更してください。

文字入力部の上部に実際にどのようなスタンプ画像になるかが表示されるので、設定を変更する際の参考にしてください。



- 6) 「スタンプ設定」ダイアログ内のその他の設定を必要に応じて変更してください。  
各設定項目の詳細については、139 ページ以降の「C. 各種スタンプ設定の説明」を参照してください。
- 7) スタンプするテキストが完成し、各種のスタンプ設定の変更を終えたら、「セット名」のテキストボックスに名前を入力し、「保存」をクリックします。  
入力したテキストも含めて「スタンプ設定」ダイアログ内の全ての設定状態がこのセット名で保存されます。  
これで印字するテキストの作成が終了しました。

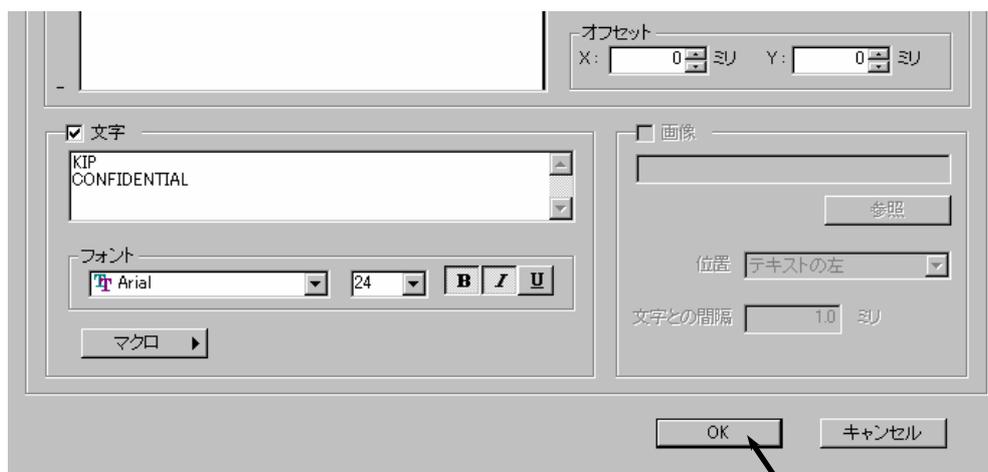


## B. テキストの印字方法

- 1) 「セット名」のプルダウンメニューから、印字したいテキストを保存しているセット名を選択します。



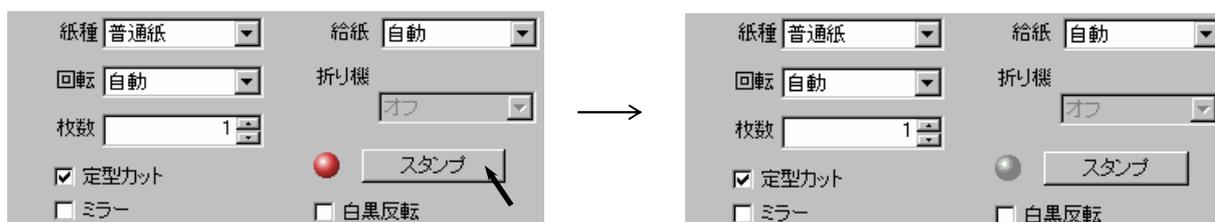
- 2) 「OK」をクリックしてスタンプ機能を有効にします。



- 3) スタンプ機能が有効になっているときは、「スタンプ」の左側の丸ボタンが赤色表示されています。このままKIP Scan Client上の「プリント」をクリックしてプリントを行うと、選択されたセット名に保存されているテキストが印字されます。



- 4) スタンプ機能を解除したいときは、もう一度「スタンプ」をクリックしてください。  
丸ボタンは通常のグレー表示に戻り、スタンプ機能は解除されます。



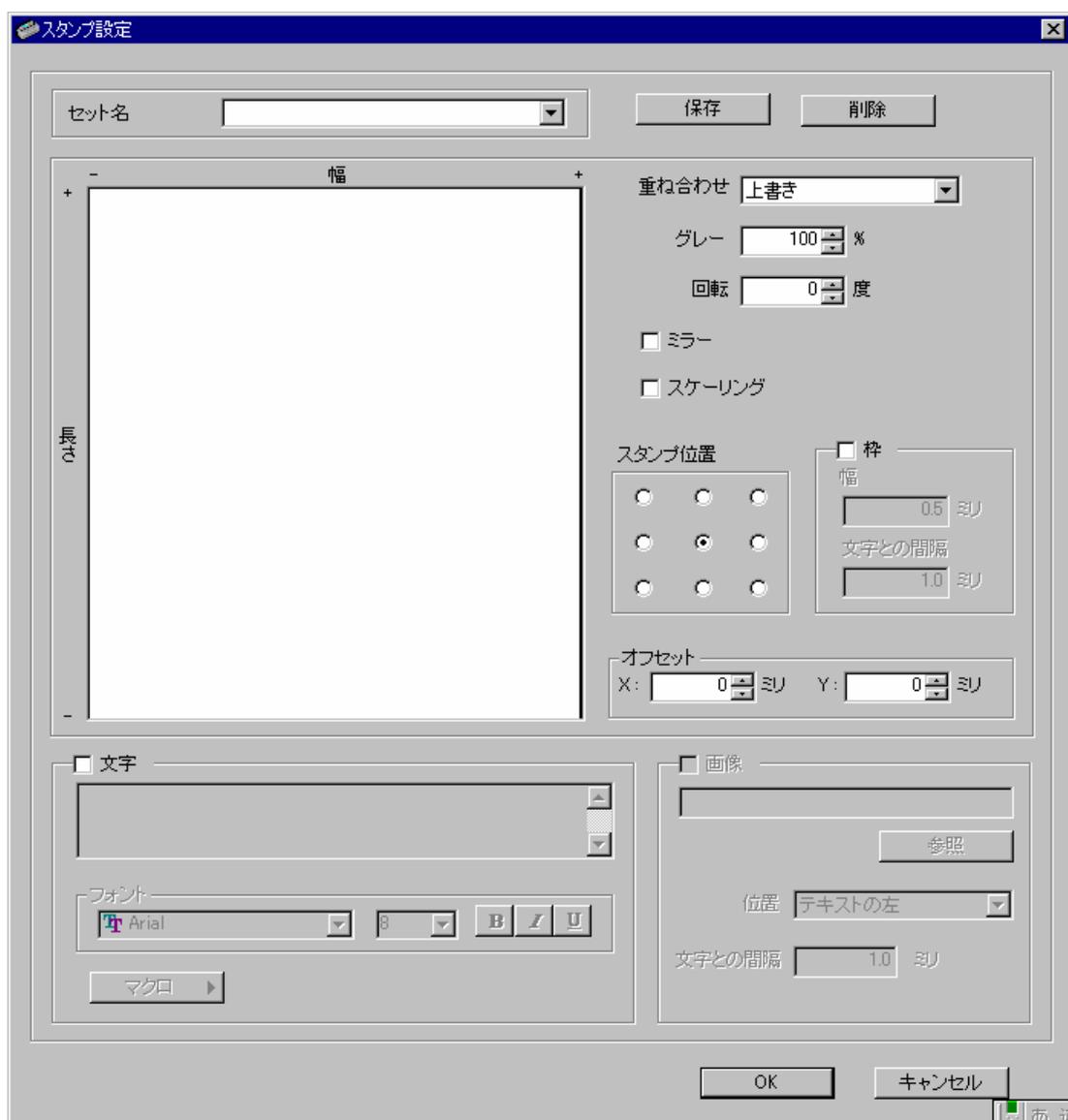
## C. 各種スタンプ設定の説明

「プリンタ設定」ダイアログ内の「スタンプ」をクリックすると、「スタンプ設定」ダイアログが表示されます。

このセクションでは、「スタンプ設定」ダイアログで行う各設定項目の説明をします。



(「スタンプ設定」ダイアログ)

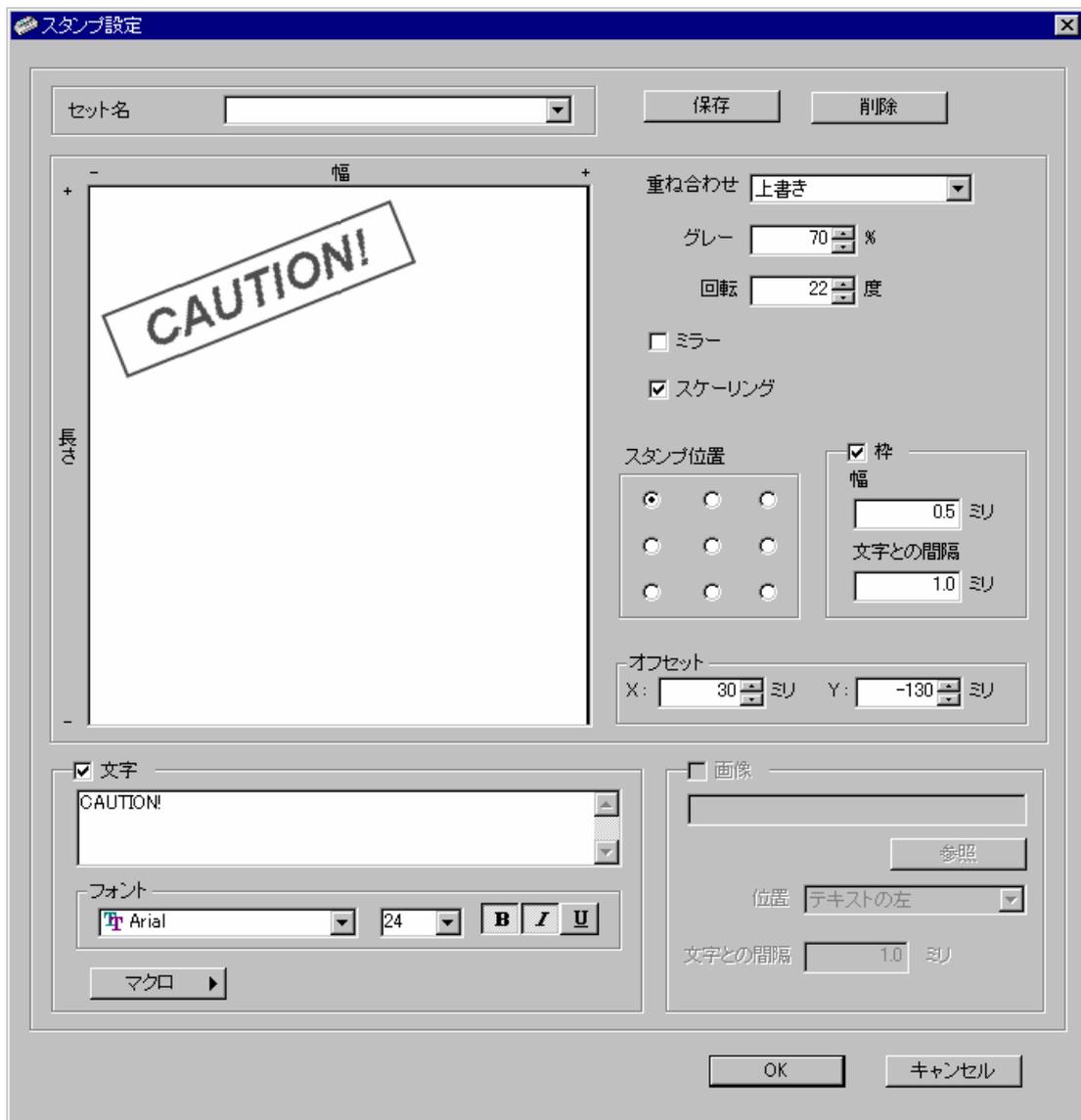


## (1) 「セット名」の保存と削除

「スタンプ設定」ダイアログに含まれる設定項目を必要に応じて変更し、いつでも簡単に呼び出すことのできる設定条件としてセット名を付けて保存することができます。  
また保存されているセット名の設定条件を変更して上書きしたり、不要になったセット名を削除することも可能です。

セット名の保存、呼び出し、上書き、削除は下記のように行ってください。

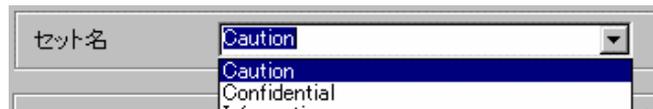
- 1) 「スタンプ設定」ダイアログに含まれる各設定を必要に応じて下図のように変更します。



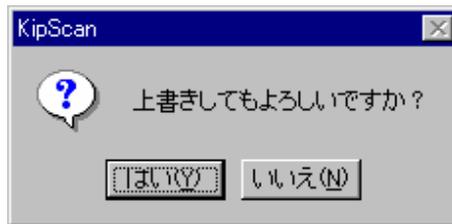
- 2) この設定条件につける名前を「セット名」のテキストボックスに入力します。  
それから「保存」をクリックして設定条件を保存します。



- 3) セット名を保存した後は自動的に「セット名」のプルダウンメニューに加えられるので、いつでも簡単に呼び出すことができます。



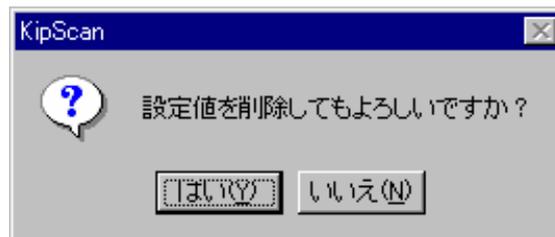
- 4) 保存済みの設定条件を変更して上書きしたい場合は、そのセット名を「セット名」のプルダウンメニューから選択し、各設定を必要に応じて変更してから「保存」をクリックします。下記のダイアログが表示されるので、上書きしてもよければ「はい」をクリックしてください。



- 5) 保存済みの設定条件を削除したい場合は、そのセット名を「セット名の」プルダウンメニューから選択し、「削除」をクリックします。



- 6) 下記のダイアログが表示されるので、削除してもよければ「はい」をクリックしてください。



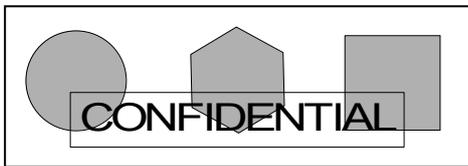
## (2) 重ね合わせ



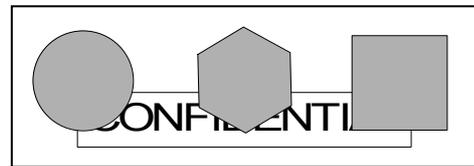
プリント画像とスタンプ画像が重なってしまった場合に、どのように処理するかを設定を行います。「上書き」と「透過」のいずれかが選択でき、「上書き」を選択すると、プリント画像の上にスタンプ画像がかぶさるように処理し、「透過」を選択するとプリント画像の下にスタンプ画像が隠れるように処理します。

下記の例では **CONFIDENTIAL** がスタンプです。

(上書きの場合)



(透過の場合)



## (3) グレー



スタンプ画像のグレー率を設定します。値が小さいほど明るい灰色になります。設定範囲は1~100%です。

(グレー率 100%時のスタンプ)



(グレー率 50%時のスタンプ)

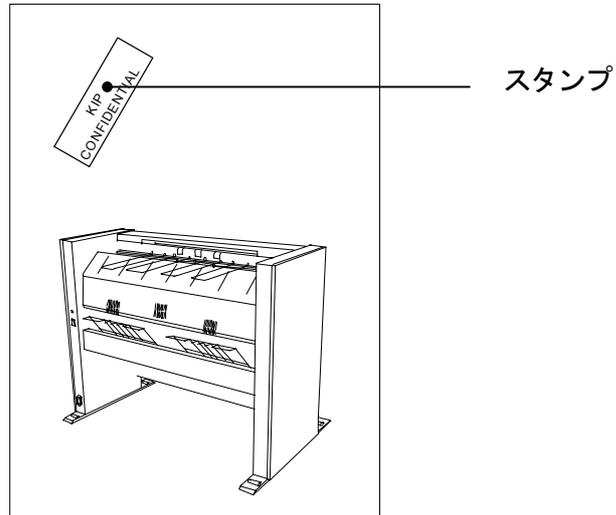


#### (4) 回転

回転  度

スタンプ画像を回転させて印字することができます。  
1度単位での設定が可能で、値を増やすとスタンプ画像が反時計方向に回転します。

(60度回転)



#### (5) ミラー

ミラー

「ミラー」をチェックするとスタンプ画像の左右を反転させて印字します。

(「ミラー」のチェックを解除)



(「ミラー」をチェック)



## (6) スケーリング

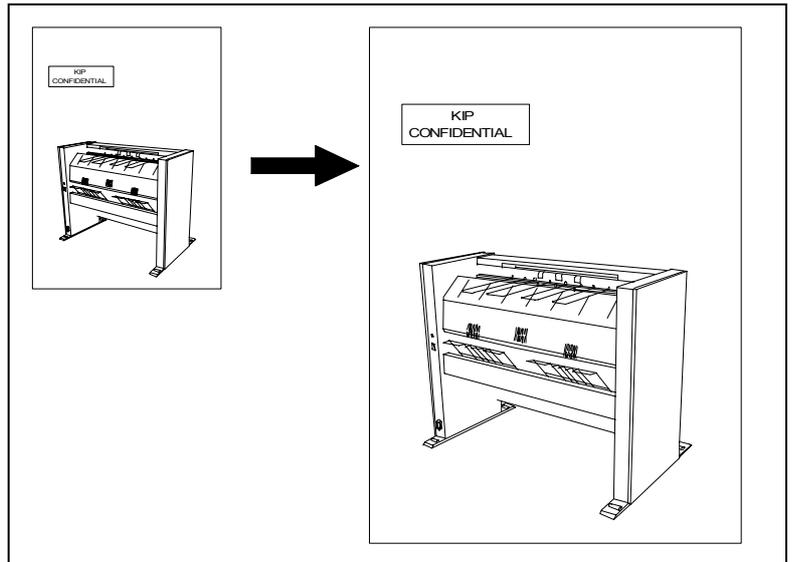
スケーリング

例えば A1 の大きさに保存されたファイル画像を A0 の大きさにプリントする用に、ファイルに保存されている画像のサイズを拡大・縮小してプリントする際、スタンプ画像を一緒に拡大・縮小するかしないかの選択を行います。

「スケーリング」をチェックすると、スタンプ画像も一緒に変倍されます。

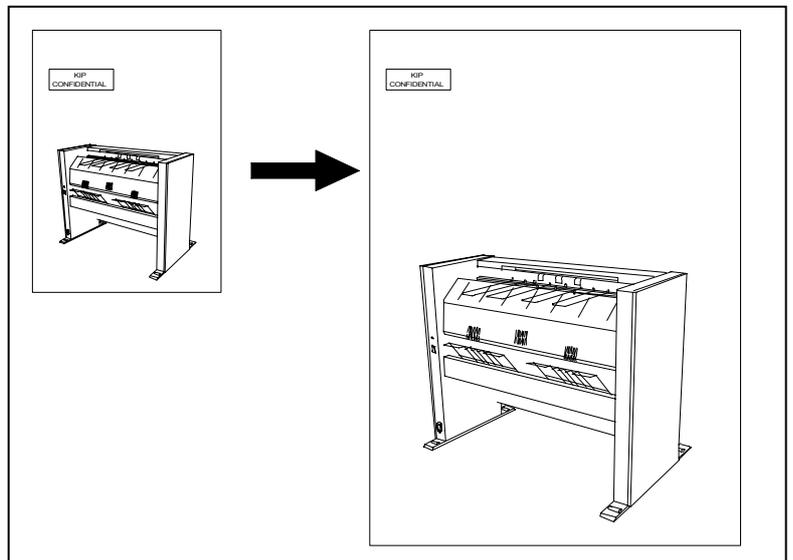
(「スケーリング」をチェック)

スケーリング



(「スケーリング」のチェックを解除)

スケーリング



## (7) スタンプ位置

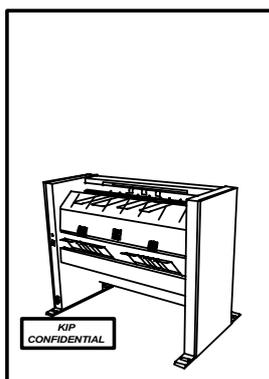


スタンプ画像をプリント用紙上のどこに印字するかを指定します。  
9種類の基準位置から1つを選択してください。

(右上を選択)



(左下を選択)



## (8) オフセット

オフセット  
X:  ミリ Y:  ミリ

前ページではスタンプ画像を印字する基準位置を指定しましたが、ここではさらに細かく印字位置を指定することができます。

位置の指定は横方向の移動量「X」と縦方向の移動量「Y」にそれぞれ値を入力することで行います。入力可能範囲は±500mmで、前ページで指定した基準位置から何ミリずらして印字するのかを指定します。

横方向「X」の場合、値を増やすとプリント用紙上のスタンプ印字位置が右側へ、値を減らすと左側へ移動します。

縦方向「Y」の場合、値を増やすとプリント用紙上のスタンプ印字位置が上へ、値を減らすと下へ移動します。

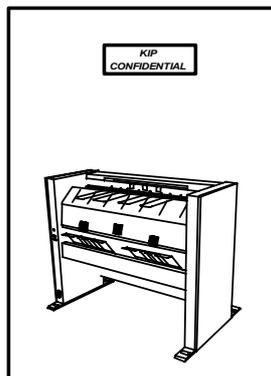
下記の例はスタンプの印字基準位置が中心で、右に100mm、下に200mm印字位置をずらす場合です。

スタンプ位置

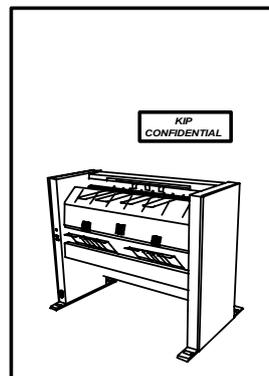
枠  
値  ミリ  
文字との間隔  ミリ

オフセット  
X:  ミリ Y:  ミリ

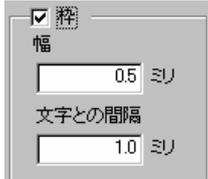
(X:0mm, Y:0mm)



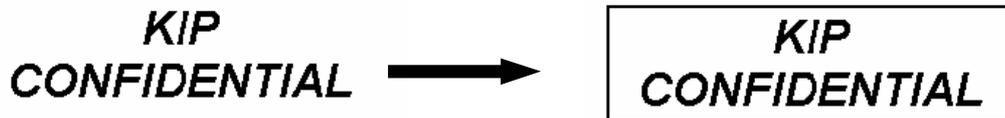
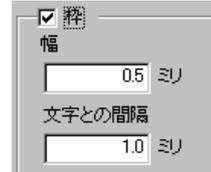
(X:100mm, Y:-200mm)



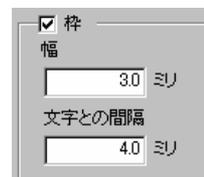
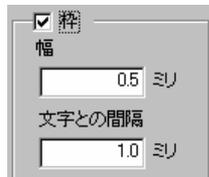
(9) 枠



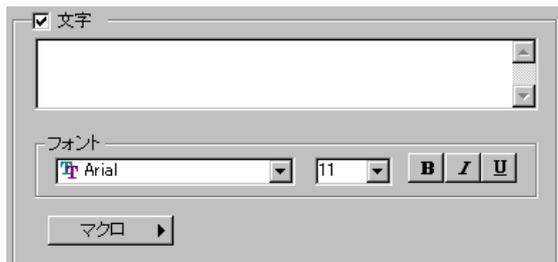
「枠」をチェックすると、テキストを枠で囲んで印字することができます。



「枠」をチェックした場合、枠線の太さと、それからテキストと枠線の間隔を指定することができます。枠線の太さは0.1mm～10.0mmの範囲で、テキストと枠線の間隔は0.1mm～10.0mmの範囲でそれぞれ指定できます。

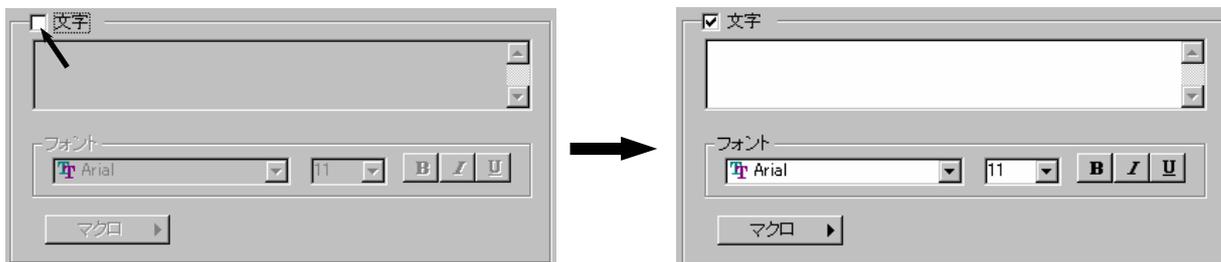


## (10) 文字

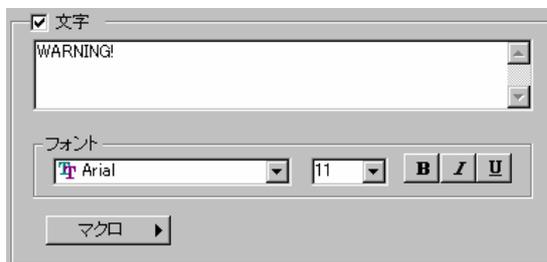


スタンプと一緒に印字するテキストを作成します。

- 1) 「文字」をチェックすると文字設定部全体が設定可能な状態になります。

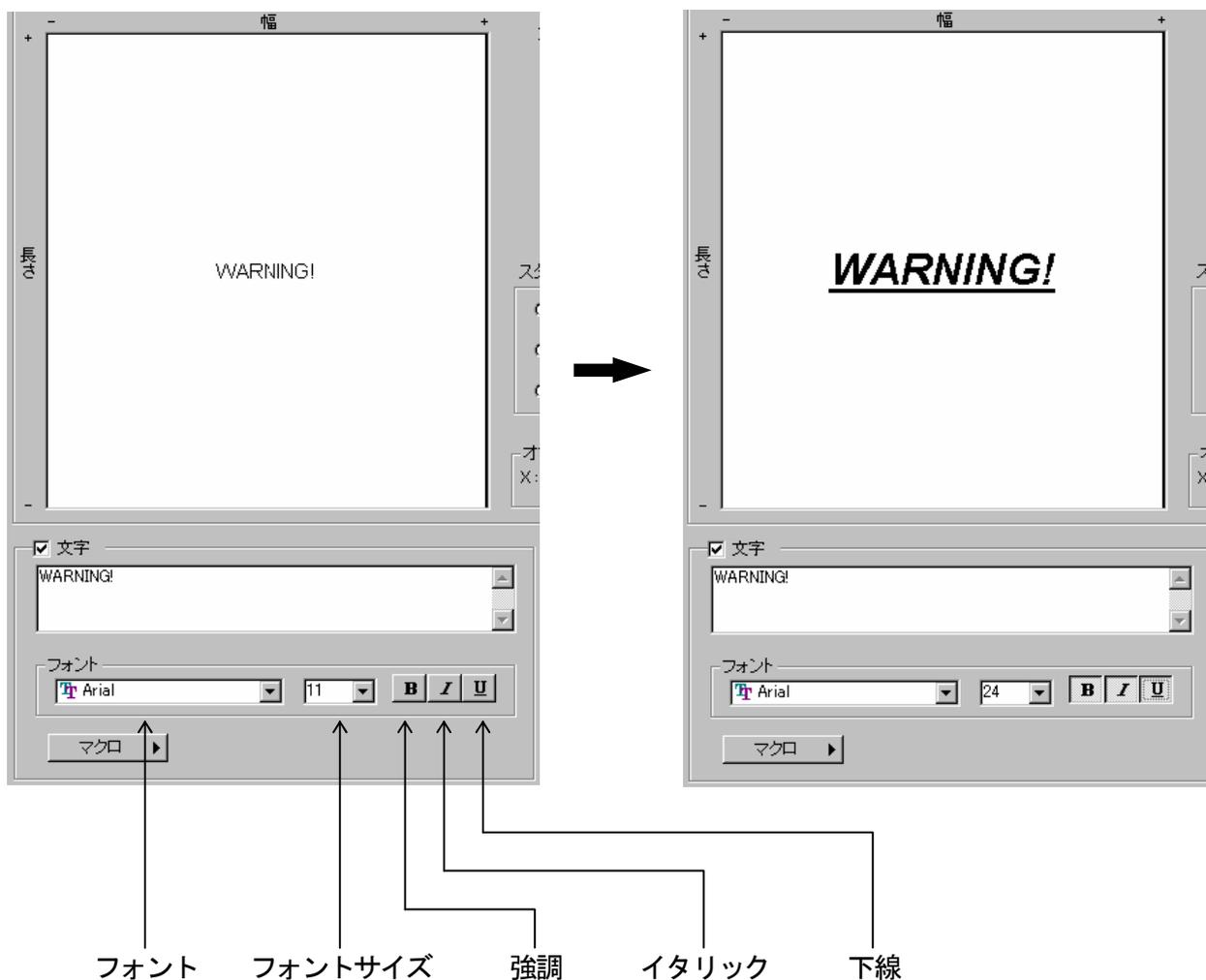


- 2) テキスト入力部に、印字する文字列を入力します。

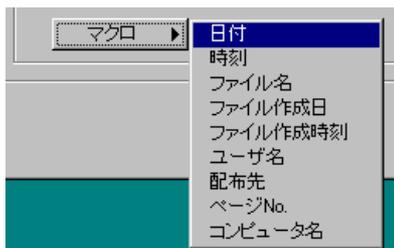


- 3) 必要であればフォント、フォントサイズ、強調、イタリック、下線などの設定を行います。文字入力部の上部にあるビューア画像に実際に印字されるテキストが表示されるので、設定の参考にしてください。

(例：フォントサイズを 24 ポイントに変更し、強調、イタリック、下線を使用した場合)



## (11) マクロ

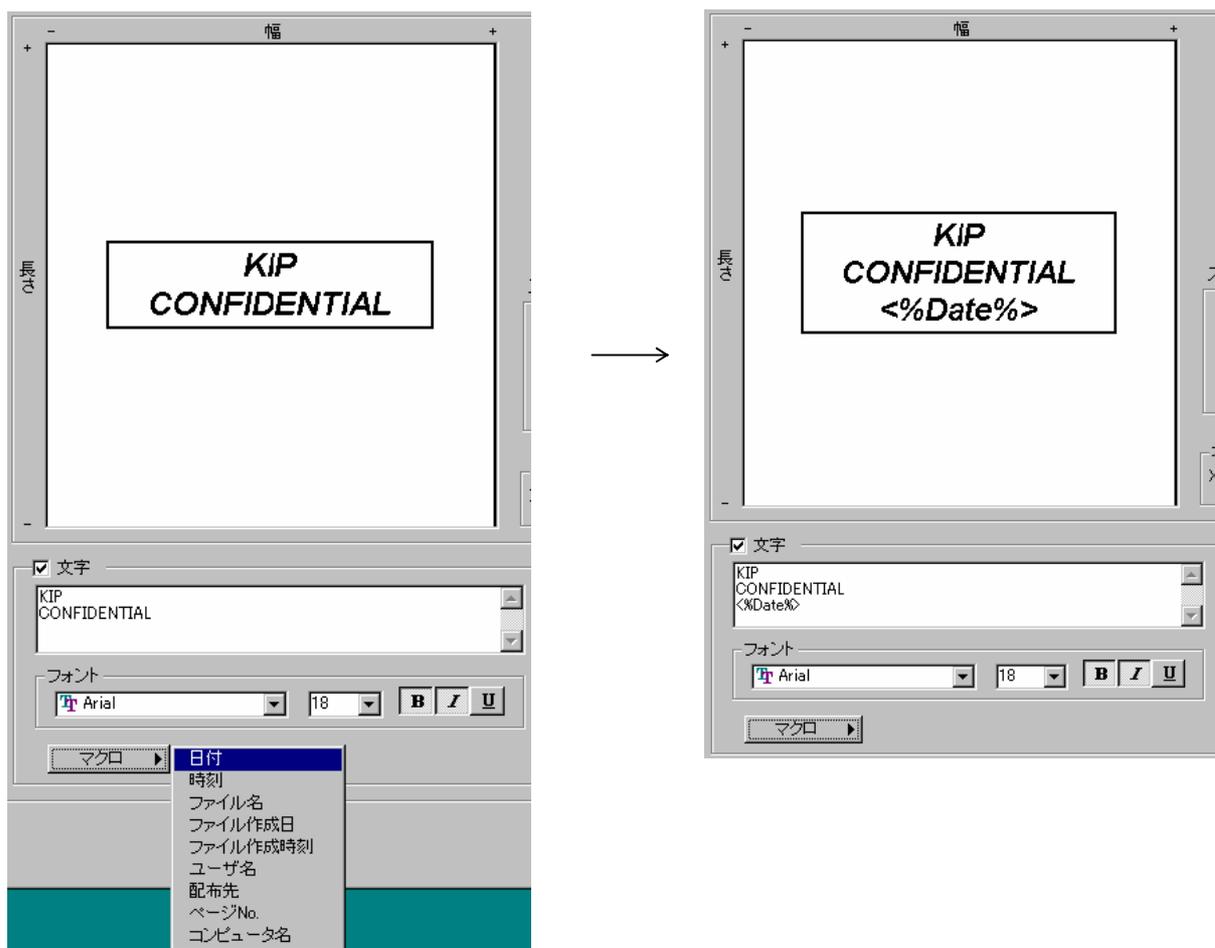


日付、時刻、ファイル名などのテキストを自動的に入力する機能です。

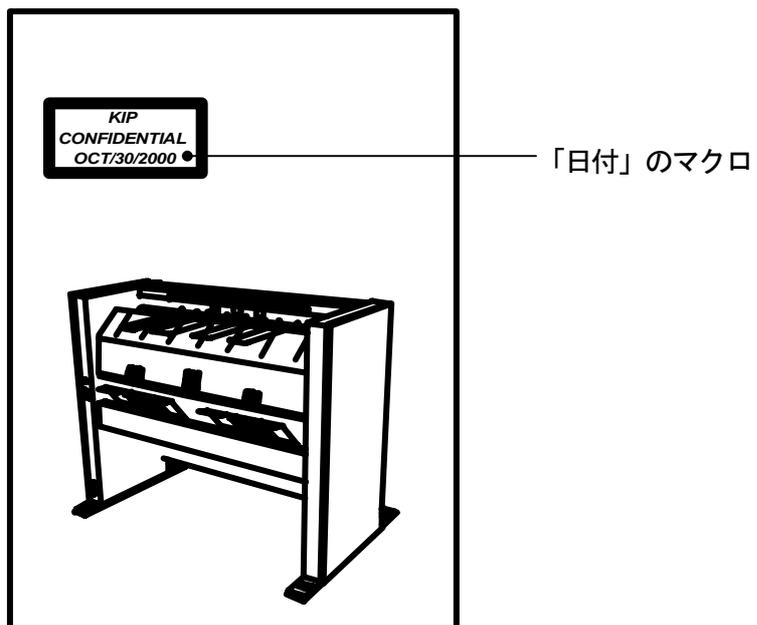
### [注意]

現在「配布先」を印字することはできません。  
ご了承ください。

- 1) 「マクロ」のプルダウンメニューから必要なマクロをクリックして選択してください。  
文字入力部の上部にあるビューア画像に選択されたマクロが「< % X X % >」というように表示されます。  
(下の例のように「日付」を選択した場合は、「< % Date % >」と表示されます。)



- 2) プリントを行うと、選択されたマクロが印字されます。  
例えば「日付」を選択した場合、プリントを行った日付が下図のように印字されます。



(12) 画像 (現在使用できません)

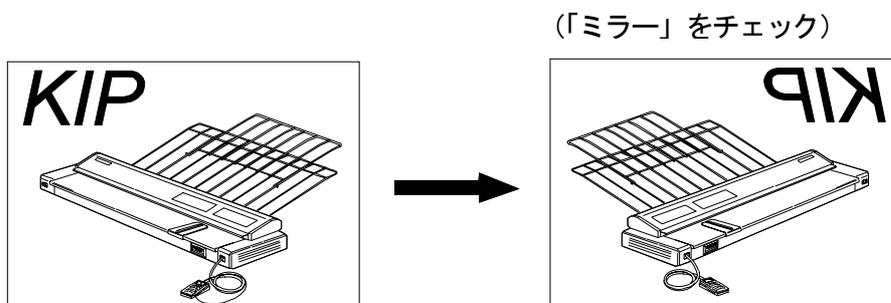


企業ロゴや商標その他の画像を印字するときに行う設定ですが、現在のところ使用できません。ご了承下さい。

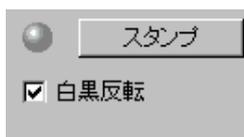
## 8.6.9 ミラー

- 定型カット
- ミラー

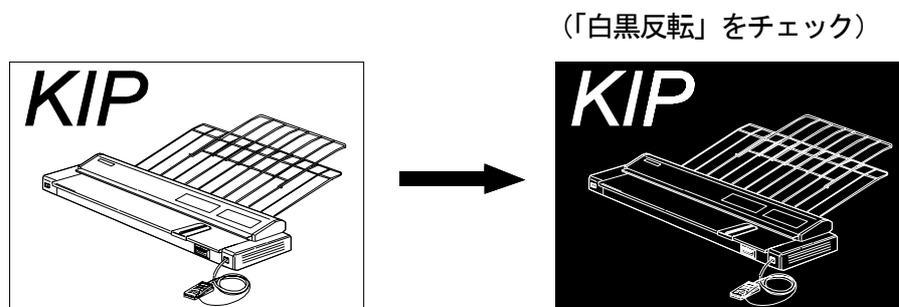
「ミラー」をチェックすると、プリント画像の左右を反転させます。



## 8.6.10 白黒反転



「白黒反転」をチェックすると、プリント画像の白黒を反転させます。



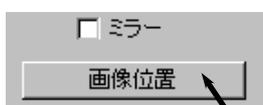
## 8.6.11 画像位置



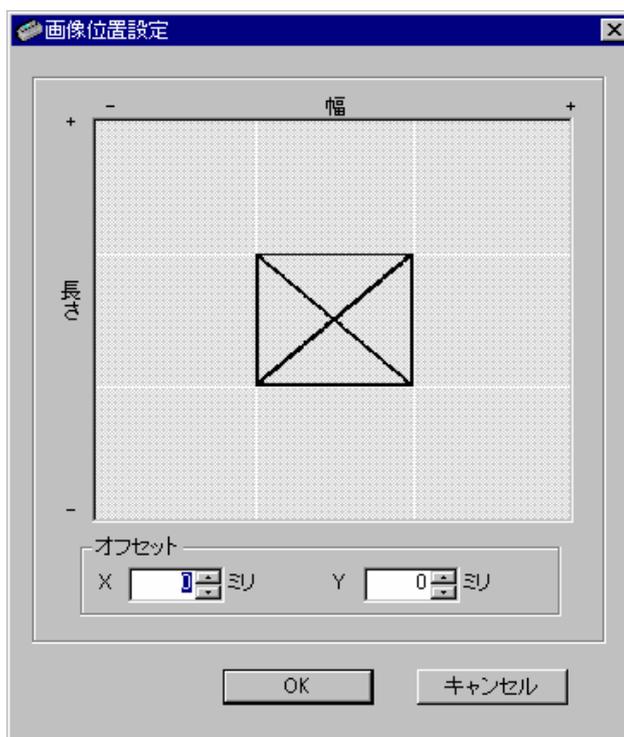
プリント画像の用紙上での位置を細かく調整することができます。

- 1) 「プリンタ設定」ダイアログ上の「画像位置」ボタンをクリックすると、「画像位置設定」ダイアログが表示されます。

(「画像位置」ボタン)

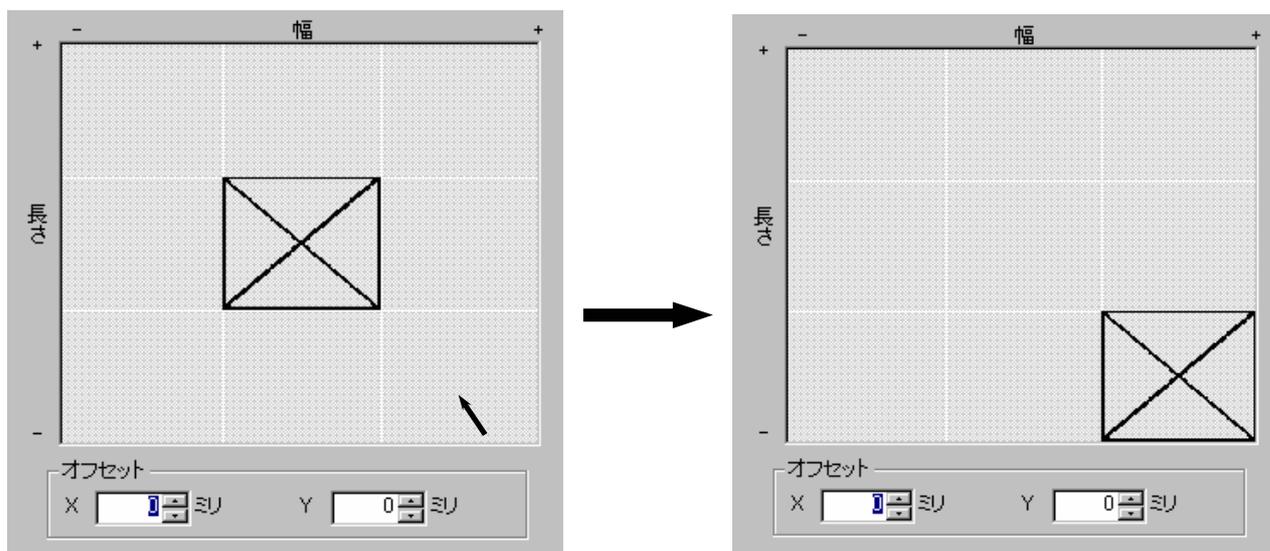


(「画像位置設定」ダイアログ)



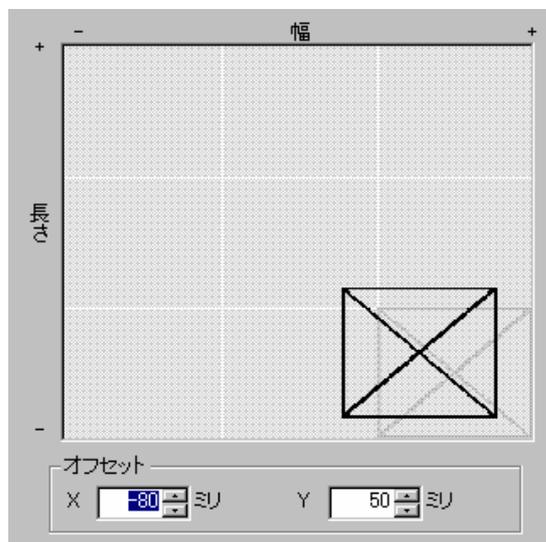
2) 9種類のプリント位置が選択可能なので、必要なプリント位置をクリックして選択してください。

(右下を選択)



3) プリント画像の位置をより細かく調整したい場合は、「オフセット」の欄で値を設定することで縦方向・横方向の位置を微調整することができます。

「X」は横方向、「Y」は縦方向の位置調整であり、それぞれ1mm単位で±500mmの範囲で入力が可能です。



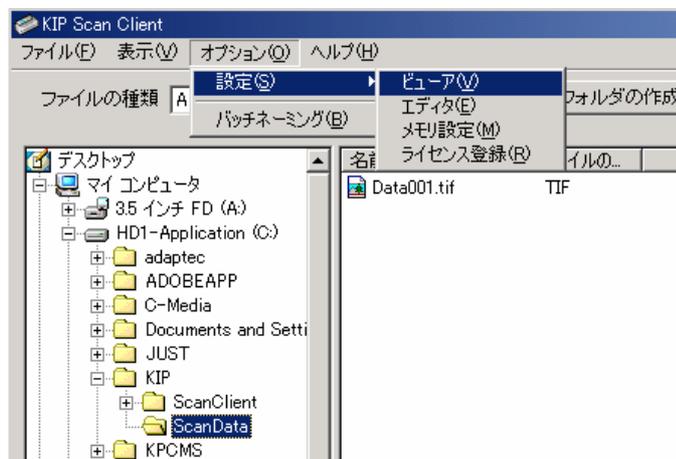
## 9 ビューア・エディタの登録

KIP Scan Client をインストールすると KIP Scan Client 専用のビューア／エディタと一緒にインストールされます。

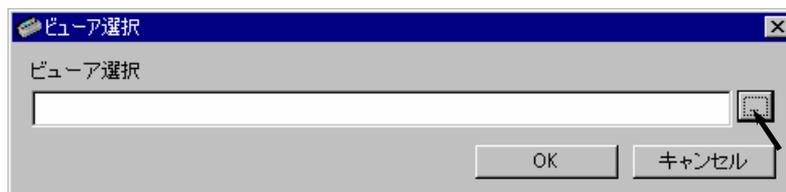
ビューア・エディタの登録を行っていない場合はこの専用ビューア／エディタを自動的に使用しますが、お客様のお好みのビューア・エディタを使用したい場合は登録することによって使用することができるようになります。

### 9.1 ビューアの登録

- 1) メニューバーの「オプション」から「設定」、「ビューア」を選択します。



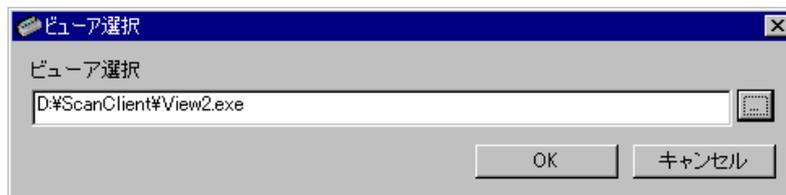
- 2) 下記の「ビューア選択」ダイアログが表示されます。右側の「...」をクリックします。



- 3) 下記のダイアログが表示されるので、使用したいビューアを選択して「開く」をクリックします。

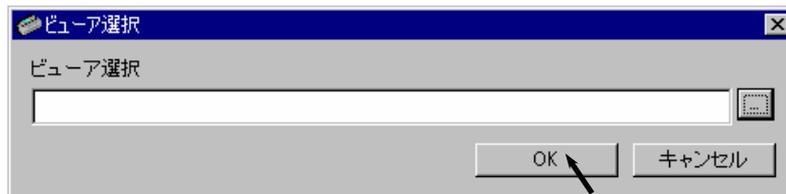


- 4) 「ビューア選択」ダイアログに戻るので、「OK」をクリックします。  
これで選択したビューアの登録が完了し、使用することが可能になります。



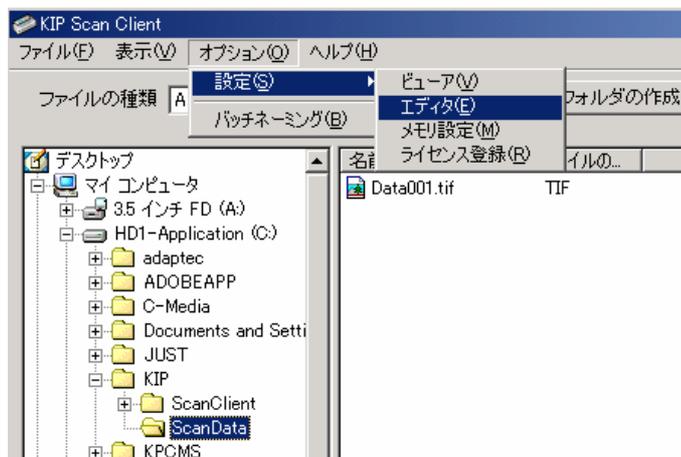
[参考]

他社製のビューアを登録した後、登録を解除して再度 KIP Scan Client 専用ビューアを使用したい場合は、「ビューア選択」ダイアログを表示させ、何もファイル名が表示されていない状態で「OK」をクリックしてください。

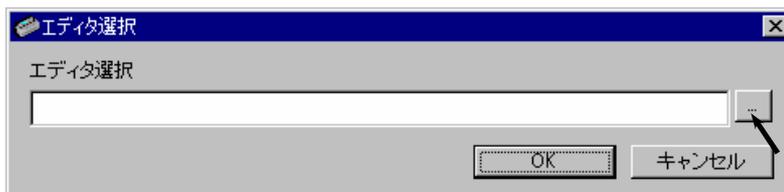


## 9.2 エディタの登録

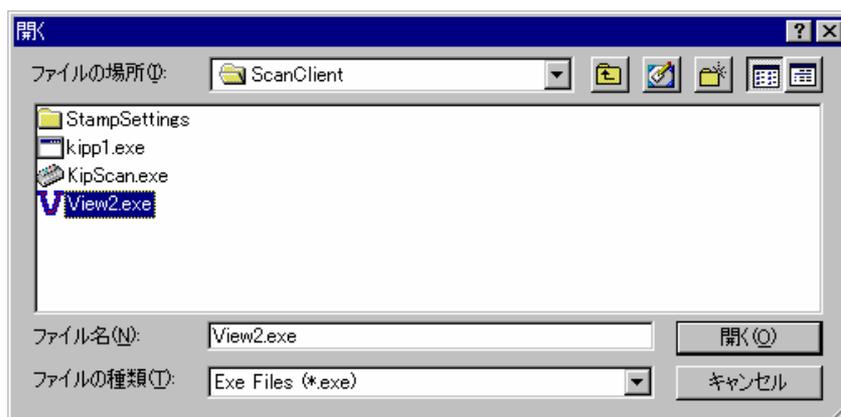
- 1) メニューバーの「オプション」から「設定」、「エディタ」を選択します。



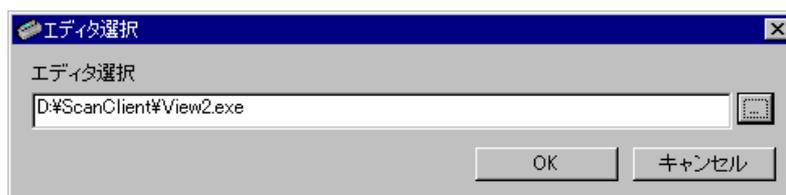
- 2) 下記の「エディタ選択」ダイアログが表示されます。  
右側の「...」をクリックします。



- 3) 下記のダイアログが表示されるので、使用したいエディタを選択して「開く」をクリックします。



- 4) 「エディタ選択」ダイアログに戻るので、「OK」をクリックします。  
これで選択したエディタの登録が完了し、使用することが可能になります。



[参考]

他社製のエディタを登録した後、登録を解除して再度 KIP Scan Client 専用エディタを使用したい場合は、「エディタ選択」ダイアログを表示させ、何もファイル名が表示されていない状態で「OK」をクリックしてください。

